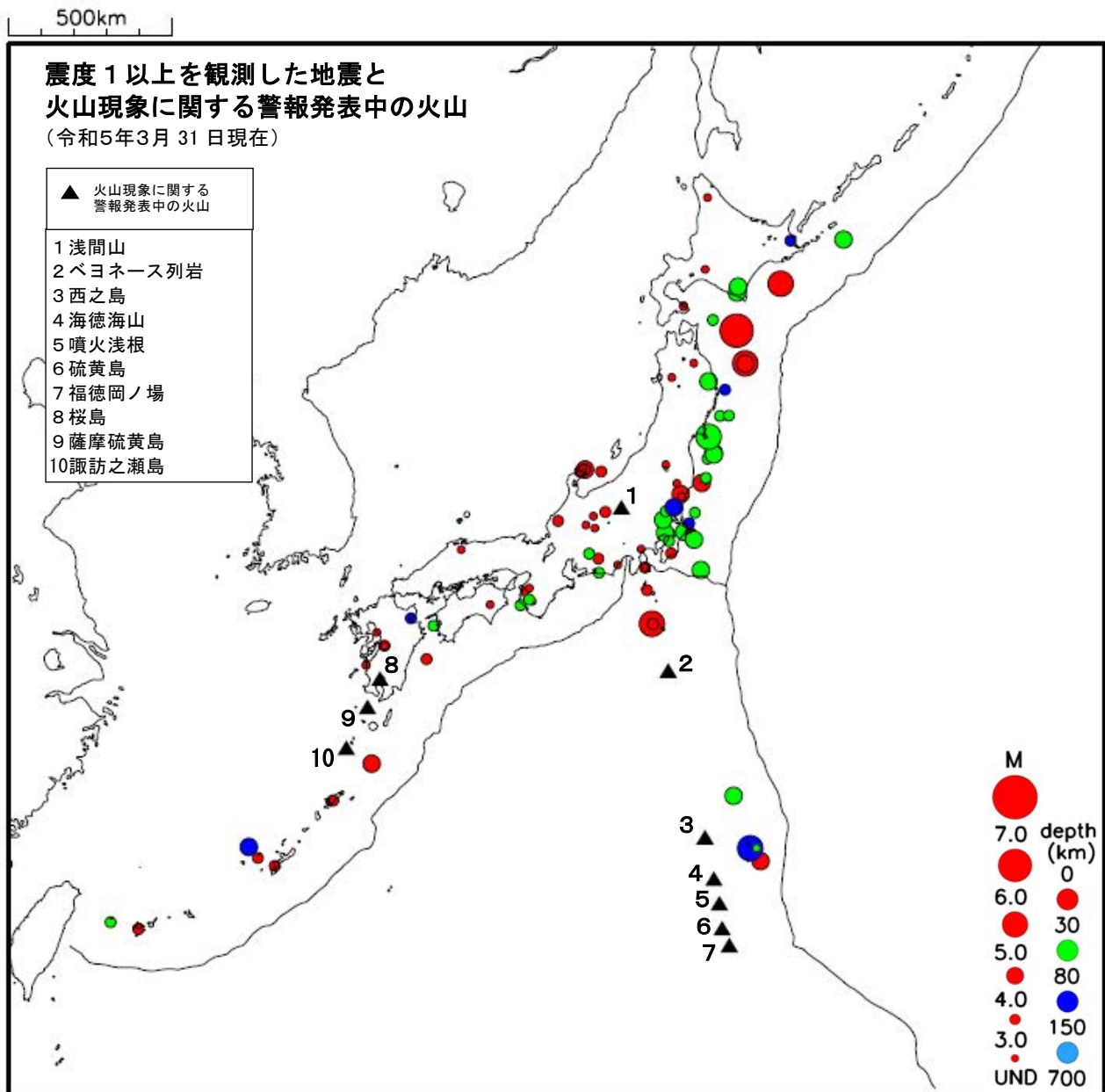


令和5年3月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

March 2023



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和5年4月10日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和5年4月9日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	12
近畿・中国・四国地方の地震活動	16
九州地方の地震活動	17
沖縄地方の地震活動	18
その他の地域の地震活動	19
● 南海トラフ周辺の地殻活動	21
● 日本の主な火山活動	24
北海道地方の火山活動	35
東北地方の火山活動	37
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	39
近畿・中国・四国地方の火山活動	43
九州地方の火山活動	44
沖縄地方の火山活動	48
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	49
● 世界の主な地震	51
● 世界の主な火山活動	53
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	54
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	72
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	73
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	74
5. 緊急地震速報の提供状況	76

● 日本及びその周辺での主な地震活動

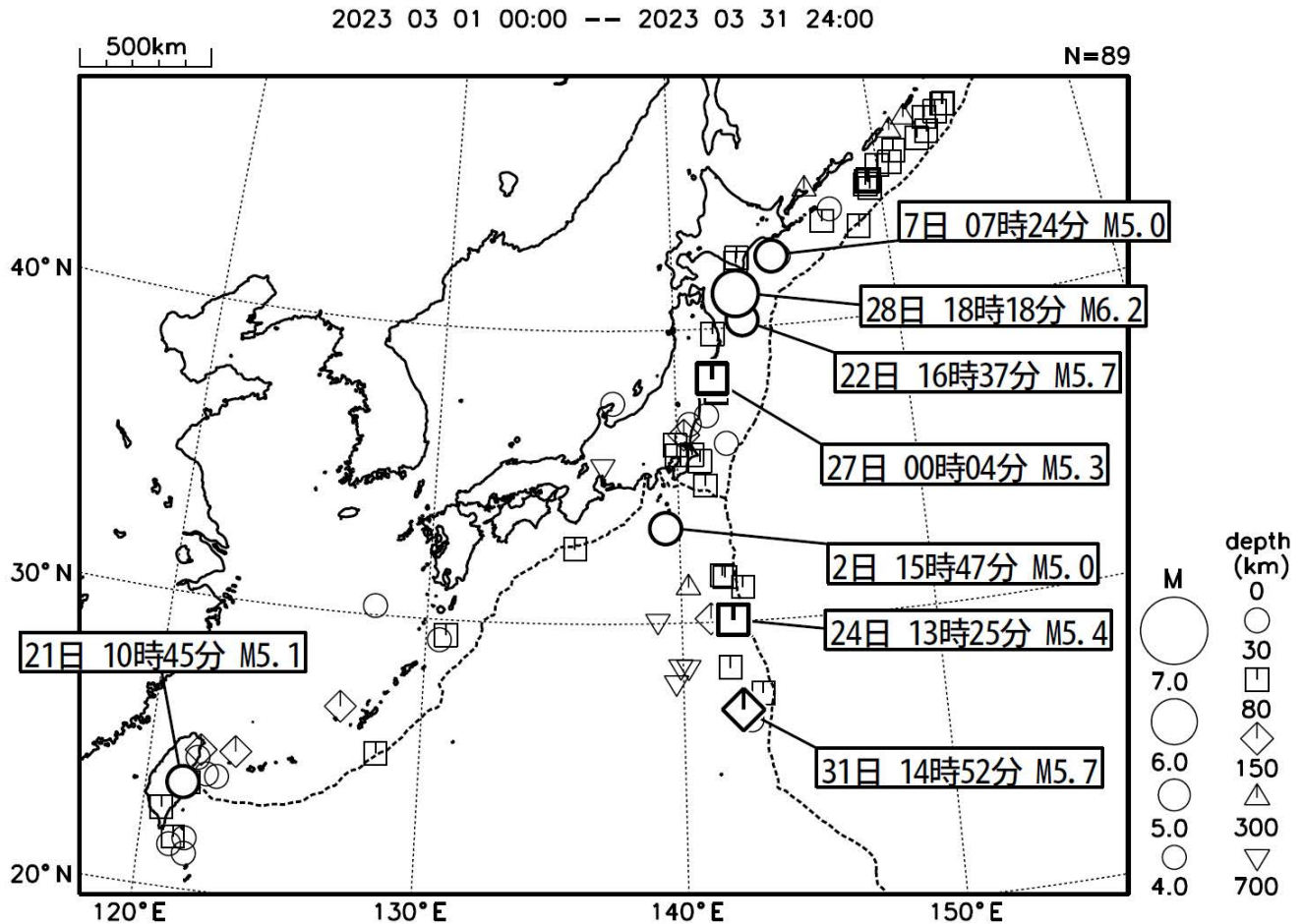


図1 令和5年3月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

令和5年（2023年）3月に日本国内で震度4以上を観測した地震は4回（2月は1回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は89回（2月は69回）であった（図1）。

3月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。3月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（2月は震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった）。

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和5年3月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	3 2 15 47	八丈島近海	5.0	—	・ ・ ・ ・	3：東京都 八丈町檜立 八丈町三根 など1都3地点	14
2	3 7 7 24	釧路沖	5.0	4.8	・ ・ ・ ・	3：北海道 十勝大樹町生花＊	7
3	3 11 5 12	日高地方東部	4.8	4.7	・ ・ S ・	4：北海道 浦河町潮見	4、8
4	3 24 16 25	茨城県北部	4.7	4.7	・ ・ S ・	4：福島県 矢祭町東館＊ 茨城県 日立市助川小学校＊ など3県6地点	4、15
5	3 27 0 4	宮城県沖	5.3	5.0	・ ・ S ・	4：岩手県 一関市花泉町＊ 宮城県 涌谷町新町裏 など2県9地点	5、10
6	3 28 18 18	青森県東方沖	6.2	6.2	M ・ S ・	4：北海道 函館市泊町＊ 函館市新浜町＊ など1道2県9地点 長周期地震動階級1を観測 津波予報（若干の海面変動）を発表	5、11
7		石川県能登地方の 地震活動			・ ・ ・ ・	2020年12月から続く石川県能登地方の地震 活動 3月中に震度1以上を観測する地震が16回 （震度3：3回、震度2：1回、震度1： 12回）（注7）	13
8		父島近海の地震 活動			・ ・ ・ ・	3月31日から4月10日08時までに震度1以 上を観測する地震が14回（震度3：2回、 震度2：2回、震度1：10回）	20

（注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

（注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

（注4）M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。

（注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注7）能登半島沖で発生した地震を3回含む。

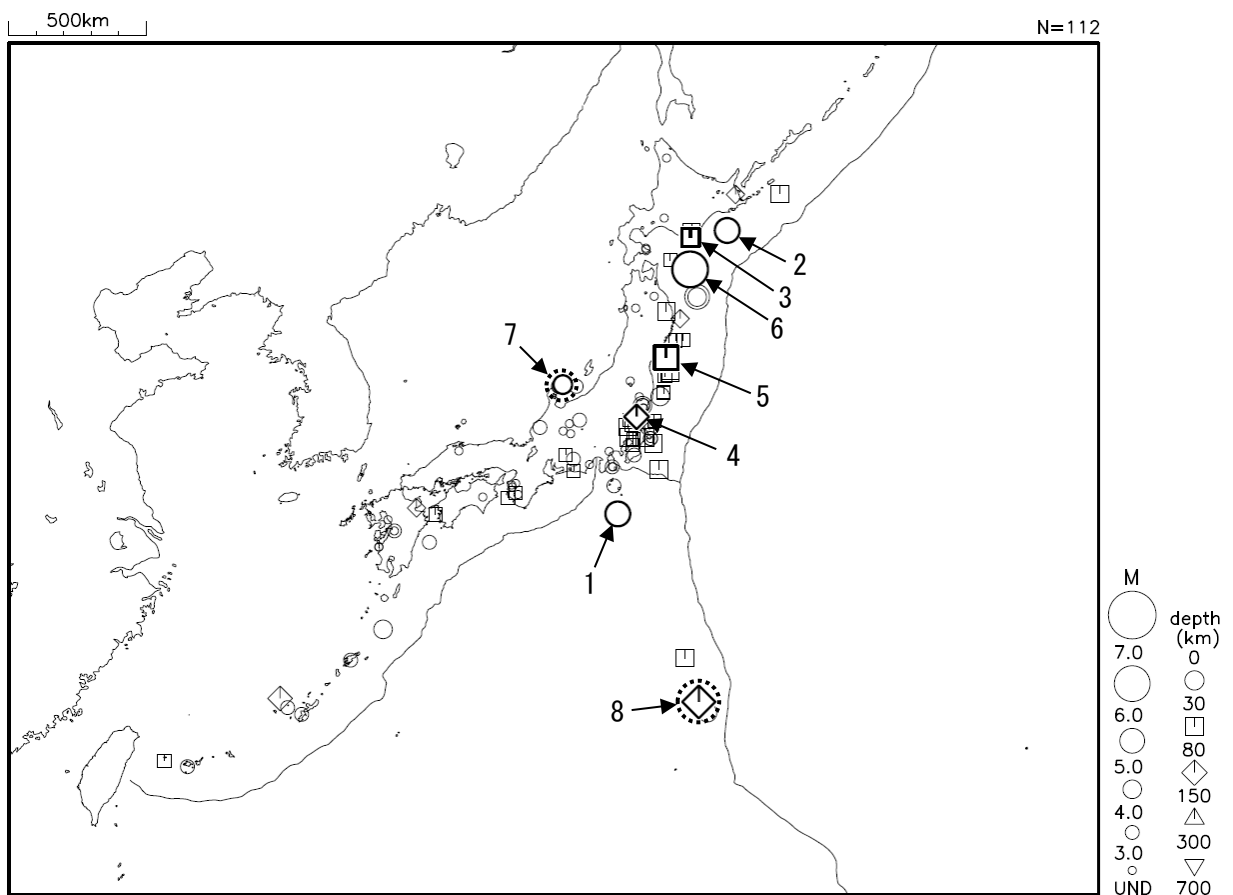


図2 令和5年3月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

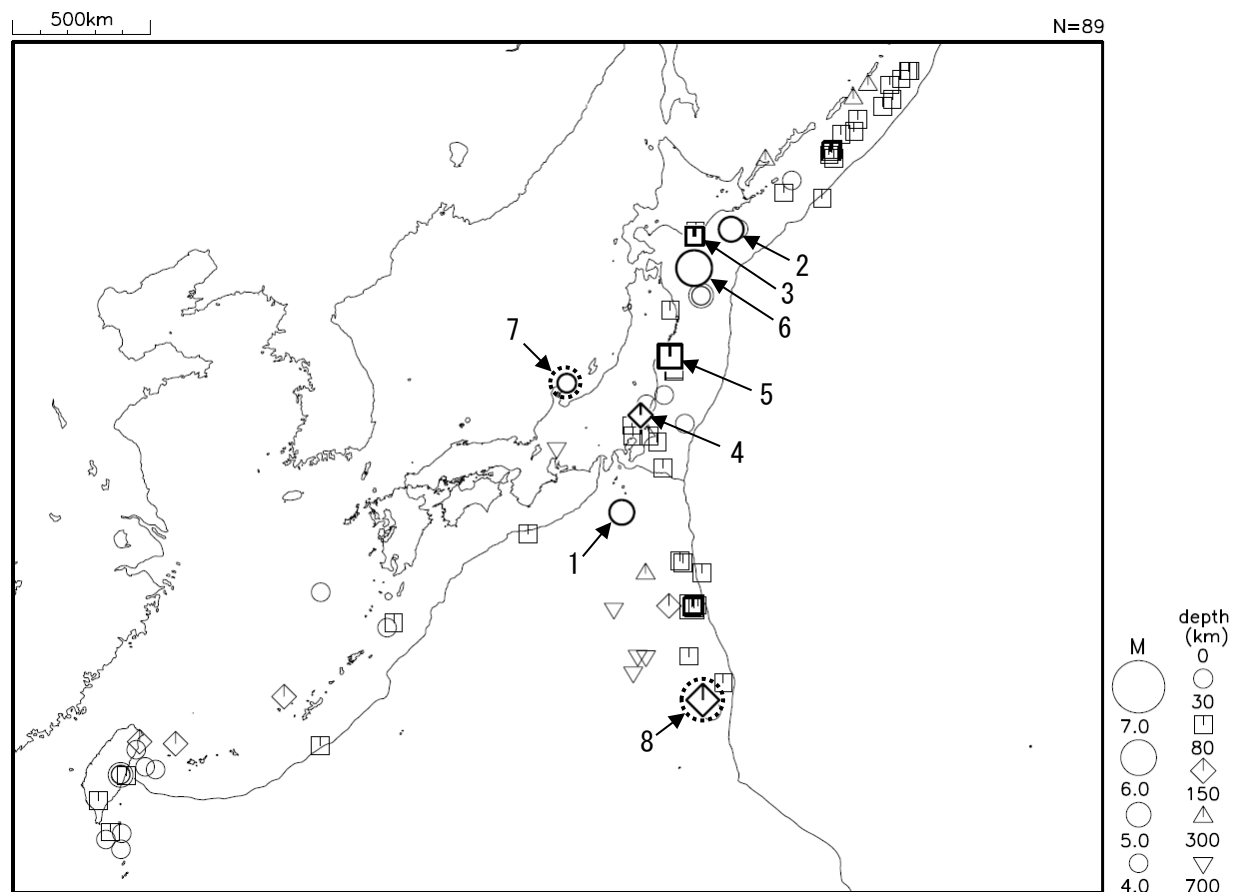
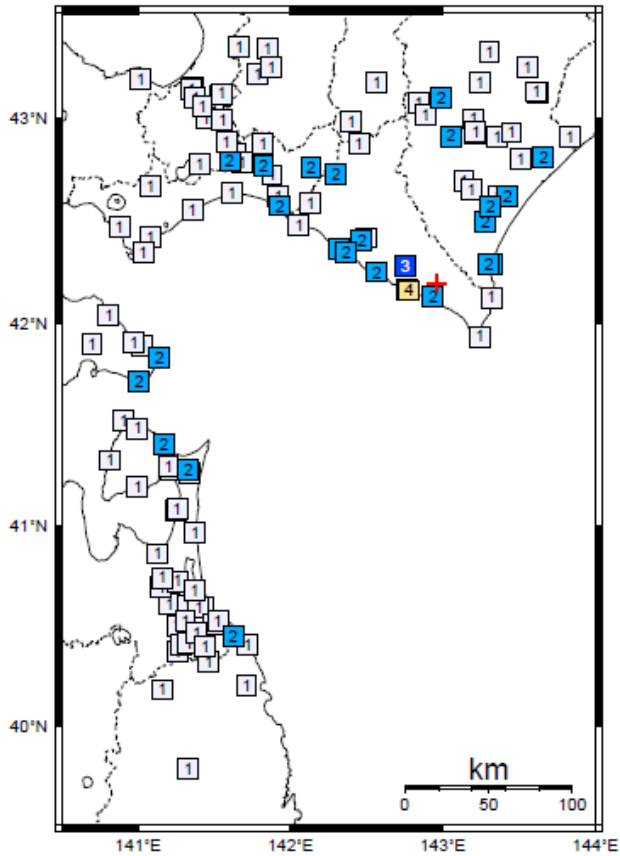


図3 令和5年3月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

3 3月11日05時12分 日高地方東部
(M4.8、深さ49km、最大震度4)



4 3月24日16時25分 茨城県北部
(M4.7、深さ83km、最大震度4)

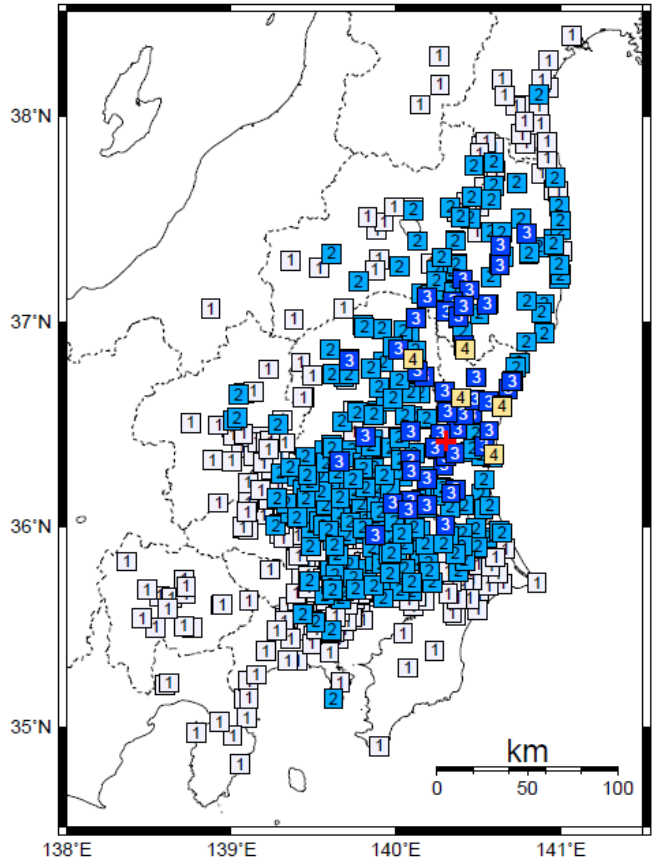


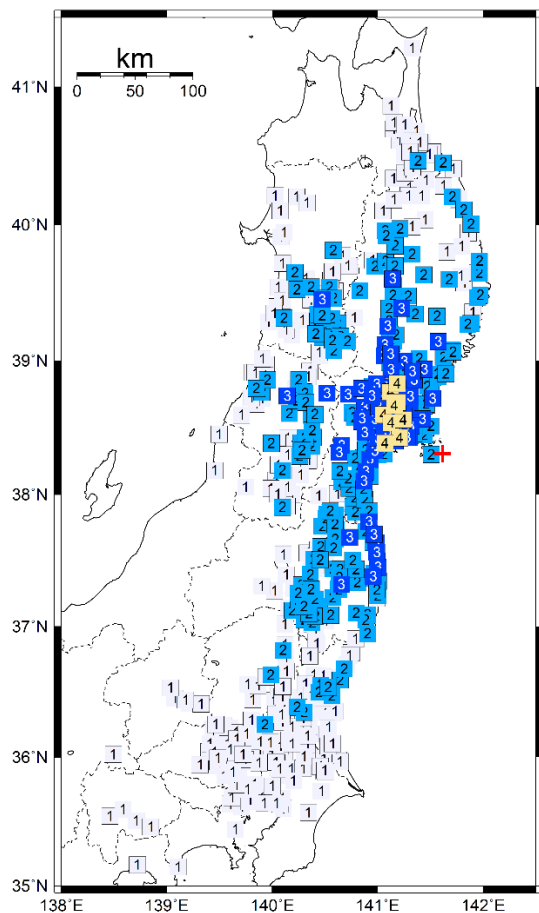
図4 震度分布図(続く)

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

5 3月27日00時04分 宮城県沖
(M5.3、深さ60km、最大震度4)



6 3月28日18時18分 青森県東方沖
(M6.2、深さ28km、最大震度4)

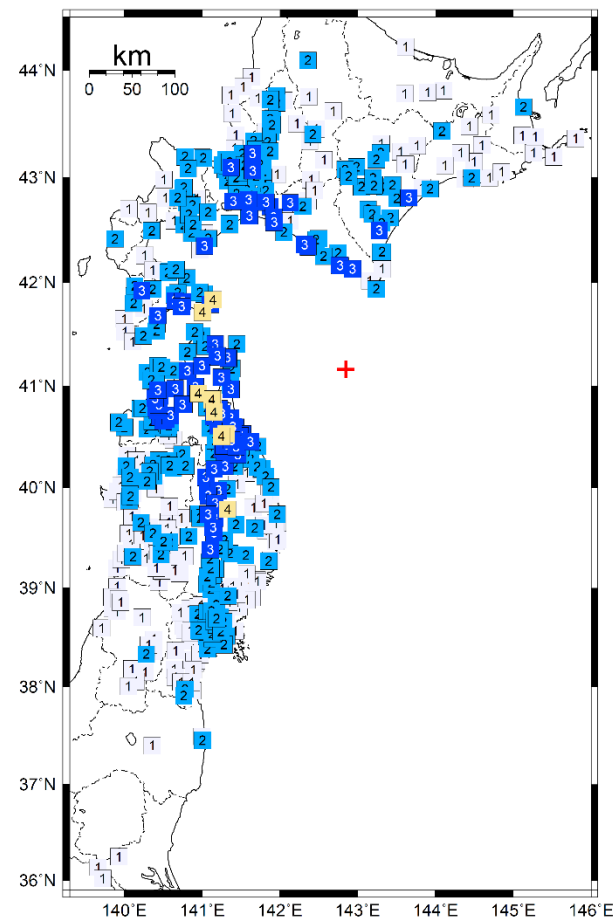


図4 震度分布図(続き)

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

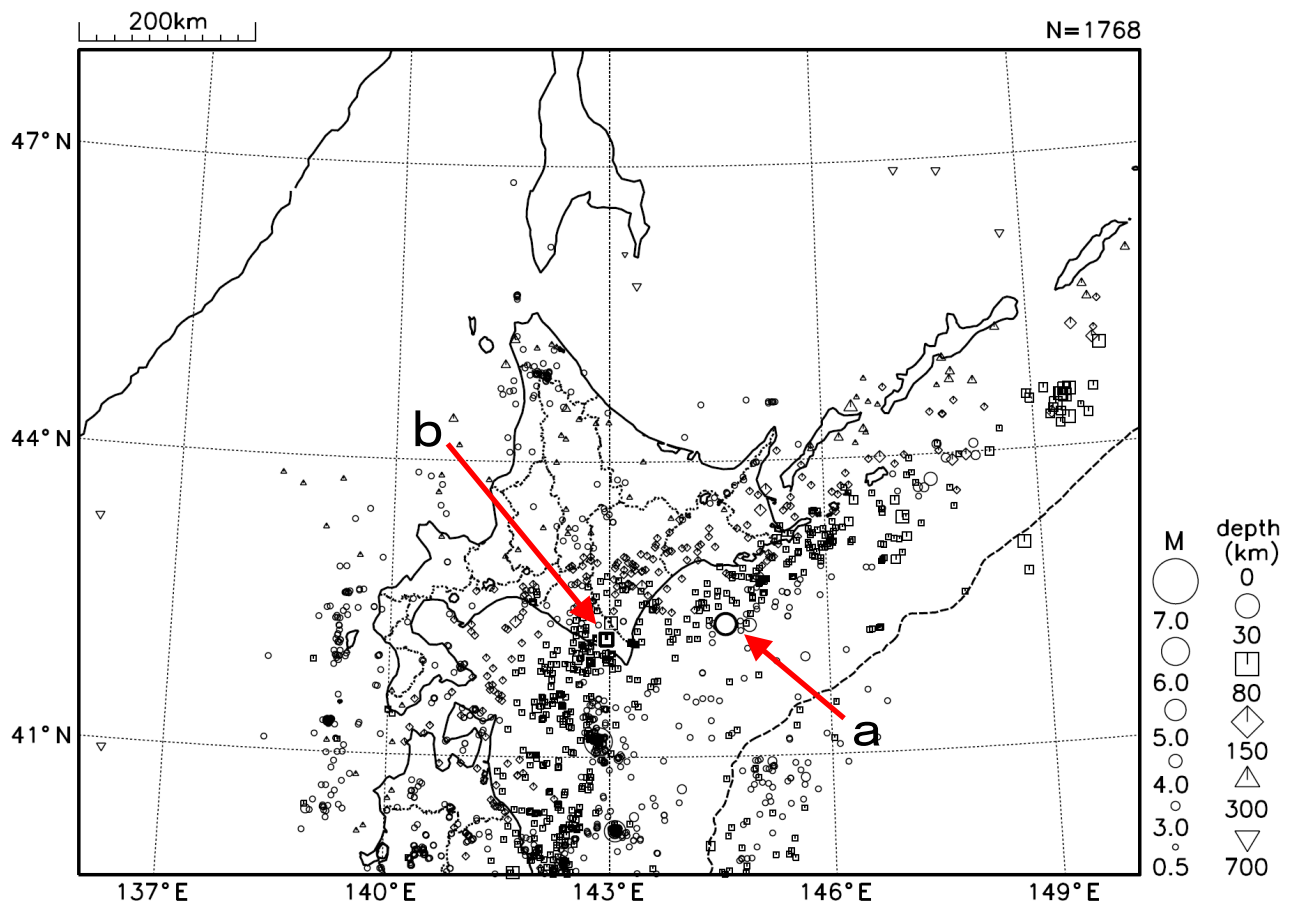


図5 北海道地方の震央分布図（2023年3月1日～3月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

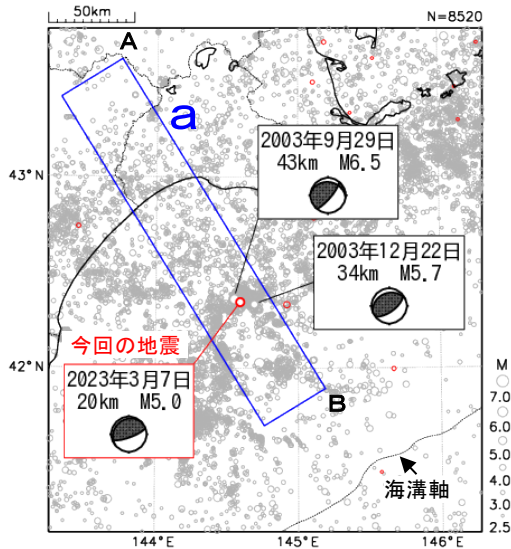
3月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は11回（2月は14回）であった。
3月中の主な地震活動は次のとおりである。

7日07時24分に釧路沖の深さ20kmで $M5.0$ の地震（図5中のa）が発生し、北海道大樹町で震度3を観測したほか、北海道及び青森県で震度2～1を観測した（p. 7参照）。

11日05時12分に日高地方東部の深さ49kmで $M4.8$ の地震（図5中のb）が発生し、北海道浦河町で震度4を観測したほか、北海道、青森県及び岩手県で震度3～1を観測した（p. 4、8参照）。

3月7日 釧路沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2023年3月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

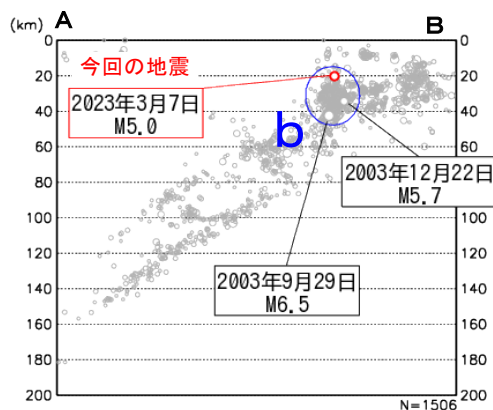


2023年3月7日07時24分に釧路沖の深さ20kmでM5.0の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

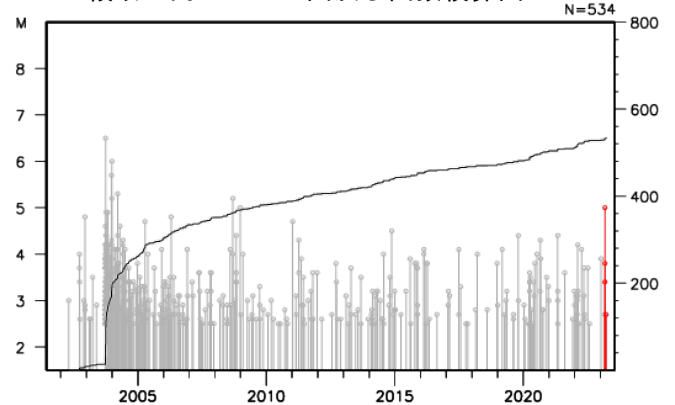
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5程度の地震が時々発生しており、2003年9月29日にはM6.5の地震（最大震度4）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。2003年9月26日の「平成15年（2003年）十勝沖地震」（M8.0、最大震度6弱）では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国の太平洋沿岸を中心に津波を観測した。この地震により、行方不明者2人、負傷者849人、住家被害2,073棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

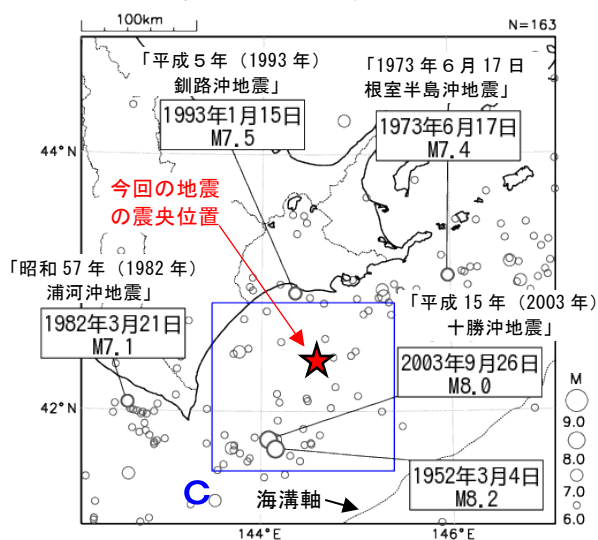
領域a内の断面図（A－B投影）



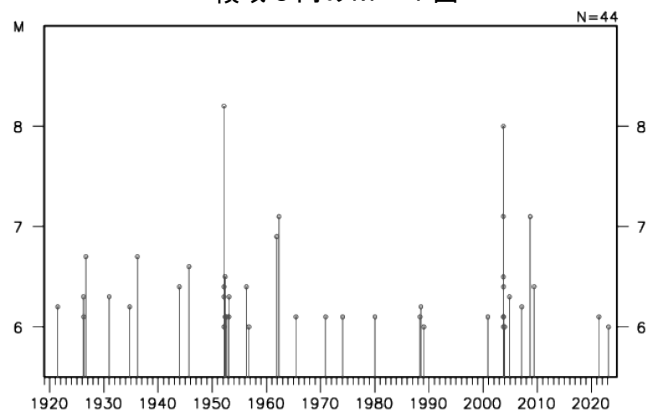
領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図

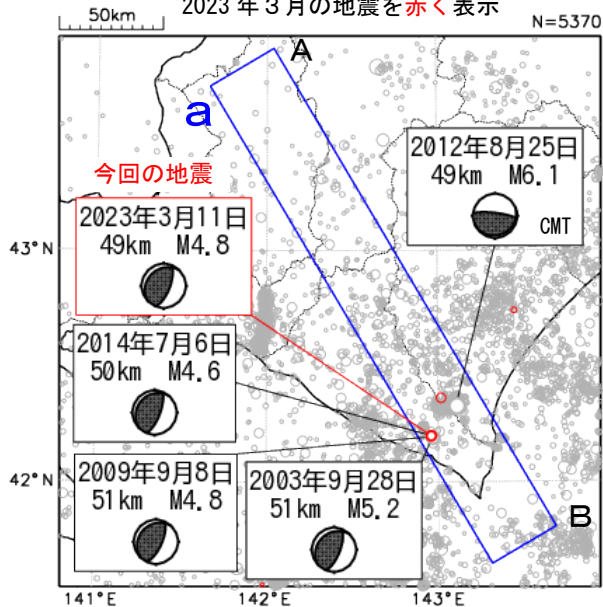


3月11日 日高地方東部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)

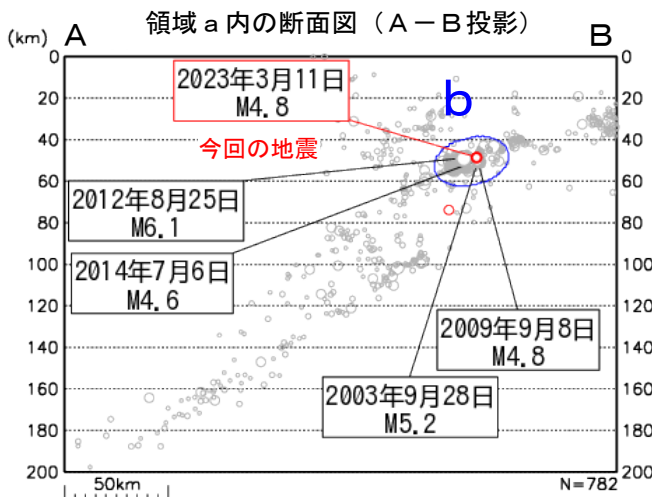
2023年3月の地震を赤く表示



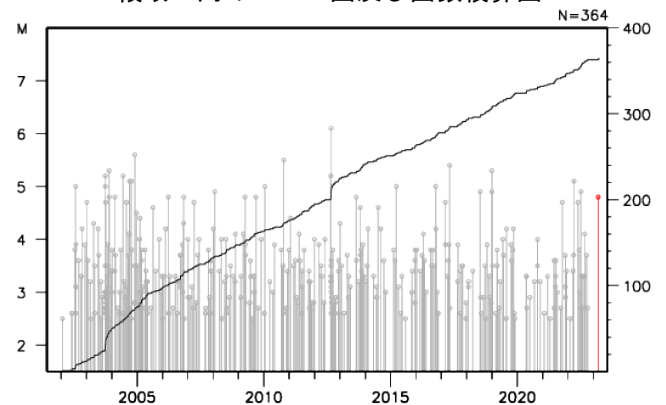
2023年3月11日05時12分に日高地方東部の深さ49kmで $M4.8$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M5$ 程度の地震がしばしば発生しており、2012年8月25日には $M6.1$ の地震 (最大震度5弱) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1982年3月21日には「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」 ($M7.1$ 、最大震度6) が発生し、負傷者167人、住家全半壊25棟などの被害を生じた (「日本被害地震総覧」による) ほか、浦河で高さ78cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。

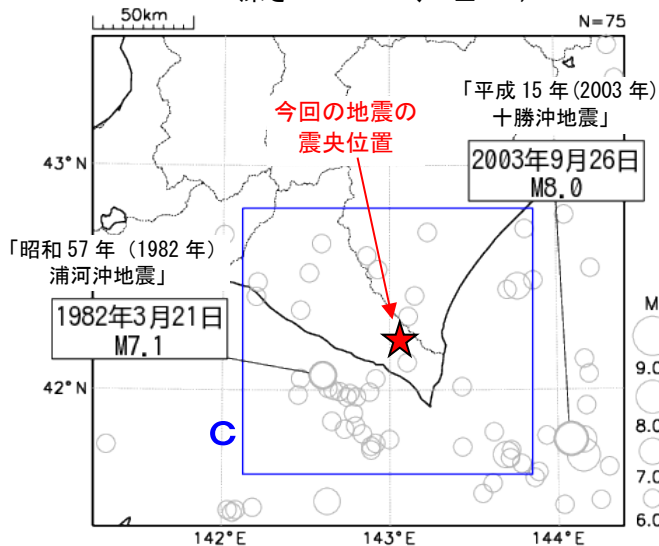


領域b内のM-T図及び回数積算図

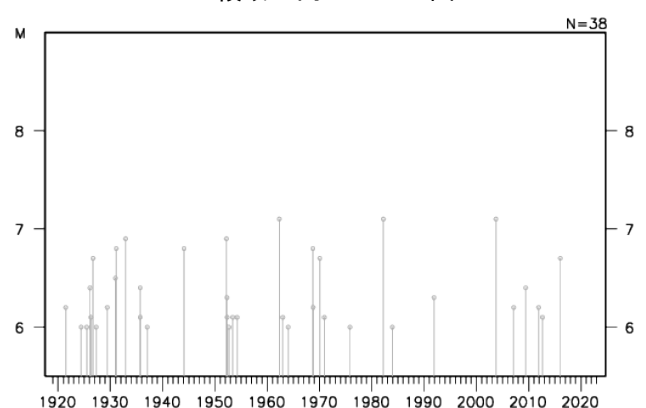


震央分布図

(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

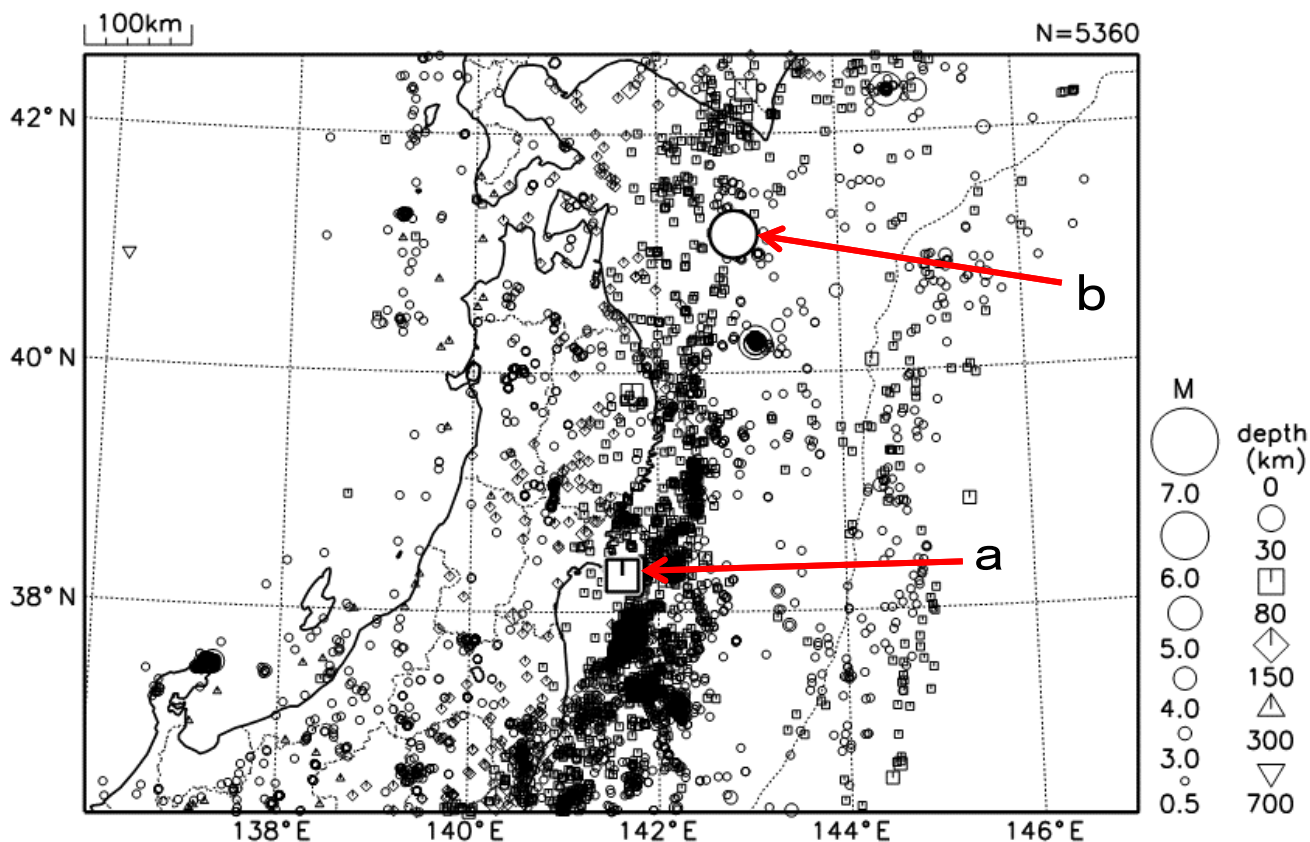


図6 東北地方の震央分布図（2023年3月1日～3月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

3月に東北地方で震度1以上を観測した地震は30回（2月は27回）であった。

3月中の主な活動は次の通りである。

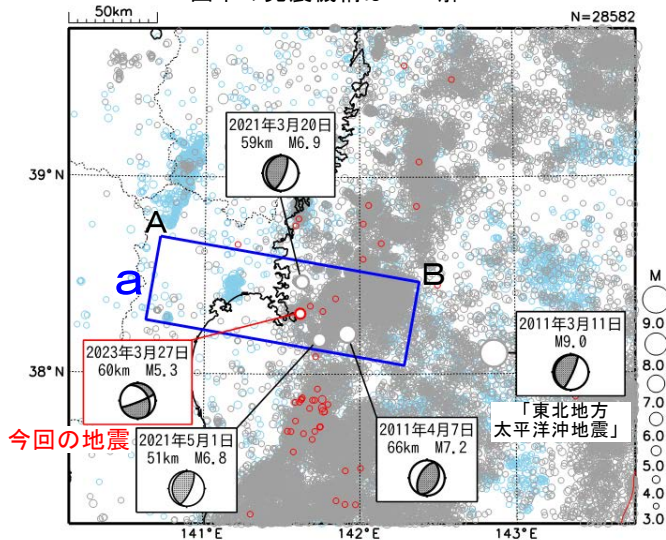
27日00時04分に宮城県沖の深さ60kmでM5.3の地震（図6中のa）が発生し、宮城県及び岩手県で震度4を観測したほか、東北地方、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度3～1を観測した（p. 5、10参照）。

28日18時18分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震（図6中のb）が発生し、北海道、青森県及び岩手県で震度4を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度3～1を観測した（p. 5、11参照）。

3月27日 宮城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
2023年3月に発生した地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

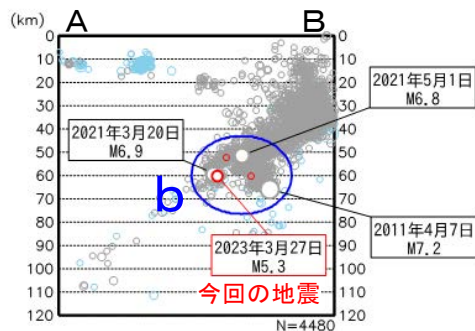


2023年3月27日00時04分に宮城県沖の深さ60kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

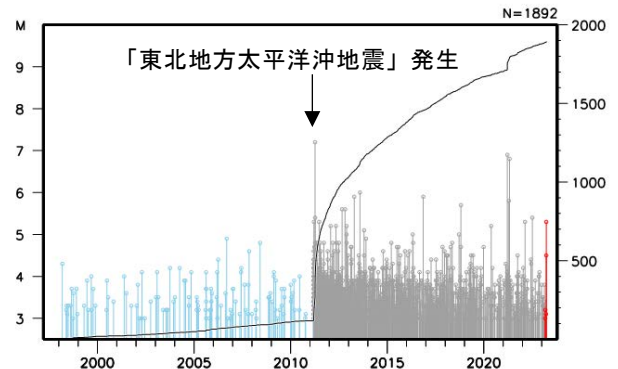
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以前はM5.0以上の地震は発生していなかった。2021年3月20日にはM6.9の地震（最大震度5強）が発生し、負傷者11人、住家一部破損12棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では「東北地方太平洋沖地震」のほか、1978年6月12日には「1978年宮城県沖地震」（M7.4、最大震度5）が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟などの被害が生じる（被害は「日本被害地震総覧」による）など、M7.0以上の地震が時々発生している。

領域a内の断面図（A－B投影）

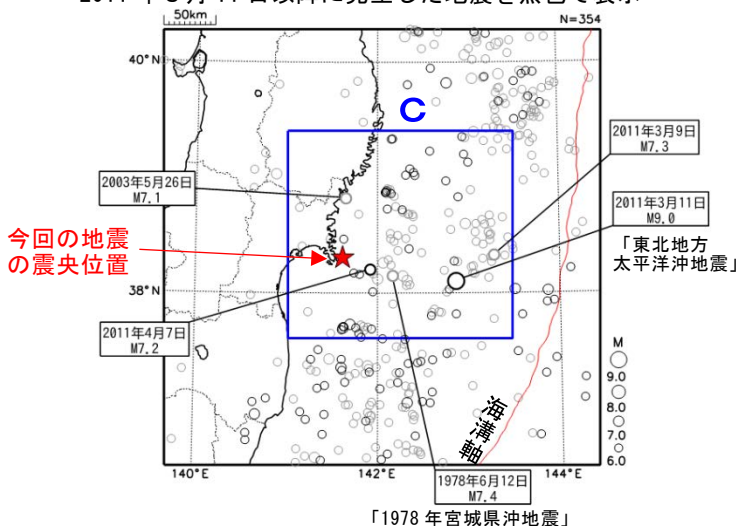


領域b内のM－T図及び回数積算図

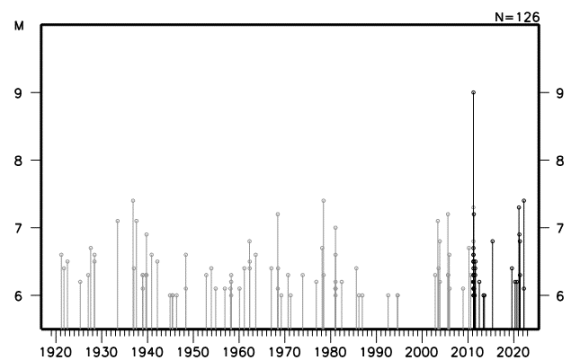


震央分布図

(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
2011年3月10日以前に発生した地震を灰色、
2011年3月11日以降に発生した地震を黒色で表示

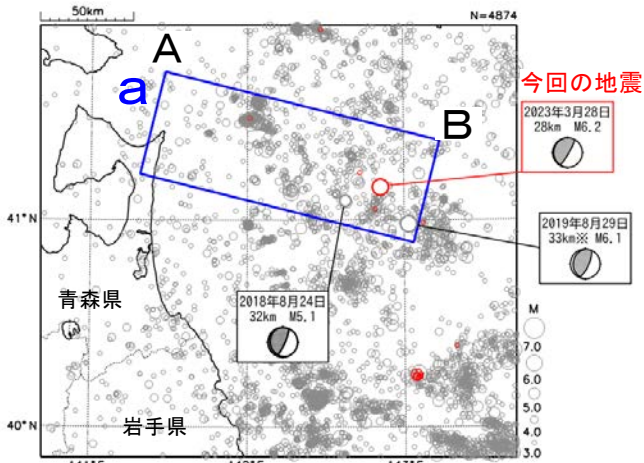


領域c内のM－T図



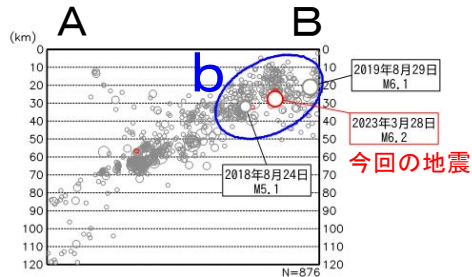
3月28日 青森県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)
2023年3月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



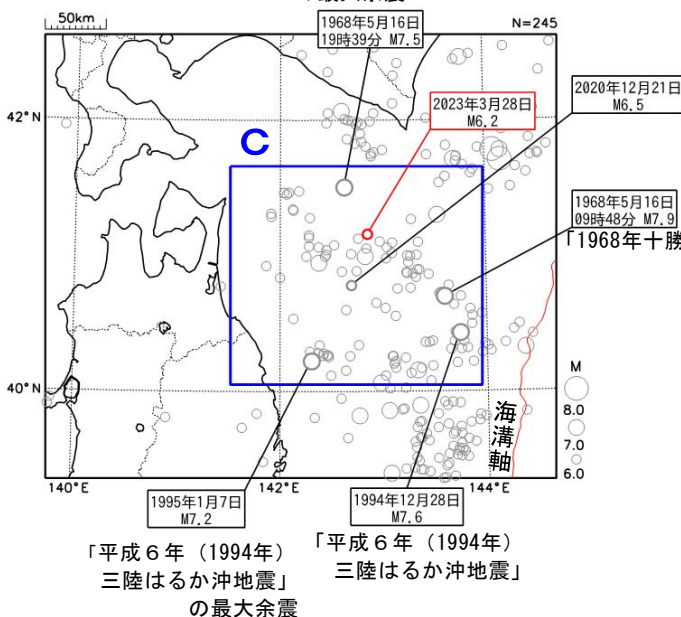
※深さはCMT解による

領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図
(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)
2023年3月の地震を赤色で表示

「1968年十勝沖地震」
の最大余震

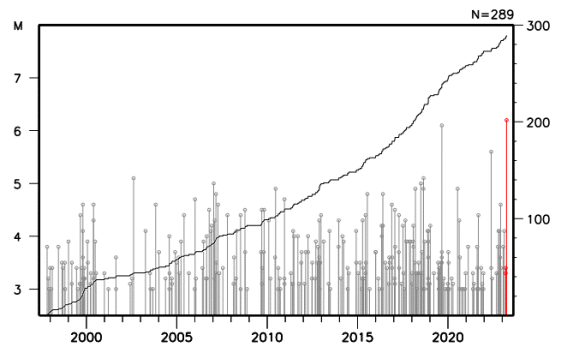


2023年3月28日18時18分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

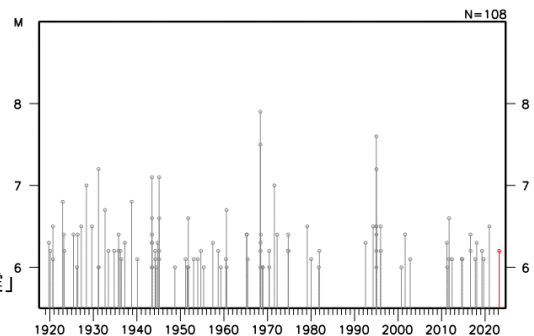
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1968年5月16日09時48分に「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)が発生した。この地震により、青森県八戸[火力発電所]で295cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

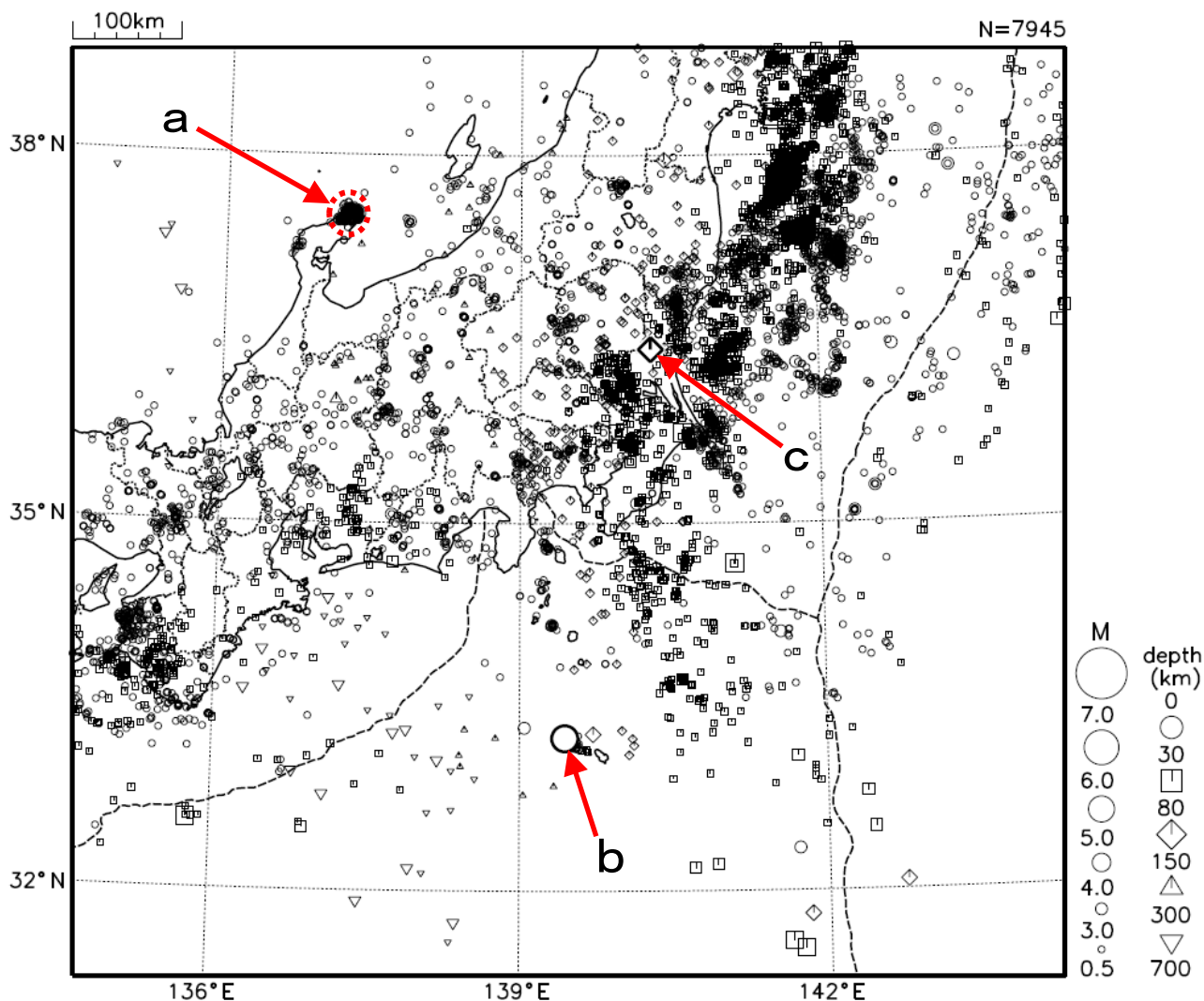


図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年3月1日～3月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

3月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は62回（2月は36回）であった。3月中の主な活動は次のとおりである。

石川県能登地方では、3月中に震度1以上を観測した地震が16回（震度3：3回、震度2：1回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震を3回含む）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は、29日03時48分に深さ13kmで発生したM4.1の地震で、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県で震度2～1を観測した。（p.13参照）。

2日15時47分に八丈島近海でM5.0の地震（図7中のb）が発生し、東京都八丈町で震度3を観測したほか、東京都青ヶ島村で震度1を観測した（p.14参照）。

24日16時25分に茨城県北部の深さ83kmでM4.7の地震（図7中のc）が発生し、福島県、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方、新潟県、山梨県及び静岡県で震度3～1を観測した（p.4、15参照）。

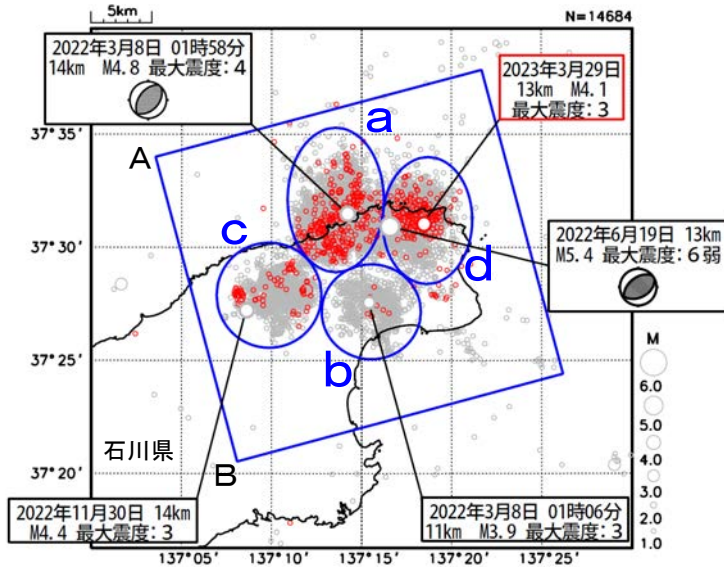
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

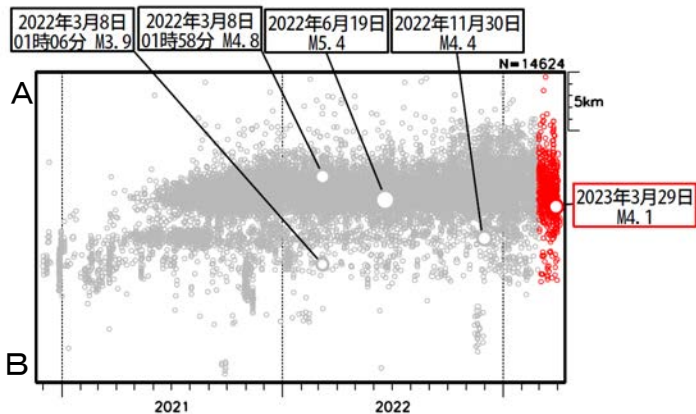
(2020年12月1日～2023年3月31日、
深さ0～25km、M≥1.0)

2023年3月の地震を**赤色**で表示

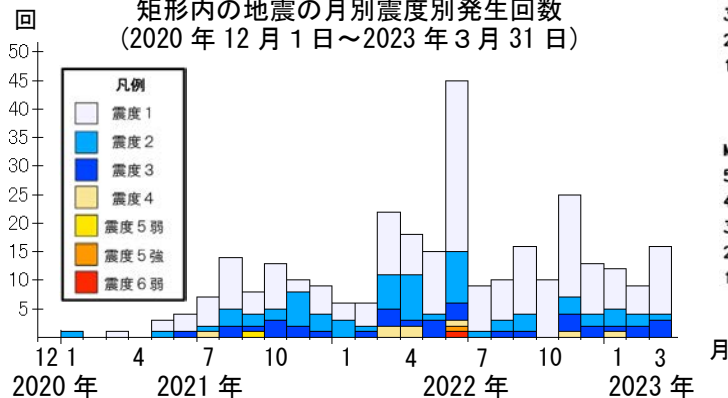
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震
 - ・ 赤色の吹き出し：矩形内で2023年3月中の最大規模の地震
- 図中の発震機構はCMT解



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年3月31日)



期間別・震度別の地震発生回数表

期間	最大震度別回数							計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	
2020年12月1日 ～2023年2月28日	181	63	31	8	1	1	1	286
2023年3月1日～31日	12	1	3	0	0	0	0	16
計	193	64	34	8	1	1	1	302

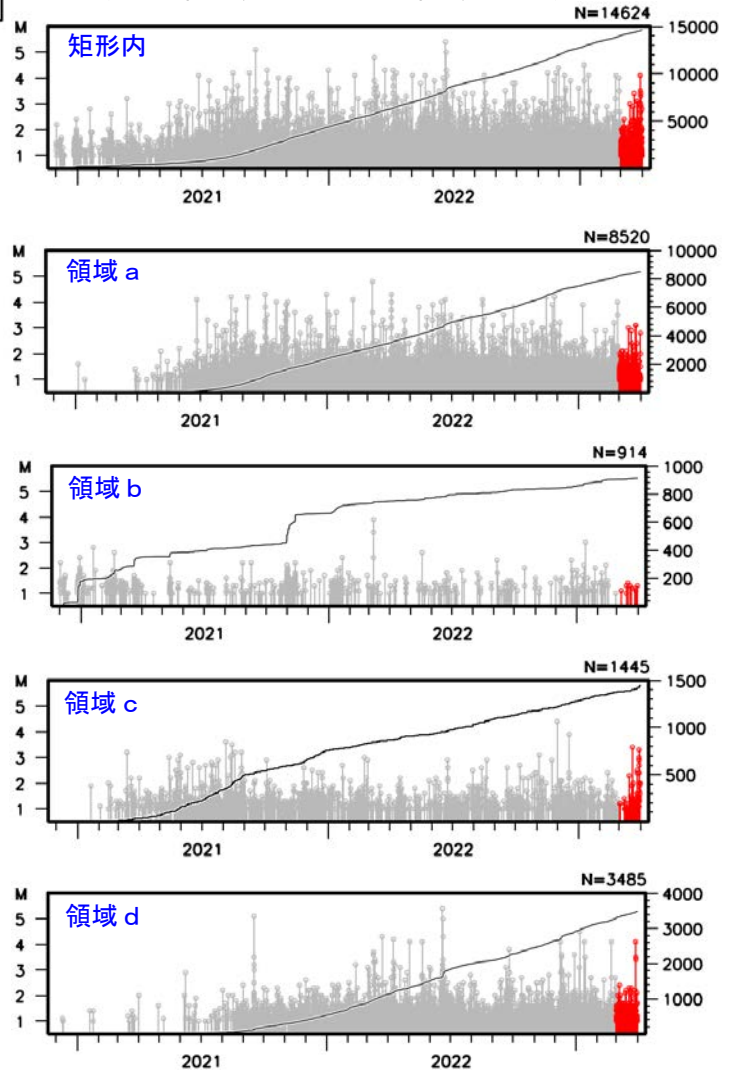
石川県能登地方 (矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年3月中も活発な状態が継続している。2023年3月中の最大規模の地震は、29日に発生したM4.1の地震 (最大震度3) である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4の地震 (最大震度6弱) である。

矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

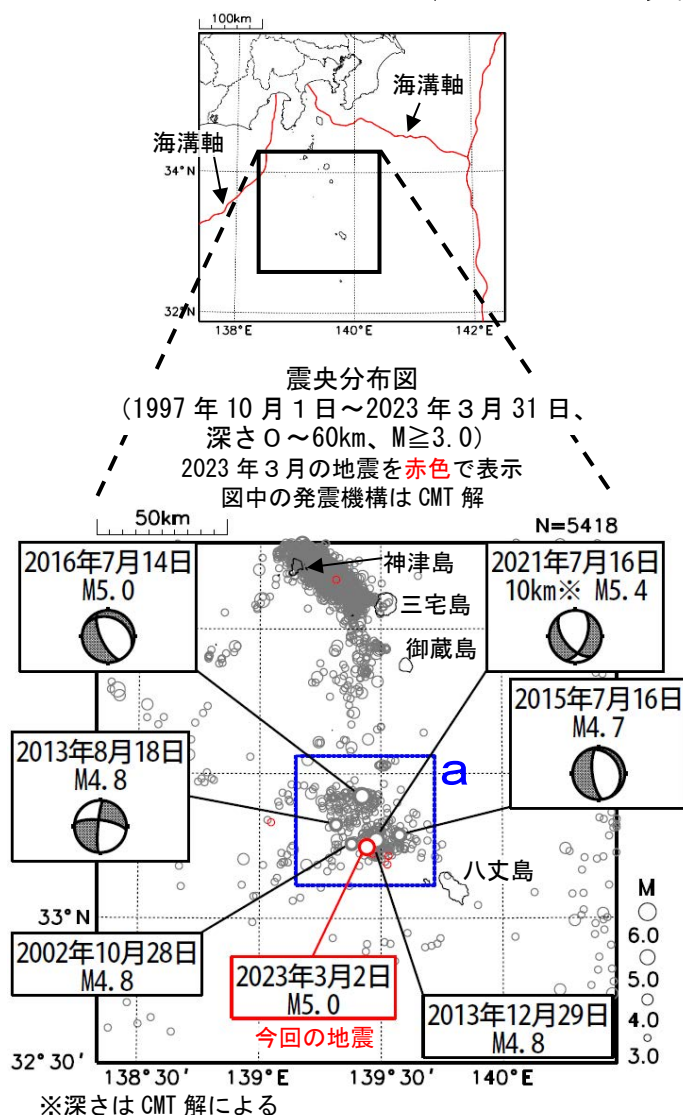
左図矩形内及び領域a～d内の

M-T図及び回数積算図

(2020年12月1日～2023年3月31日)



3月2日 八丈島近海の地震

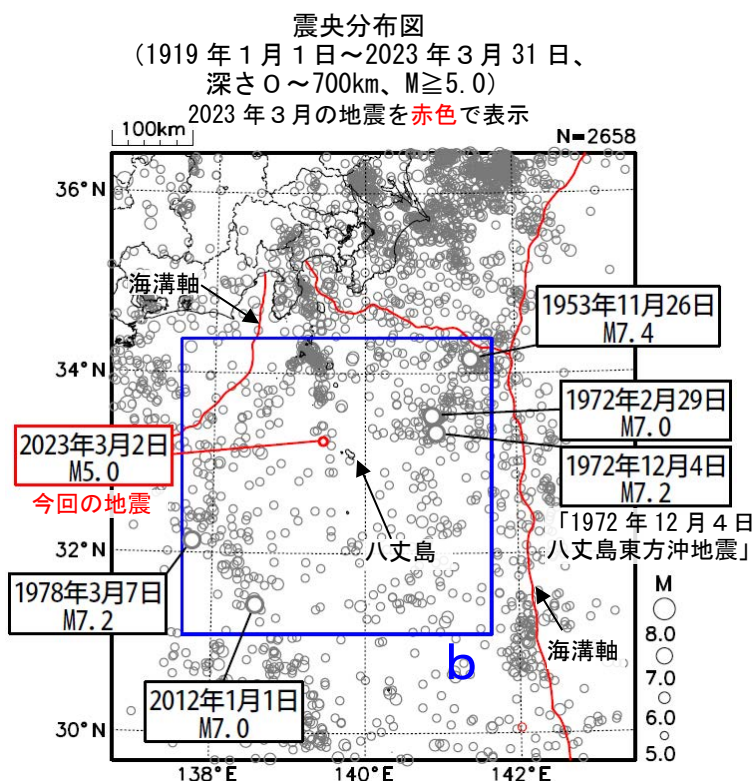
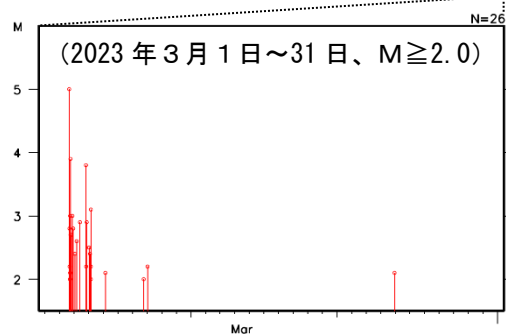
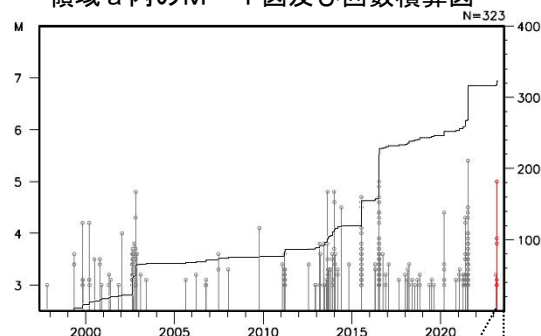


2023年3月2日15時47分に八丈島近海で $M5.0$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

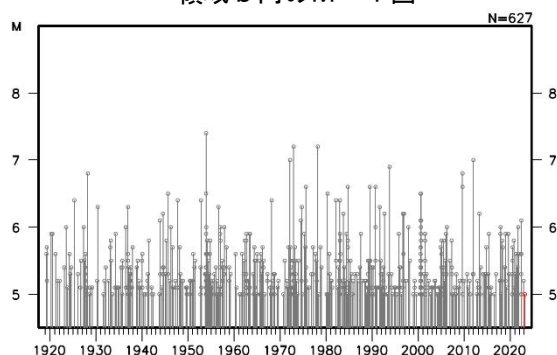
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では過去に何度かまとまった活動が発生している。2002年8月～11月の活動では、震度1以上を観測する地震が36回、2015年7月の活動では11回、2016年7月の活動では6回、2021年7月の活動では14回発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1972年12月4日には「1972年12月4日八丈島東方沖地震」($M7.2$ 、最大震度6)が発生し、串本町袋港で高さ35cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測した。またこの地震により、断水3,169世帯、土砂崩壊多数などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図

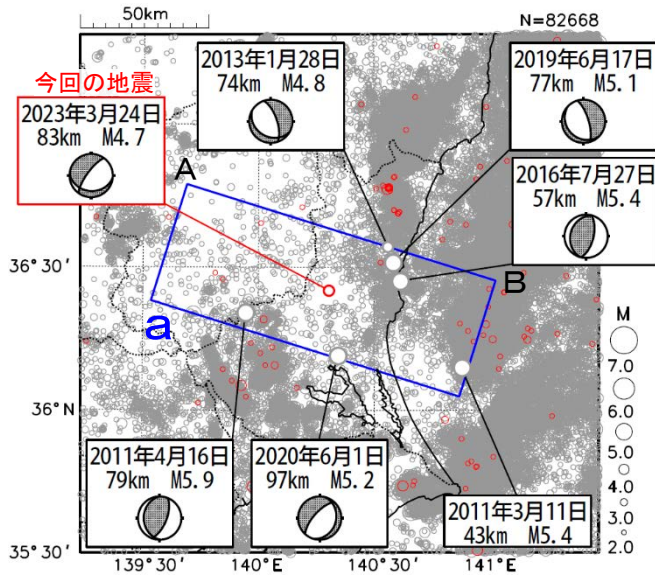


領域b内のM-T図



3月24日 茨城県北部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2023年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2023年3月の地震を赤色で表示

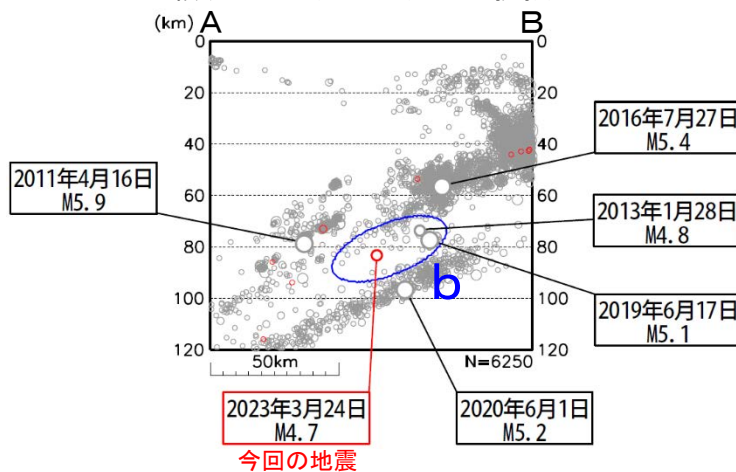


2023年3月24日16時25分に茨城県北部の深さ83kmで $M4.7$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に張力軸を持つ型である。

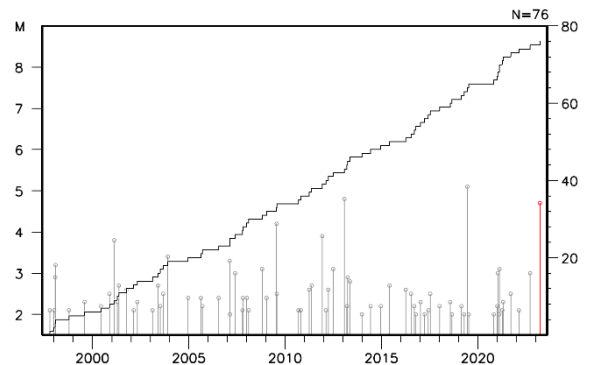
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M4.0$ 以上の地震がまれに発生している。2013年1月28日には $M4.8$ の地震 (最大震度5弱) が、2019年6月17日には $M5.1$ (最大震度4) が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。1930年6月1日に発生した $M6.5$ の地震 (最大震度5) では、がけ崩れなどの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

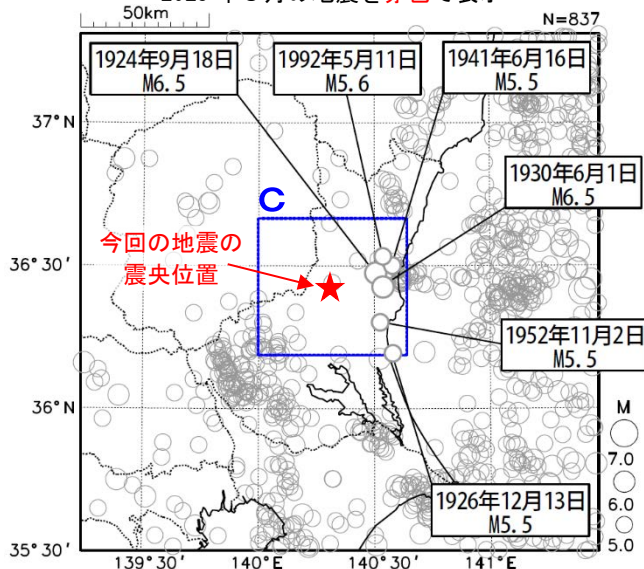
領域a内の断面図 (A-B投影)



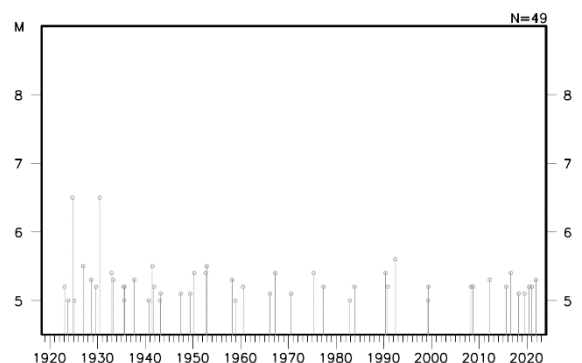
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2023年3月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

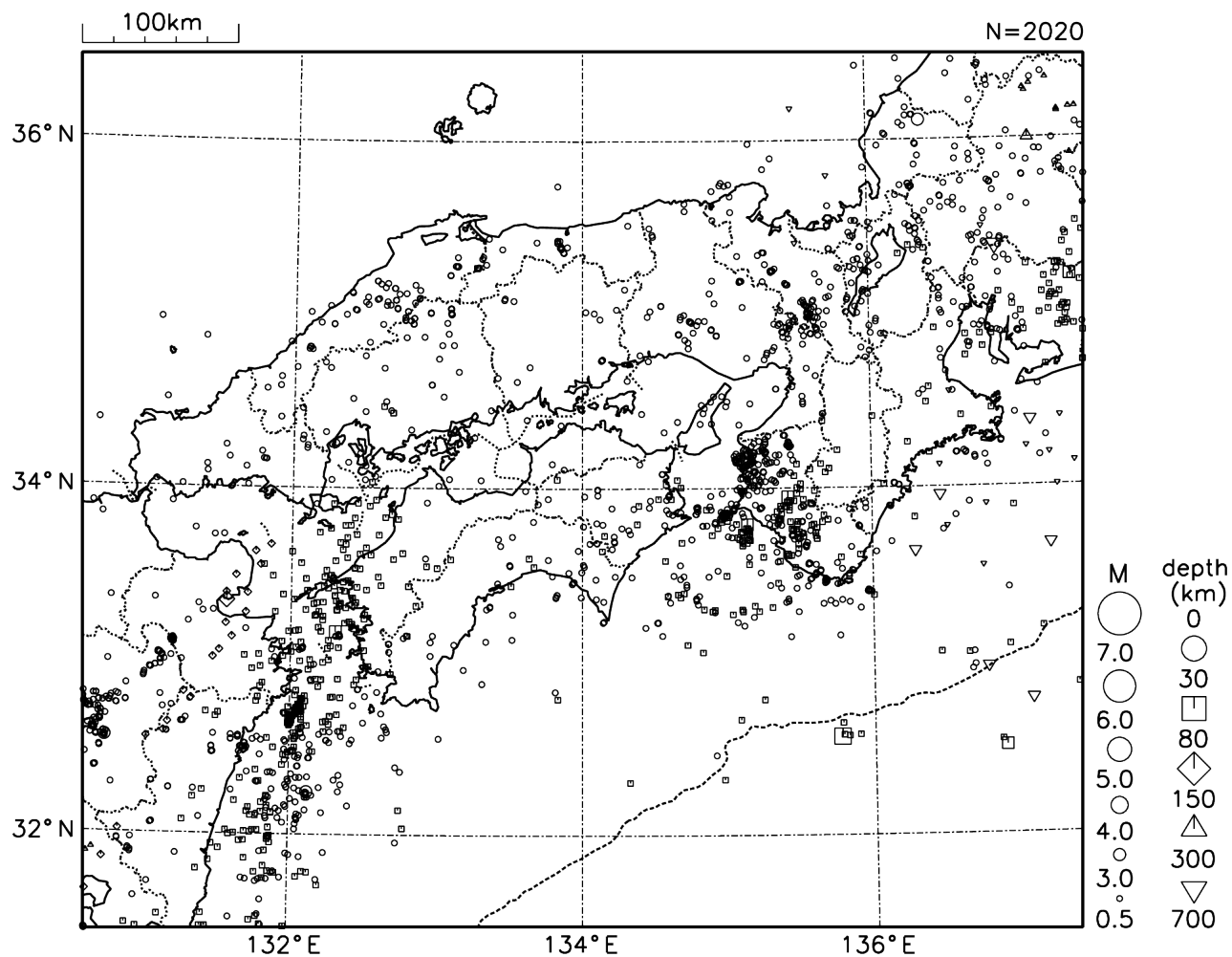


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年3月1日～3月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

3月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は11回（2月は11回）であった。3月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

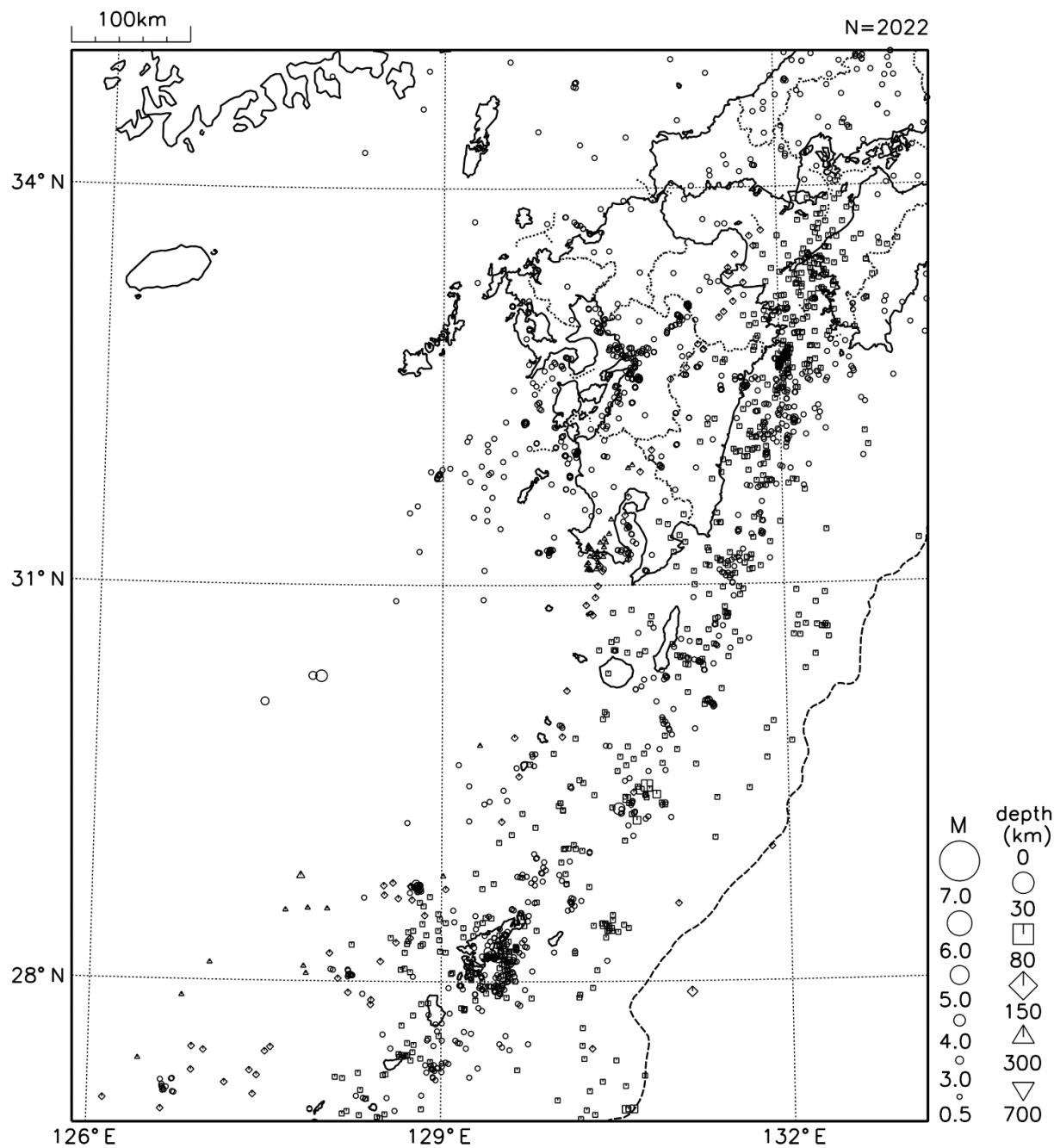


図9 九州地方の震央分布図（2023年3月1日～3月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

3月に九州地方で震度1以上を観測した地震は9回（2月は15回）であった。
3月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

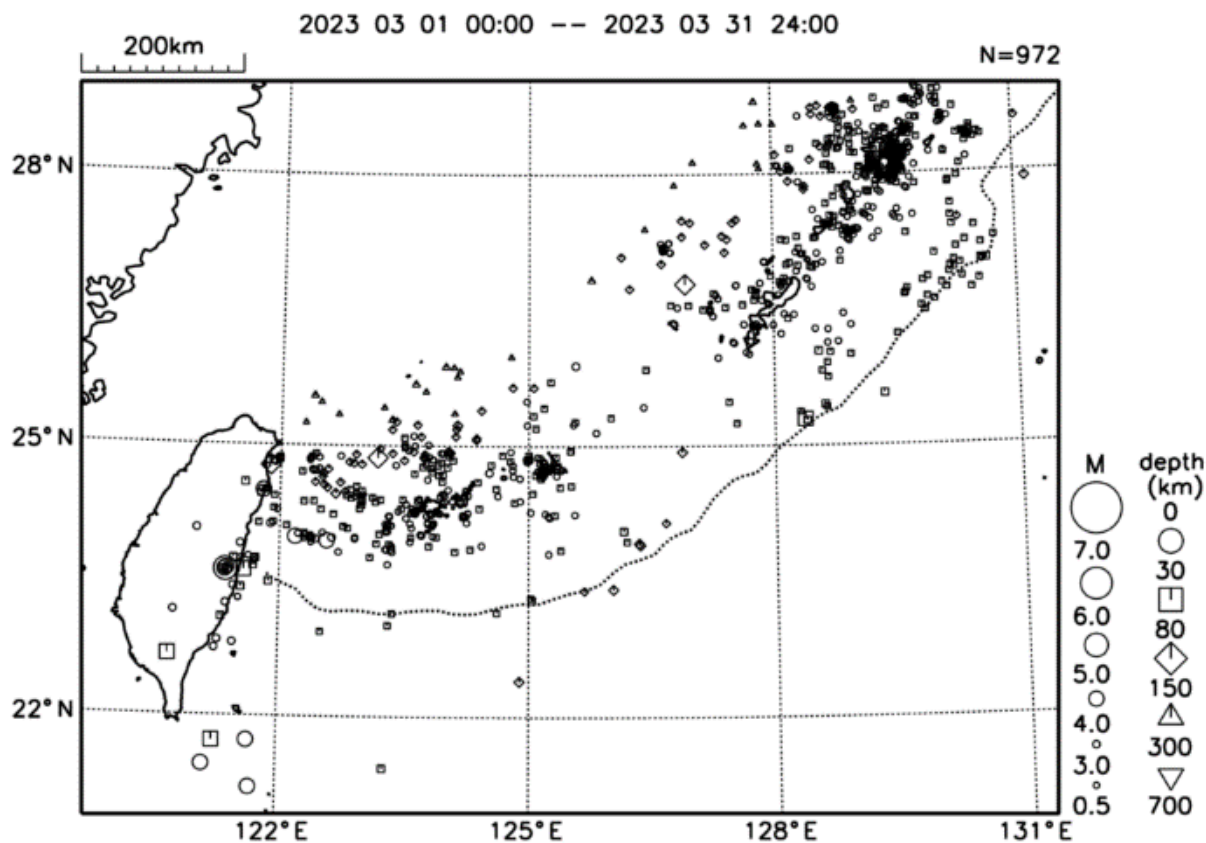


図 10 沖縄地方の震央分布図（2023 年 3 月 1 日～3 月 31 日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

3 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 5 回（2 月は 6 回）であった。
3 月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

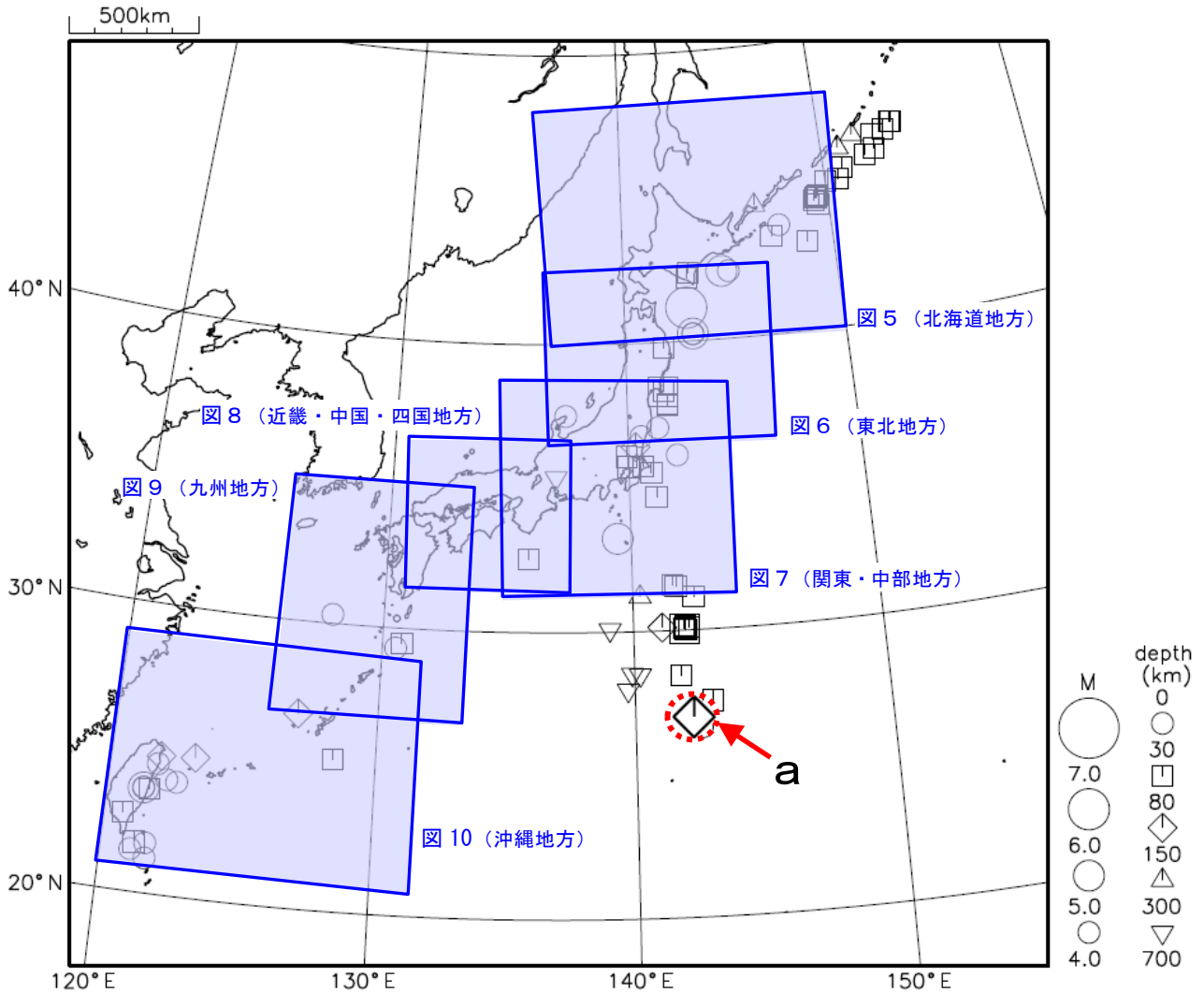


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023年3月1日～3月31日、 $M \geq 4.0$ ）

〔概況〕

3月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は1回であった（2月は1回）。

3月中に図5～10の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

父島近海では、3月31日から地震活動が活発になり、3月31日から4月10日08時までに震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：2回、震度1：10回）発生した（図11中のa）。このうち最大規模の地震は、3月31日14時52分に深さ68km（CMT解による）で発生した $M5.7$ の地震で、東京都小笠原村母島で震度2を観測したほか、小笠原村父島で震度1を観測した（p.20参照）。

父島近海の地震活動

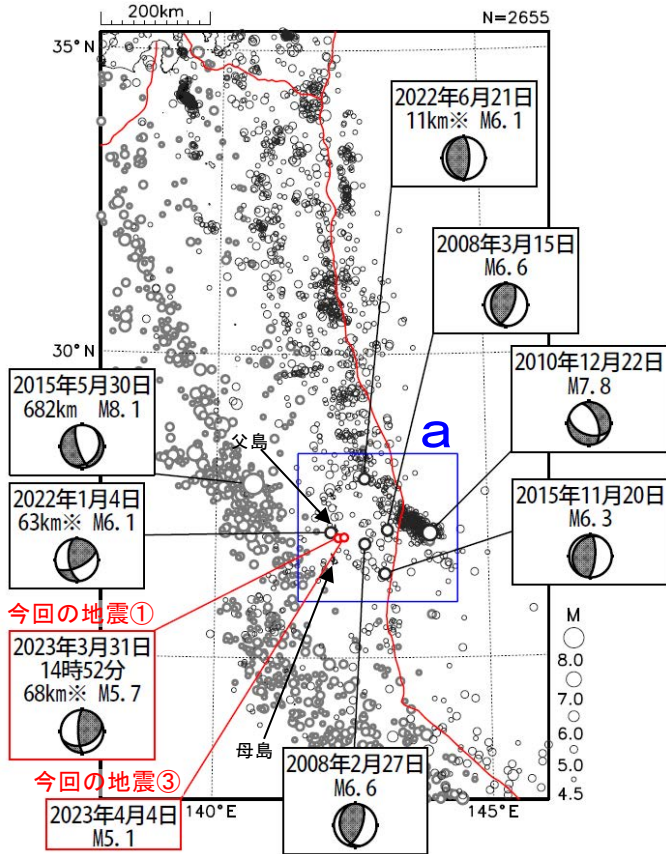
震央分布図

(1997年10月1日～2023年4月9日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)

2023年3月以降の地震を赤く表示

100kmより浅い地震を濃く表示

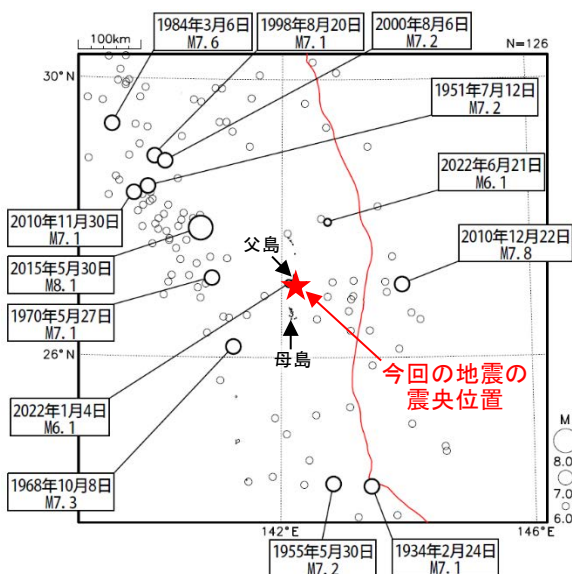
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による
赤線は海溝軸を示す。

震央分布図

(1919年1月1日～2023年4月9日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)



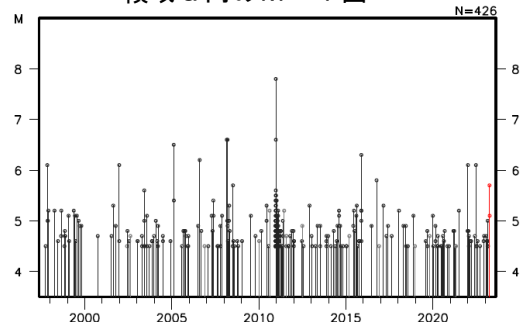
赤線は海溝軸を示す。

父島近海(領域b)では、2023年3月31日から地震活動が活発になり、4月10日08時までに震度1以上を観測した地震が14回(震度3:2回、震度2:2回、震度1:10回)発生した。このうち最大規模の地震は3月31日14時52分に深さ68km(CMT解による)で発生した $M5.7$ の地震(最大震度2、図中①)である。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。2010年12月22日の $M7.8$ の地震(最大震度4)では、この地震により津波が発生し、八丈島八重根で0.5mなどの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、小笠原諸島周辺では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。2015年5月30日の深さ682kmで発生した $M8.1$ の地震(最大震度5強)では、この地震により関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。また、1984年3月6日の $M7.6$ の地震(最大震度4)では、この地震により関東地方を中心に死者1人、負傷者1人などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

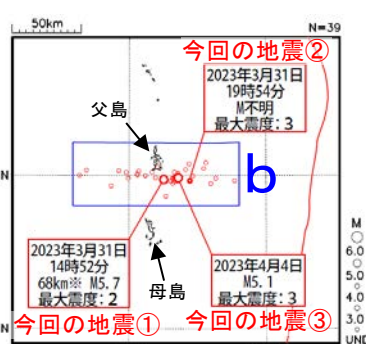
領域a内のM-T図



震央分布図

(2023年3月31日～4月9日、
深さ0～700km、 M すべて)

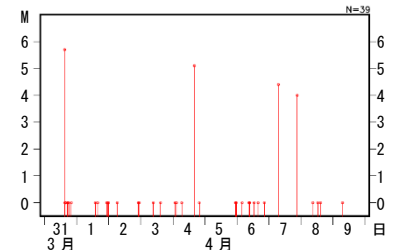
M 不明の地震は $M=0$ として表示



赤線は海溝軸を示す。

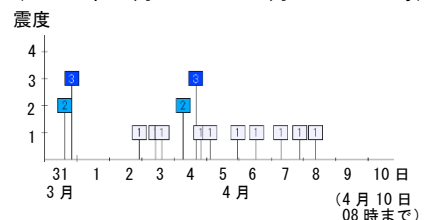
領域b内のM-T図

M 不明の地震は $M=0$ として表示



震度1以上を観測した地震の
発生時系列図

(2023年3月31日～4月10日08時)



● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第 66 回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第 444 回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、令和 5 年 4 月 7 日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料を p. 23 に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)のうち、主なものは以下のとおりです。

(1) 紀伊半島中部: 3月7日から10日

(2) 紀伊半島北部から東海: 3月25日から継続中

2. 地殻変動の観測状況

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNS S観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、2023年初頭から九州南部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

(長期的な地殻変動)

GNS S観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2023年初頭からの九州南部の地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び日向灘南部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震(微動)、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

(長期的な地殻変動)

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ：cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

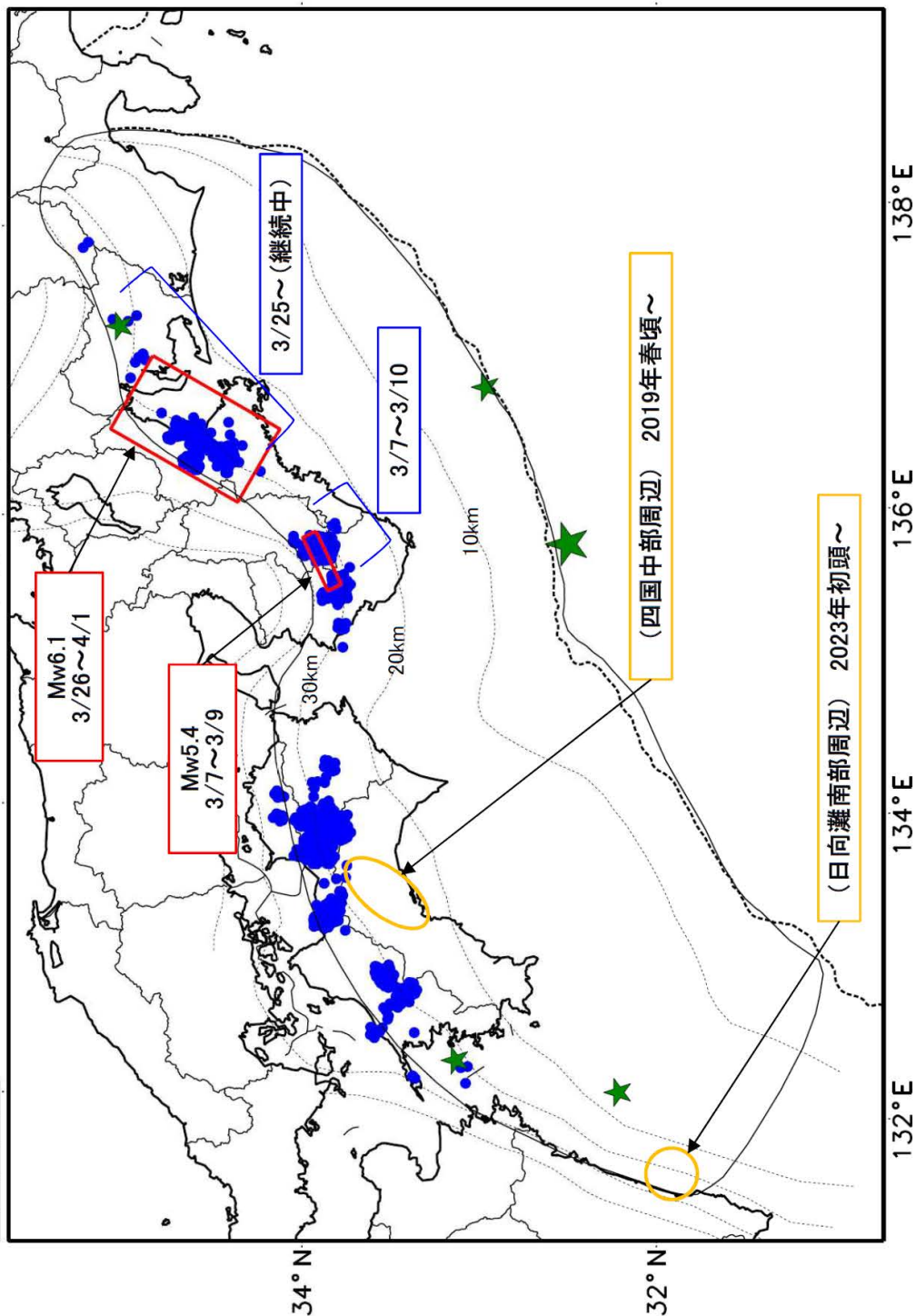
注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2023年3月1日～4月5日

100km



- 緑(★)
通常の地震(最大震度
3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
Hirose et al.(2008), Baba
et al.(2002)によるフィリ
ン海プレート上面の深さを
示す。

※M5.0以上の地震に吹き
出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島中部、紀伊半島北部から東海】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、日向灘南部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和5年3月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和5年4月10日14時現在）。

諏訪之瀬島では、5日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

浅間山では、23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

阿蘇山では、23日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和5年4月10日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、薩摩硫黄島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海徳海山※、噴火浅根※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、霧島山（新燃岳）、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

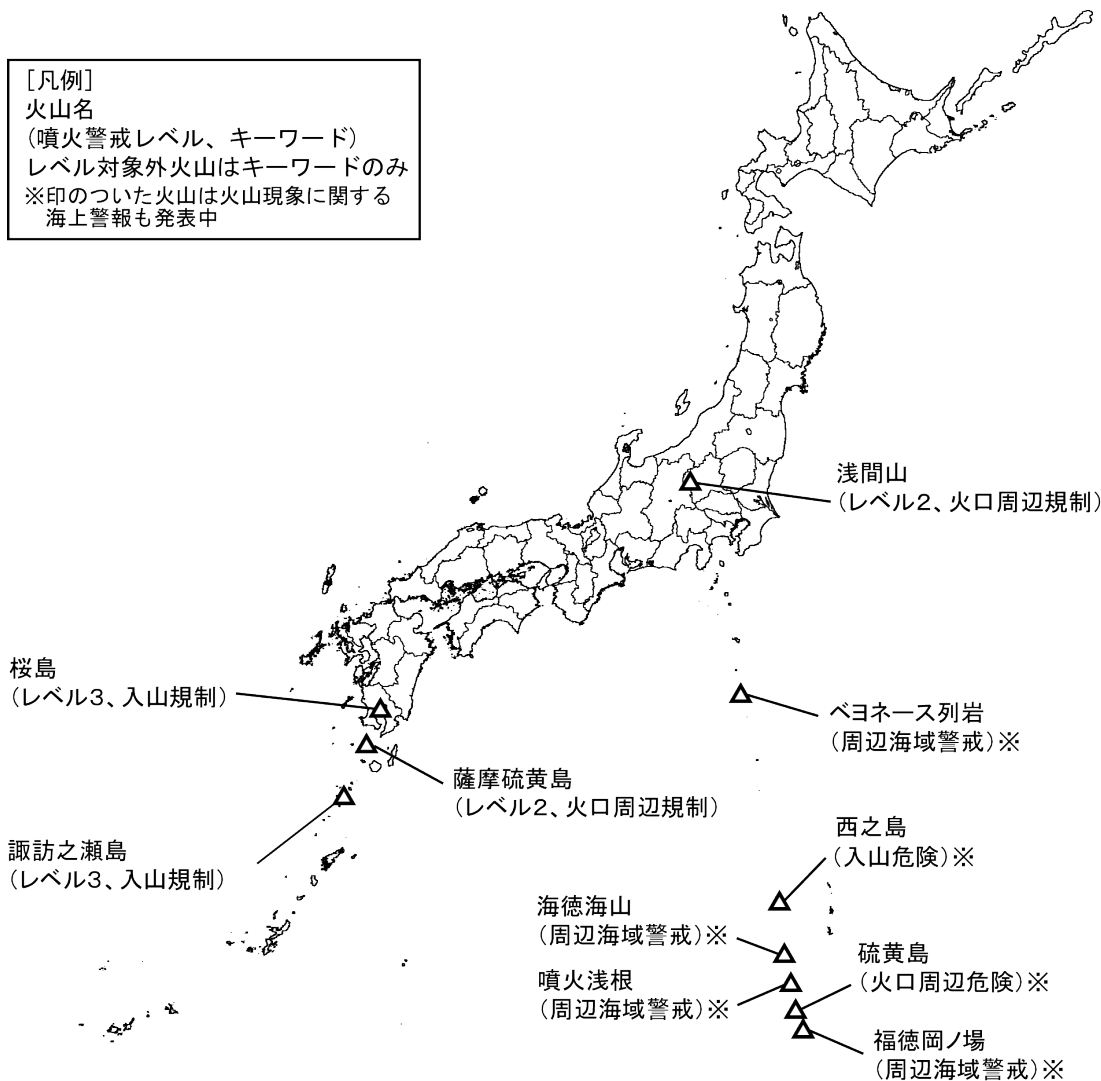


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】(3月1日～31日)

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

浅間山【火口周辺警戒(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】 ←23日に火口周辺警戒を発表し、噴火警戒レベルを1(活火山であることに留意)から2(火口周辺規制)に引き上げ。

浅間山では15日頃から、浅間山の西側での膨張を示すと考えられるわずかな傾斜変動が認められています。また、21日以降、山体浅部を震源とする火山性地震が増加しています。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量も多くなっています。

浅間山では火山活動が高まっており、今後、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。このため、23日15時30分に火口周辺警戒を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)に引き上げました。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩【噴火警戒(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められないものの、引き続き明神礁付近で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は観測されませんでしたが、火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められないものの、2023 年 1 月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

GNSS 連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

2021 年 8 月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021 年 8 月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

阿蘇山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）】 ←23 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引下げ。

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さくなり、その他の観測データにも活発化を示す変化は認められなくなったことから、噴火の可能性は低くなったと判断し、23 日 11 時 00 分に噴火警報を解除し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。その後も活動に変化はありません。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

南岳山頂火口では、活発な噴火活動が続いています。南岳山頂火口では噴火¹⁾が 22 回発生し、このうち 8 回が爆発でした。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 5 合目まで達し、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上 2,800m まで上がりました。

昭和火口では、上旬に噴火が 8 回発生しました。

広域の GNSS 連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス放出量は概ね多い状態であり、山体膨張を示す地殻変動が観測されていることから、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に

伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】 ←5日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。

御岳（おたけ）火口では、活発な噴火活動が継続しています。2日より爆発の増加した状態が続いたことから、御岳火口中心から1kmを超え概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある判断し、5日06時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後も爆発は増減を繰り返しています。

御岳火口中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1）桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年12月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2009年４月10日噴火予報（レベル１、平常）切替 2014年６月３日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年６月７日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年４月22日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年９月21日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年９月28日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年３月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年１月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年１月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年３月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年４月５日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月８日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月１日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月３日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月７日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月15日噴火予報（レベル１、平常） 2015年６月11日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年８月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年８月７日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2019年８月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年11月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2020年６月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年２月５日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2021年３月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年８月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2023年３月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2011年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年５月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2011年３月31日噴火予報（レベル１、平常） 2022年５月24日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年７月12日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年３月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2008年３月31日噴火予報（レベル１、平常） 2014年９月27日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2014年９月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年１月19日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年３月31日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年６月26日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年８月21日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2022年２月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年４月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）切替 2022年６月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2015年９月２日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海徳海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

(2) その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注) 2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

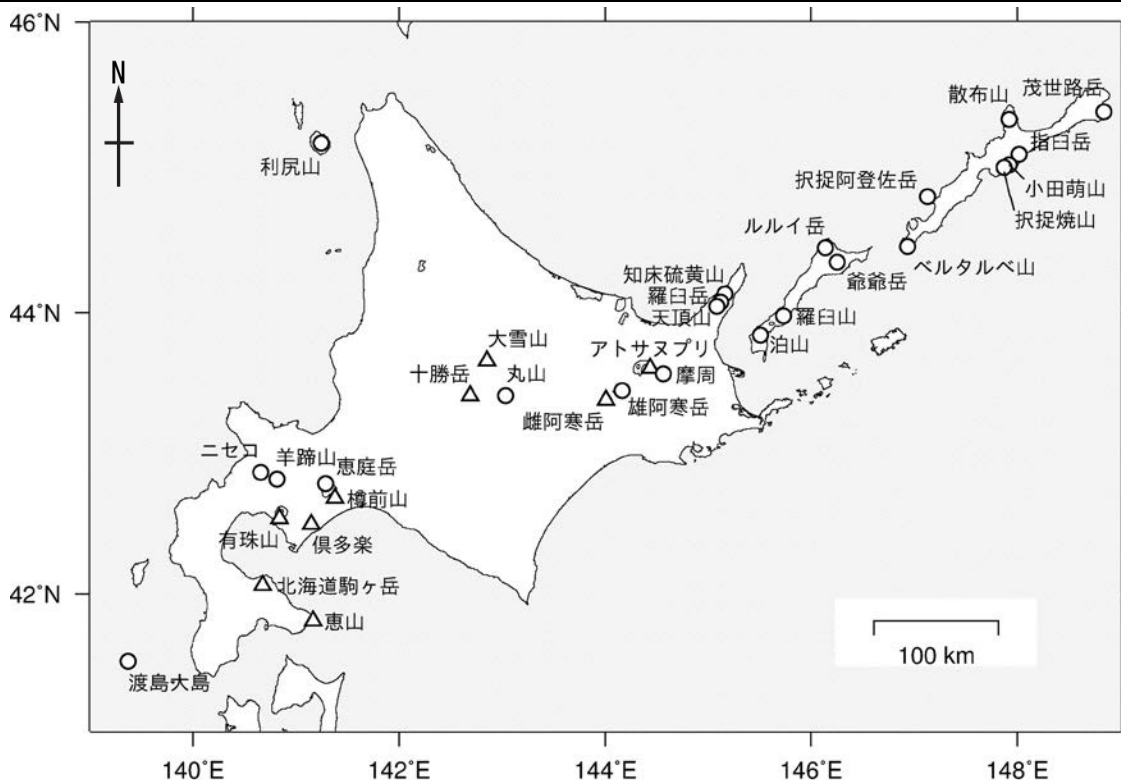
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年3月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（3月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（3月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では熱活動の活発な状態が続いており、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年3月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（3月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（3月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、大岳山頂付近のやや浅いところが震源と推定される低周波地震を含む火山性地震の一時的な増加がみられましたが、その他の火山活動に特段の変化は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2020 年中頃から秋田焼山を挟む基線で伸びの変化が認められ、今期間もその変化は継続しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられませんが、地殻変動等の今後の火山活動の推移に留意してください。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち



^{めだけ}女岳付近では地熱活動も継続的に認められますので、中長期的な火山活動の活発化に留意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

大穴火口付近では今期間、一時的に浄土平傾斜計で西（大穴火口）方向の隆起を示すやや大きな傾斜変動が観測されるとともに、日別回数が100回を超える火山性地震の増加がみられました。傾斜変動はその後西方向の隆起を示す緩やかな変化となって継続しています。浅部は熱水活動がやや活発になっていますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2022 年後半から火山活動の可能性のあるわずかな変化が認められています。また、16 日に一時的に火山性地震の増加がみられ、今期間は地震回数が多い状態で経過しました。今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

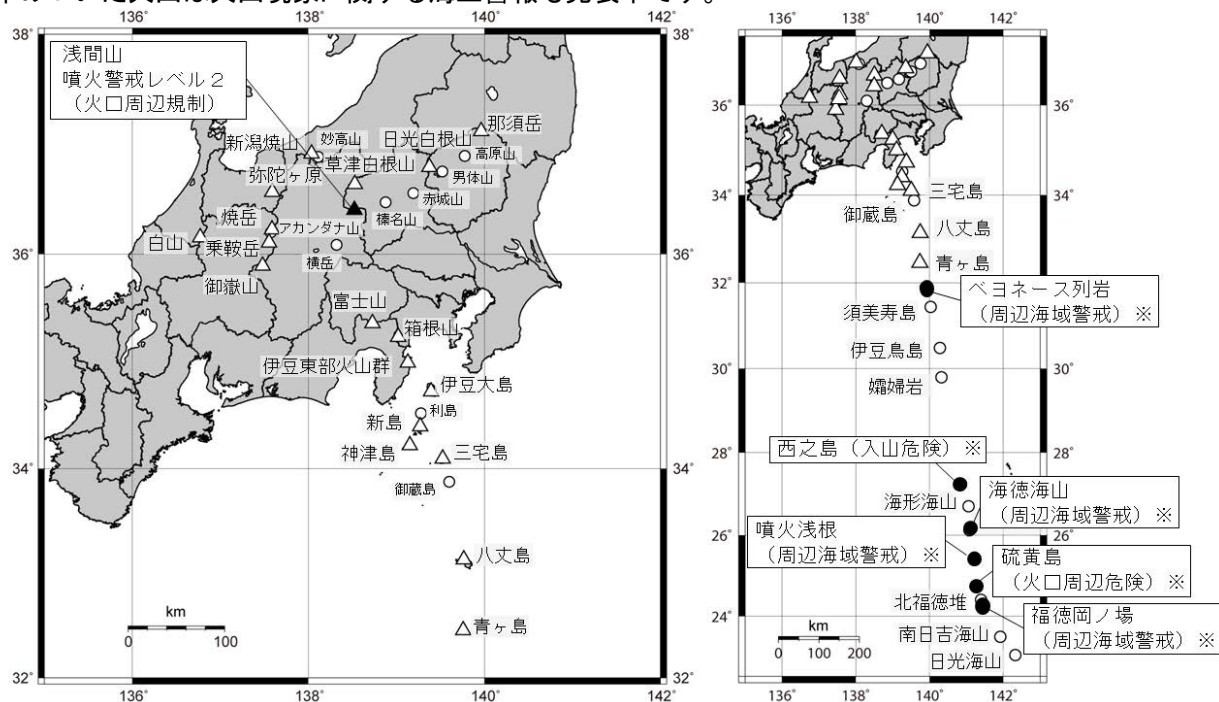
管内月間火山概況（令和5年3月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（3月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡 例	
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（3月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね 500m の範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018 年 1 月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←23日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）へ引上げ

浅間山では 15 日頃から、浅間山の西側での膨張を示すと考えられるわずかな傾斜変動が認められています。また、21 日以降、山体浅部を震源とする火山性地震が増加しています。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も多くなっています。

浅間山では火山活動が高まっており、今後、山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。このため、23 日 15 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げました。

山頂火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新湯焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動も認められませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

焼岳では、山頂付近の微小な地震は、少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

ただし、GNSS 連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度 1 以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

今期間、地震活動は低調に経過しました。地殻変動も停滞しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

三宅島では、GNSS 連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられる、山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2022年から鈍化していますが、火山活動は依然として徐々に高まりつつあると考えられます。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、引き続き明神礁付近で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やバースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は観測されませんでしたが、火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023 年 1 月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS 連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021 年 8 月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021 年 8 月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年3月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

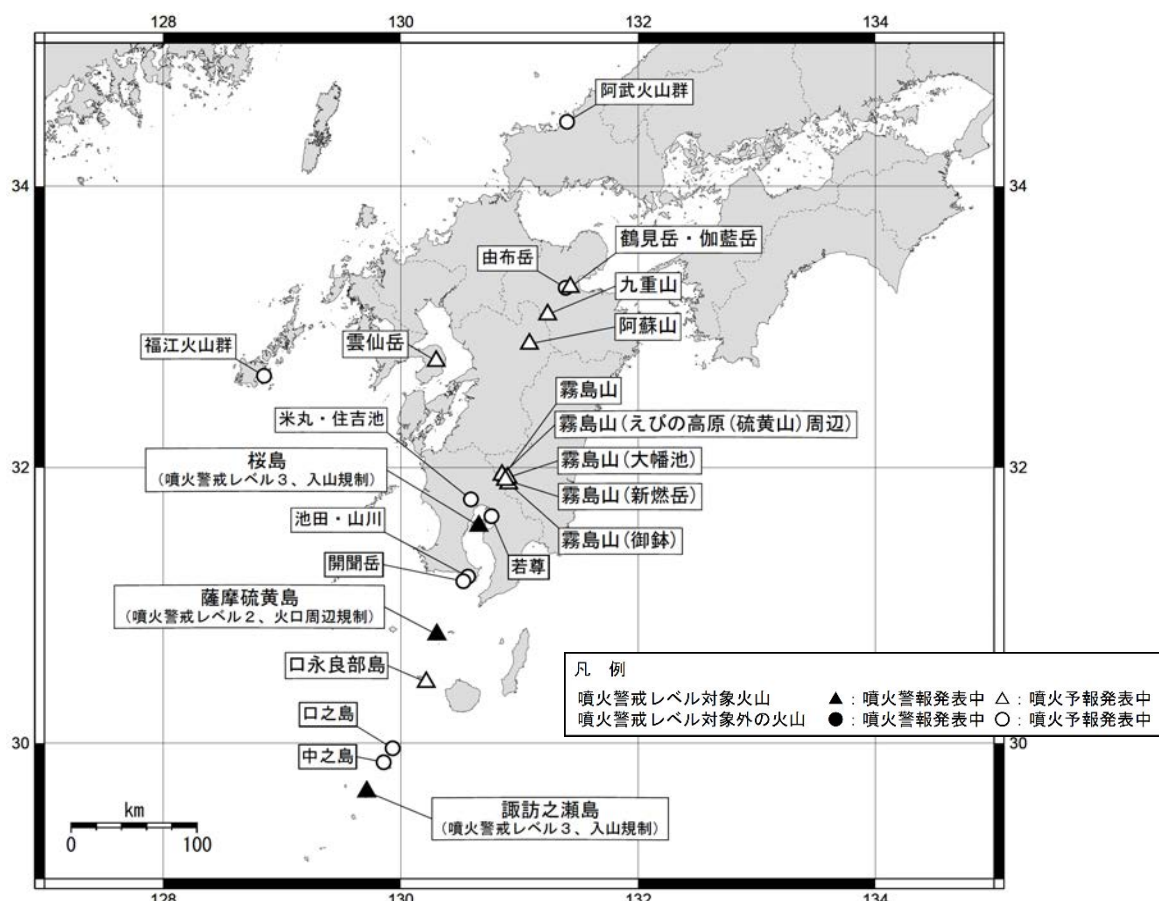
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年3月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和5年3月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_vact_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（3月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

諏訪之瀬島では、5日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

阿蘇山では、23日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、B型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられています。今後の火山活動に留意してください。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）] ←23日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ。

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さくなり、その他の観測データにも活発化を示す変化は認められなくなったことから、噴火の可能性は低くなったと判断し、23日11時00分に噴火警報を解除し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。その後も活動に変化はありません。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は概ね少ない状態で経過していますが、3月中旬以降わずかに増加しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線において、2022年11月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、2023年1月頃から停滞しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

きりしまやま しんもえだけ
霧島山（新燃岳）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は3月下旬からやや多い状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022 年 11 月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられています、2023 年 1 月頃から鈍化しています。

新燃岳では、今後火山活動が活発化する可能性があります。活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま
桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、活発な噴火活動が続いています。南岳山頂火口では噴火1)が22回発生し、このうち8回が爆発2)でした。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目まで達し、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上2,800mまで上がりました。

昭和火口では、上旬に噴火が8回発生しました。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス放出量は概ね多い状態であり、山体膨張を示す地殻変動が観測されていることから、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま
薩摩 硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま
口永良部島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は1日数回程度と概ね少ない状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少ない状態が続いています。また、GNSS 連続観測では、2021 年 5 月以降、特段の変化は認められません。

口永良部島では、火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低いと考えられます。

活火山であることから、新岳火口内、西側割れ目付近では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←5日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引上げ。

御岳（おたけ）火口では、活発な噴火活動が継続しています。2日より爆発の増加した状態が続いたことから、御岳火口中心から1kmを超え概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある判断し、5日06時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。その後も爆発は増減を繰り返しています。

御岳火口中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年3月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

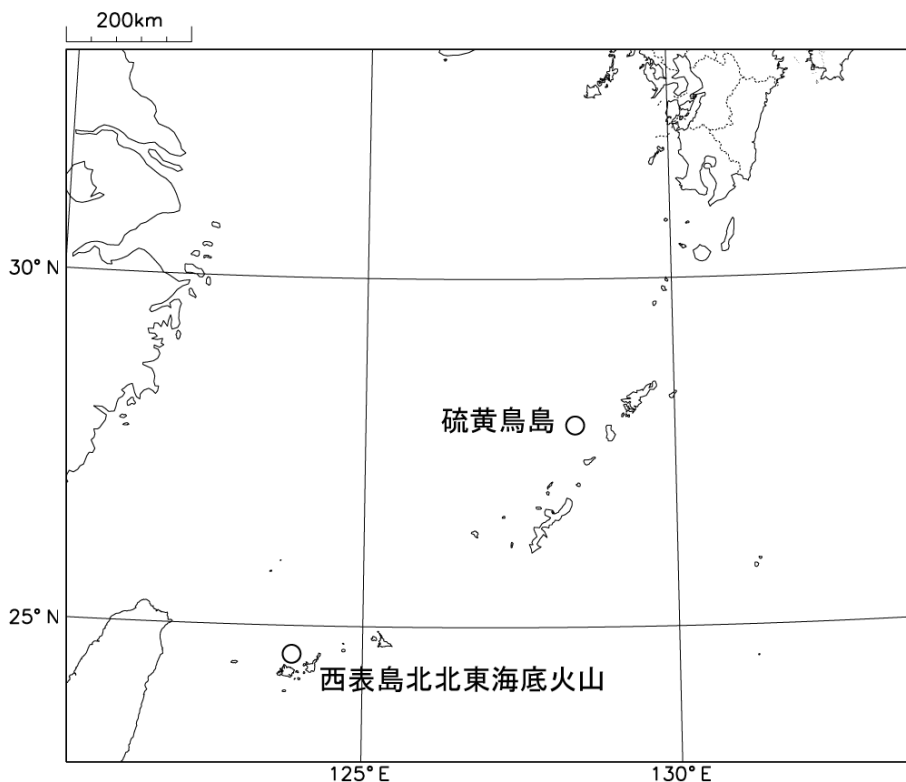
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和5年3月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第26～34号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口及び昭和火口の噴火、噴煙、大きな噴石飛散の状況。南岳山頂火口での爆発、火映の状況。 現地調査による火山ガス(二酸化硫黄)放出量。上空からの観測の状況。 火山性地震、微動の発生状況。 傾斜計及び伸縮計で、1月頃からみられていた山体膨張を示す緩やかな地殻変動は、3月中旬頃から概ね停滞。 GNSS連続観測では、1月頃から山体の隆起・膨張に伴うと考えられるわずかな伸びが認められる。 始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	4日 22時13分 5日 05時05分 6日 14時13分 7日 07時02分 10時11分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	4日 22時21分 5日 05時13分 6日 14時23分 14時53分 15時11分 7日 07時17分 10時22分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報(臨時) 第19号	4日 18時10分	2日から爆発が増加。噴火活動が活発化する可能性。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	火口周辺警報	5日 06時40分	2日から爆発が増加。火山活動が高まっている。御岳火口から2kmの範囲で大きな噴石に警戒。
		解説情報 第20～29号	5日 07時10分 6日、10日、13日、20日、24日、27日、31日 16時00分	活発な噴火活動が継続。噴火、爆発、大きな噴石飛散の状況。集落での鳴動と降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。島西側のやや深部へのマグマの蓄積を示唆する傾斜変動。
		降灰予報(速報)	7日 15時53分 8日 18時00分 9日 03時11分 10日 02時08分 16日 06時52分 22日 05時05分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	7日 16時04分 8日 18時11分 9日 03時24分 10日 02時17分 16日 07時03分 22日 05時18分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10～13号	6日、13日、20日、27日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 24～26 号	6 日、13 日、20 日 16 時 00 分	火山性微動の振幅がやや大きい状態で推移していたところ、7 日頃から小さい状態。火映の状況。上空からの観測の状況。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない。GNSS 観測による基線長の変化は停滞。
	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活 火山であることに留意)	噴火予報	23 日 11 時 00 分	火山性微動の振幅が小さくなり、その他の観測データにも活発化を示す変化は認められない。火山活動が低下し、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲に影響する噴火の可能性は低下。
		解説情報 第 27 号	23 日 11 時 10 分	火山性微動の振幅は小さい状態、現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）は少ない状態、GNSS 連続観測での状況。
浅間山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活 火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第 1 号	22 日 16 時 00 分	15 日頃から山体の西側での膨張を示唆する傾斜変動が認められ、山体浅部を震源とする火山性地震が 21 日から増加。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	23 日 15 時 30 分	山体の西側の膨張を示唆する傾斜変動が認められ、火山性地震が増加。山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性。
		解説情報 第 2～10 号	23 日 15 時 30 分 24 日～31 日 16 時 00 分	15 日頃から山体の西側での膨張を示唆する傾斜変動が認められ、山体浅部を震源とする火山性地震が 21 日から増加。
八甲田山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活 火山であることに留意)	解説情報 第 1 号	26 日 10 時 00 分	25 日に低周波地震が 2 回発生。2017 年 5 月以来。前後で火山性地震が一時的に増加。
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活 火山であることに留意)	解説情報 第 1～3 号	13 日 10 時 00 分 15 日、17 日 16 時 00 分	2 月頃から火山性地震が多い状態、10 日以降更に増加し、14 日以降は減少。低周波地震の頻度は 2 月頃からやや上がった状態。傾斜計では大穴火口方向上りの変化が 8 日頃からやや増加し、その後も緩やかに継続。
磐梯山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活 火山であることに留意)	解説情報 第 7 号	16 日 18 時 25 分	16 日 15 時 00 分に、山頂付近のやや浅いところでやや規模の大きな火山性地震が発生し、福島県猪苗代町で震度 1 を観測。その後に規模の小さな地震が一時的に増加したが、その後は減少。
霧島山 (新燃岳)	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活 火山であることに留意)	解説情報 第 5～6 号	27 日 10 時 30 分 28 日 16 時 10 分	1 月以降時々、火口直下で火山性地震の一時的な増加が時々みられ、22 日以降やや多い状態だが更なる活発化は認められない。GNSS で 11 月頃から霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる変化。

注 1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注 2) 浅間山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。阿蘇山の発表は 23 日 08 時で終了した。浅間山の発表は 23 日 17 時に開始した。

● 世界の主な地震

令和5年（2023年）3月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

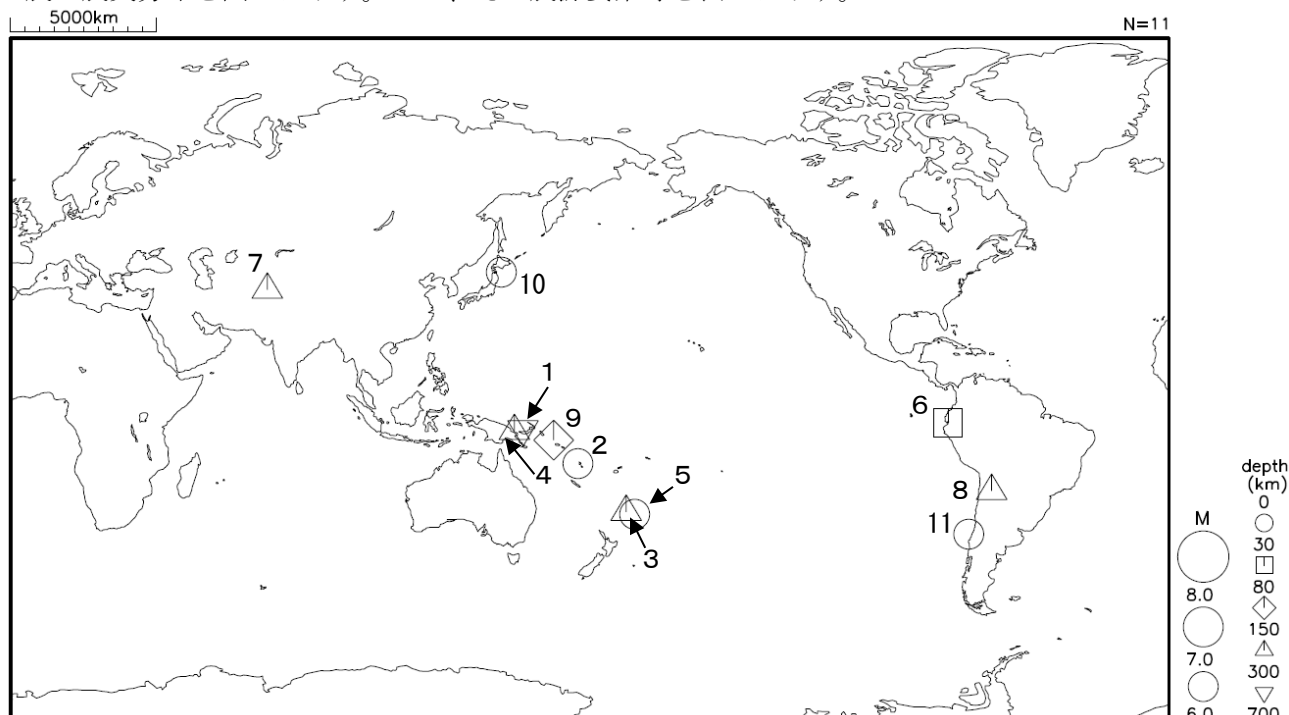


図1 令和5年（2023年）3月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和5年（2023年）3月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	03月01日14時36分	S 4° 49.5'	E149° 30.2'	601			6.6	ビスマルク海		○	
2	03月03日03時04分	S15° 21.5'	E166° 22.7'	10			6.4	バヌアツ諸島			
3	03月04日15時41分	S29° 30.1'	W178° 47.7'	210			6.9	ケルマデック諸島			
4	03月14日09時49分	S 5° 24.3'	E146° 51.2'	213			6.3	バブアニューギニア、ニューギニア東部			
5	03月16日09時56分	S30° 10.4'	W176° 11.8'	10			(6.9)	ケルマデック諸島	津波観測0.11m(ポートコープ)		○
6	03月19日02時12分	S 2° 50.2'	W 79° 50.6'	66			6.8	エクアドル沿岸	死者14人など		
7	03月22日01時47分	N36° 31.1'	E 70° 56.7'	192			6.5	アフガニスタン、ヒンドークシ	少なくとも死者16人など		
8	03月23日01時00分	S23° 28.7'	W 66° 30.6'	210			6.5	アルゼンチン、フワイ州			
9	03月28日07時19分	S 8° 12.6'	E158° 55.6'	86			6.1	フーゲンビル-ソロモン諸島			
10	03月28日18時18分	N41° 09.3'	E142° 50.5'	28		6.2	(6.2)	青森県東方沖			
11	03月31日02時33分	S35° 39.7'	W 73° 32.4'	12			6.3	チリ中部沖			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2023年4月3日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年4月7日現在)。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による (2023年4月7日現在)。

3月16日 ケルマデック諸島の地震

2023年3月16日09時56分（日本時間、以下同じ）にケルマデック諸島の深さ10kmでMw6.9の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震はインド・オーストラリアプレートに沈み込む太平洋プレート内部で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は東西方向に張力軸を持つ型である。

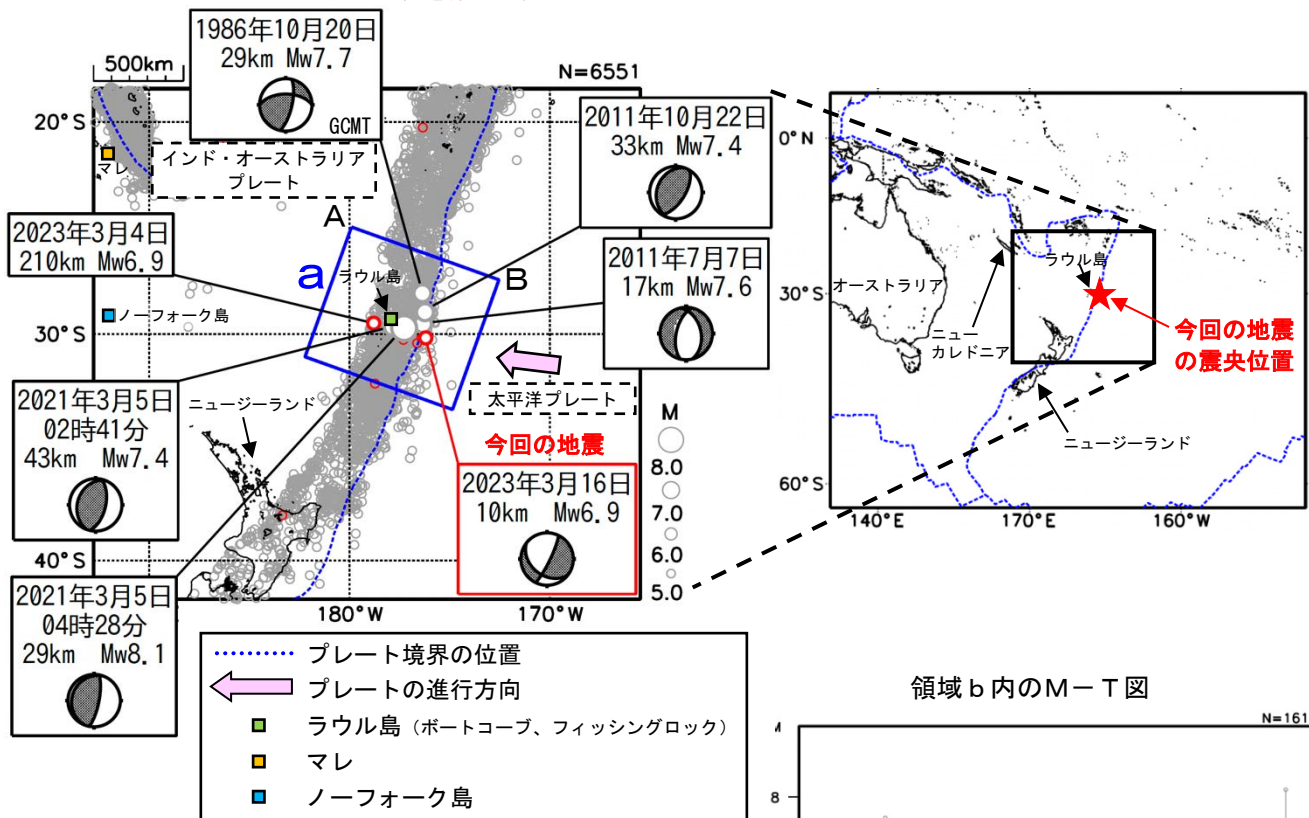
気象庁は、この地震に対して、同日10時23分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、ラウル島（ニュージーランド）のポートコーブで0.11m、フィッシングロックで0.1mの津波を観測した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2021年3月5日04時28分にはMw8.1の地震が発生し、マレ（ニューカレドニア）で1m^{*1}、ノーフォーク島（オーストラリア）で0.56mなどの津波を観測した。また、日本国内でも、岩手県の久慈港や東京都の父島二見で最大19cmの津波を観測したほか、北海道から千葉県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。また、この地震の約1時間50分前の02時41分にはMw7.4の地震が発生し、ラウル島のフィッシングロックで0.31mなどの津波を観測した。

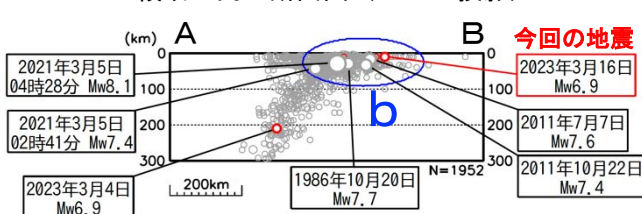
震央分布図

（1980年1月1日～2023年3月31日、深さ0～300km、M≥5.0）

2023年3月の地震を赤色で表示

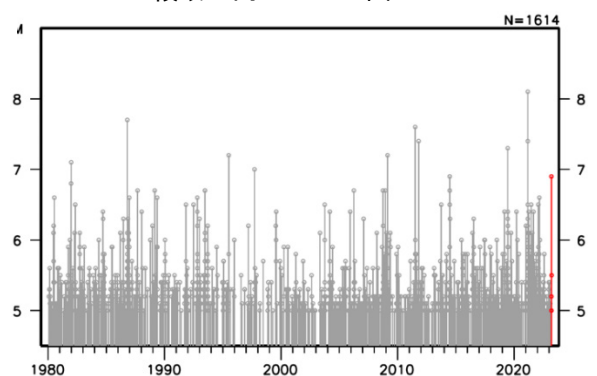


領域a内の断面図（A-B投影）



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを10kmまたは33kmに固定して、震源を決定しているためである。

領域b内のM-T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年4月4日現在）。ただし、発震機構とMwは、吹き出しのある地震のうち、「GCMT」が付いた地震及び2023年3月4日の地震はGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2023年4月7日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）^{*2}より引用。

^{*1} マレの津波の高さは目視による。

^{*2} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和5年（2023年）3月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和5年（2023年）3月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和5年3月中に震度1以上を観測した地震は112回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 48	千葉県北東部 千葉県 2 旭市南堀之内*=1.8 多古町多古=1.7 旭市高生*=1.6 旭市ニ*=1.5 芝山町小池*=1.5 匝瑳市八日市場*=1.5 香取市役所*=1.5 香取市仁良*=1.5 1 東金市日吉台*=1.4 匝瑳市今泉*=1.3 横芝光町宮川*=1.3 山武市松尾町富士見台=1.3 九十九里町片貝*=1.2 山武市蓮沼ニ*=1.2 横芝光町栗山*=1.1 一宮町一宮=1.0 旭市萩園*=1.0 山武市埴谷*=1.0 香取市羽根川*=0.9 香取市佐原平田=0.9 香取市佐原諏訪台*=0.9 東金市東新宿=0.8 東庄町笹川*=0.8 銚子市小畑新町=0.8 成田市松子*=0.8 山武市蓮沼ハ*=0.7 成田国際空港=0.7 香取市岩部*=0.7 神崎町神崎本宿*=0.6 銚子市若宮町*=0.6 富里市七栄*=0.6 成田市名古屋=0.5 長南町総合グラウンド=0.5 茨城県 1 神栖市溝口*=1.3 神栖市波崎*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 稲敷市結佐*=0.8 潮来市堀之内=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.6 茨城鹿嶋市宮中*=0.6 稲敷市須賀津*=0.6 行方市麻生*=0.5	35° 44.1' N	140° 37.3' E	49km	M: 4.1
2	2 02 21	茨城県沖 福島県 茨城県 1 玉川村小高*=0.5 1 日立市助川小学校*=1.0 水戸市千波町*=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.7 東海村東海*=0.5	35° 58.0' N	140° 48.2' E	85km	M: 3.5
3	2 08 27	茨城県沖 茨城県 1 ひたちなか市南神敷台*=1.2 水戸市千波町*=0.9 水戸市栗崎町*=0.8 日立市助川小学校*=0.7 水戸市内原町*=0.6 東海村東海*=0.6	36° 14.8' N	141° 00.7' E	40km	M: 3.5
4	2 15 14	北海道東方沖 北海道 2 根室市落石東*=1.5 1 根室市瑠璃瑠*=1.1 別海町常盤=0.7 中標津町丸山*=0.6 別海町本別海*=0.5	43° 22.4' N	147° 05.3' E	61km	M: 4.7
5	2 15 21	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町*=1.0 一関市千厩町*=0.8 大船渡市猪川町=0.6 一関市藤沢町*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.8	38° 51.4' N	142° 03.4' E	45km	M: 3.5
6	2 15 47	八丈島近海 東京都 3 八丈町三根=3.2 八丈町富士グランド*=2.9 八丈町檜立=2.7 1 青ヶ島村=1.0	33° 14.7' N	139° 26.5' E	14km	M: 5.0
7	2 15 51	和歌山県北部 和歌山県 1 紀美野町下佐々*=1.2 海南市下津*=0.8 紀の川市貴志川町神戸*=0.7 和歌山市一番丁*=0.5	34° 12.6' N	135° 16.1' E	5km	M: 2.8
8	2 17 51	八丈島近海 東京都 1 八丈町三根=1.3 八丈町檜立=1.0 八丈町富士グランド*=0.8	33° 14.8' N	139° 28.8' E	18km	M: 3.9
9	2 21 01	宮城県沖 岩手県 1 山田町大沢*=0.7 釜石市中妻町*=0.6 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.6 住田町世田米*=0.5	38° 51.1' N	142° 22.1' E	44km	M: 3.8
10	3 00 32	内浦湾 北海道 1 函館市川汲町*=0.9	41° 55.8' N	140° 58.3' E	9km	M: 1.7
11	3 11 10	福島県沖 福島県 1 田村市船引町=1.1 田村市大越町*=1.0 相馬市中村*=0.6 大熊町大川原*=0.6 田村市常葉町*=0.5	37° 42.6' N	141° 32.2' E	53km	M: 3.8
12	3 11 35	沖縄本島近海 沖縄県 1 渡名喜村渡名喜*=1.4 栗国村浜=0.5	26° 30.5' N	127° 12.9' E	21km	M: 3.2
13	3 19 18	八丈島近海 東京都 2 八丈町三根=1.8 1 八丈町富士グランド*=1.4 八丈町檜立=1.3	33° 14.3' N	139° 28.4' E	16km	M: 3.8
14	4 04 31	西表島付近 沖縄県 2 竹富町大原=1.8	24° 14.5' N	123° 49.2' E	19km	M: 3.4
15	4 08 54	千葉県北西部 千葉県 東京都 1 市川市大町*=0.9 1 調布市西つつじヶ丘*=0.5 東京江戸川区中央=0.5	35° 41.8' N	140° 08.6' E	68km	M: 3.3

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*=0.9 相模原中央区上溝*=0.5				
16	4 10 21	伊豆大島近海 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.8	34° 48.0' N	139° 16.9' E	12km	M: 2.8
17	4 10 45	伊豆大島近海 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.6	34° 47.7' N	139° 15.8' E	8km	M: 3.0
18	4 11 45	伊豆大島近海 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.4	34° 47.7' N	139° 16.8' E	11km	M: 2.4
19	4 14 20	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.8	36° 41.2' N	140° 36.3' E	10km	M: 2.8
20 (注)	4 16 51 4 16 51	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 さつま町宮之城保健センタ*=0.8 阿久根市鶴見町*=0.7 鹿児島出水市野田町*=0.6 阿久根市赤瀬川=0.6	32° 00.0' N 32° 00.0' N	130° 11.1' E 130° 11.2' E	10km 10km	M: 2.9 M: 2.6
21	5 07 54	駿河湾 静岡県 2 静岡駿河区用宗*=1.6 1 藤枝市岡出山*=0.5 牧之原市静波*=0.5	34° 53.1' N	138° 21.7' E	11km	M: 2.8
22	5 17 12	新潟県上中越沖 新潟県 1 長岡市寺泊敦ケ曽根*=0.7 上越市牧区柳島*=0.6	37° 27.4' N	137° 51.5' E	24km	M: 3.7
23	6 01 57	三宅島近海 東京都 1 三宅村阿古*=1.4 神津島村金長=1.1 新島村大原=0.9 神津島村役場*=0.9 三宅村神着=0.8 新島村式根島=0.6 新島村本村*=0.6	34° 10.2' N	139° 18.9' E	14km	M: 3.4
24	6 02 41	沖縄本島近海 沖縄県 1 西原町与那城*=1.3 嘉手納町嘉手納*=1.1 沖縄市美里*=1.1 宜野湾市野嵩*=0.9 那覇市港町*=0.7 南風原町兼城*=0.7 北中城村喜舎場*=0.6 中城村当間*=0.6 八重瀬町東風平*=0.5	26° 19.7' N	127° 44.7' E	16km	M: 3.0
25	6 16 44	天草灘 鹿児島県 1 さつま町宮之城保健センタ*=0.9	31° 59.7' N	130° 10.8' E	11km	M: 2.8
26	6 18 10	熊本県熊本地方 熊本県 1 玉名市中尾*=0.9	32° 54.6' N	130° 28.1' E	13km	M: 2.7
27	7 07 24	釧路沖 北海道 3 十勝大樹町生花*=2.9 2 釧路市黒金町*=2.4 白糠町西1条*=2.4 標茶町塘路*=2.2 釧路市音別町中園*=2.1 幕別町本町*=2.0 浦幌町桜町*=2.0 更別村更別*=1.9 釧路町別保*=1.9 釧路市幸町=1.9 新得町2条*=1.9 中札内村東2条*=1.8 鶴居村鶴居東*=1.8 釧路市阿寒町中央*=1.8 標津町北2条*=1.8 十勝池田町西1条*=1.7 釧路市音別町尺別=1.6 厚岸町尾幌=1.6 別海町西春別*=1.6 本別町北2丁目=1.5 十勝大樹町東本通*=1.5 弟子屈町弟子屈*=1.5 鹿追町東町*=1.5 幕別町忠類錦町*=1.5 根室市厚床*=1.5 1 清里町羽衣町*=1.4 足寄町南1条*=1.4 音更町元町*=1.4 十勝清水町南4条=1.4 豊頃町茂岩本町*=1.4 本別町向陽町*=1.4 広尾町並木通=1.4 根室市落石東*=1.4 帯広市東6条*=1.3 えりも町目黒*=1.3 帯広市東4条=1.3 幕別町忠類明和=1.3 広尾町白樺通=1.2 浜中町湯沸=1.2 芽室町東2条*=1.2 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=1.1 足寄町上螺湾=1.1 浜中町茶内*=1.1 標茶町川上*=1.1 標津町古多糠=1.1 別海町本別海*=1.1 弟子屈町美里=1.1 南富良野町役場*=1.0 様似町栄町*=1.0 中標津町丸山*=1.0 浦河町潮見=0.9 別海町常盤=0.9 美幌町東3条=0.9 北見市留辺蘂町栄町*=0.9 根室市瑠璃瑠*=0.9 安平町早来北進*=0.8 新ひだか町静内山手町=0.8 札幌東区元町*=0.8 湧別町栄町*=0.8 斜里町本町=0.7 弟子屈町サワチサップ*=0.7 根室市牧の内*=0.7 浦河町築地*=0.7 上士幌町清水谷*=0.7 函館市泊町*=0.6 中標津町養老牛=0.6 浦河町野深=0.6 むかわ町穂別*=0.6 羅臼町緑町*=0.6 千歳市支笏湖温泉*=0.5 士幌町士幌*=0.5 遠軽町丸瀬布金湧山=0.5 南富良野町幾寅=0.5 厚真町鹿沼=0.5 えりも町えりも岬*=0.5 青森県 1 東通村砂子又沢内*=0.5	42° 20.7' N 144° 35.5' E	20km	M: 5.0	
28	7 20 37	徳島県南部 徳島県 1 那賀町木頭和無田*=0.8	33° 47.5' N	134° 08.4' E	8km	M: 2.3
29	7 21 02	渡島地方東部 北海道 1 函館市川汲町*=0.6	41° 53.4' N	140° 58.8' E	9km	M: 2.1
30	7 21 13	愛知県東部 長野県 2 根羽村役場*=1.5 1 売木村役場*=1.3 岐阜県 2 恵那市上矢作町*=1.5 1 恵那市山岡町*=0.6	35° 04.1' N	137° 43.2' E	16km	M: 3.4

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模			
31	8 22 48	静岡県	2	浜松天竜区春野町*=1.5					
		1	浜松天竜区龍山町*=1.0 掛川市長谷*=0.8						
		愛知県	2	新城市乗本=1.7 新城市長篠*=1.5					
		1	豊根村下黒川 (旧) *=1.0 新城市東入船*=0.9 新城市作手高里松風呂*=0.8 新城市作手清岳=0.8 豊根村富山 (旧) *=0.7 東栄町本郷 (旧) *=0.6						
31	8 22 48	茨城県南部		36° 09.4' N	140° 04.2' E	66km	M: 3.6		
		栃木県	2	宇都宮市明保野町=1.5 壬生町壬生甲*=1.5					
		1	栃木市旭町=1.1 下野市笹原*=1.1 小山市神鳥谷*=1.0 鹿沼市晃望台*=0.8 宇都宮市旭*=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 真岡市田町*=0.7 栃木市西方町本城*=0.7 益子町益子=0.6 栃木市岩舟町静*=0.6 茂木町茂木*=0.5 佐野市中町*=0.5 佐野市葛生東*=0.5 栃木市大平町富田*=0.5 真岡市荒町*=0.5						
		茨城県	1	水戸市内原町*=1.4 坂東市馬立*=1.4 坂東市役所 (旧2) *=1.4 城里町小勝*=1.3 石岡市柿岡=1.3 土浦市常名=1.1 筑西市舟生=1.1 石岡市石岡*=0.9 筑西市海老ヶ島*=0.9 取手市寺田*=0.9 かすみがうら市上土田 (旧) =0.8 笠間市下郷*=0.7 つくば市研究学園*=0.7 阿見町中央 (旧) *=0.7 つくばみらい市福田 (旧2) =0.7 石岡市若宮*=0.7 土浦市田中*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.7 かすみがうら市大和田*=0.6 笠間市中央*=0.6 石岡市八郷*=0.6 坂東市岩井=0.5 つくば市天王台*=0.5 笠間市石井*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5					
		群馬県	1	板倉町板倉=0.9					
		埼玉県	1	春日部市粕壁*=1.0 加須市騎西*=0.9 久喜市下早見=0.6 春日部市金崎*=0.5 宮代町笠原*=0.5					
		千葉県	1	栄町安食台*=0.9 野田市鶴奉*=0.8					
		32	9 01 55	秋田県内陸北部		39° 58.6' N	140° 25.5' E	6km	M: 2.4
				秋田県	1	北秋田市阿仁水無*=0.5			
				33	9 08 15	伊予灘		33° 20.7' N	131° 33.3' E
愛媛県	1					宇和島市丸穂*=0.8			
高知県	1	宿毛市桜町*=0.5							
34	9 17 17	紀伊水道				33° 47.4' N	135° 08.2' E	46km	M: 3.3
		和歌山県	1	白浜町日置*=0.7 白浜町消防本部=0.5 御坊市湯川*=0.5					
35	9 23 14	千葉県南東沖		34° 40.2' N	141° 07.3' E	38km	M: 4.4		
		静岡県	1	東伊豆町奈良本*=0.5					
36	10 13 57	胆振地方中東部		42° 53.2' N	141° 50.8' E	8km	M: 2.6		
		北海道	2	安平町追分柏が丘*=1.8					
37	10 18 42	千葉県南部		35° 09.7' N	140° 09.3' E	13km	M: 3.1		
		千葉県	1	君津市久留里市場*=1.3 鴨川市横渚*=1.2 大多喜町大多喜*=1.2 鴨川市八色=1.1 長南町総合グラウンド=1.1 勝浦市墨名=0.7 鴨川市天津*=0.5					
38	11 05 12	日高地方東部		42° 11.9' N	142° 57.5' E	49km	M: 4.8		
		北海道	4	浦河町潮見=3.6					
		3	浦河町築地*=3.1 浦河町野深=2.7						
		2	新ひだか町静内山手町=2.4 新ひだか町三石旭町*=2.4 芽室町東2条*=2.4 幕別町忠類錦町*=2.3 函館市泊町*=2.2 様似町栄町*=2.0 函館市新浜町*=2.0 新冠町北星町*=2.0 浦幌町桜町*=1.8 十勝大樹町東本通*=1.8 むかわ町穂別*=1.8 広尾町白樺通=1.7 鹿追町東町*=1.6 安平町早来北進*=1.6 平取町振内*=1.6 むかわ町松風*=1.6 新ひだか町静内御園=1.5 千歳市若草*=1.5 十勝大樹町生花*=1.5 広尾町並木通=1.5						
		1	千歳市支笏湖温泉*=1.4 厚真町鹿沼=1.4 新得町2条*=1.4 十勝清水町南4条=1.4 十勝池田町西1条*=1.4 更別村更別*=1.4 新ひだか町静内農屋*=1.3 室蘭市寿町*=1.3 函館市川汲町*=1.3 厚真町京町*=1.3 豊頃町茂岩本町*=1.3 安平町追分柏が丘*=1.3 日高地方日高町門別*=1.3 えりも町目黒*=1.2 札幌白石区北郷*=1.1 三笠市幸町*=1.1 平取町本町*=1.1 本別町北2丁目=1.1 中札内村東2条*=1.1 新千歳空港=1.1 札幌東区元町*=1.1 恵庭市京町*=1.1 帯広市東6条*=1.1 帯広市東4条=1.0 美唄市西5条=1.0 本別町向陽町*=1.0 音更町元町*=1.0 千歳市北栄=1.0 幕別町本町*=1.0 胆振伊達市大滝区本町*=1.0 札幌北区太平*=0.9 小樽市勝納町=0.9 江別市緑町*=0.9 登別市桜木町*=0.9 札幌清田区平岡*=0.8 えりも町えりも岬*=0.8 釧路市音別町尺別=0.8 日高地方日高町日高*=0.8 北広島市共栄*=0.8 札幌厚別区もみじ台*=0.8 鹿部町宮浜*=0.8 札幌北区篠路*=0.7 足寄町南1条*=0.7 函館市尾札部町=0.7 白老町大町=0.7 南富良野町役場*=0.6 江別市高砂町=0.6 月形町円山公園*=0.6 上士幌町清水谷*=0.6 士幌町士幌*=0.6 苫小牧市末広町=0.6 美唄市西3条*=0.5 占冠村中央*=0.5 胆振伊達市梅本=0.5 岩見沢市5条=0.5 七飯町本町*=0.5 幕別町忠類明和=0.5						
		青森県	2	東通村砂子又沢内*=2.0 むつ市大畑町中島*=1.8 階上町道仏 (旧2) *=1.6					
		1	八戸市南郷*=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.3 七戸町森ノ上*=1.2 八戸市湊町=1.1 三沢市桜町 (旧) *=1.1 野辺地町野辺地*=1.1 五戸町古館=1.1 青森南部町苦米地*=1.1 東北町上北南*=1.0 青森南部町平*=1.0 むつ市金曲=1.0 むつ市金谷*=1.0 八戸市内丸*=1.0 五戸町倉石中市*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 おいらせ町中下田*=0.8 むつ市川内町*=0.8 六ヶ所村尾駈=0.7 三戸町在府小路町*=0.7 風間浦村易国間*=0.7 七戸町七戸 (旧) *=0.7 横浜町林ノ脇*=0.7 大間町大間*=0.6 六戸町大落瀬*=0.6 横浜町寺下*=0.6 佐井村長後*=0.5 十和田市西二番町*=0.5 十和田市西十二番町*=0.5 おいらせ町上明堂*=0.5						
		岩手県	1	二戸市浄法寺町*=1.1 軽米町軽米*=1.1 盛岡市薮川*=0.9 久慈市枝成沢=0.7 岩手洋野町種子=0.5					

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
39	11 05 13	千葉県北西部 東京都	35° 44.0' N	139° 58.5' E	63km	M: 4.3
		3 東京中央区勝どき*=2.6 2 東京渋谷区本町*=2.4 東京江戸川区中央=2.4 東京千代田区大手町=2.3 東京練馬区豊玉北*=2.2 東京江戸川区船堀*=2.2 東京葛飾区立石*=2.1 東京港区海岸=2.0 東京文京区本郷*=2.0 東京品川区平塚*=2.0 東京国際空港=2.0 東京江戸川区鹿骨*=2.0 小平市小川町*=1.9 東京千代田区富士見*=1.9 東京新宿区百人町*=1.9 東京品川区北品川*=1.8 東京世田谷区三軒茶屋*=1.8 東京中野区中野*=1.7 東京新宿区上落合*=1.7 東京足立区神明南*=1.7 東京葛飾区金町*=1.7 東京墨田区東向島*=1.7 東京江東区青海=1.7 調布市西つつじヶ丘*=1.7 東京江東区越中島*=1.7 東京江東区亀戸*=1.7 東京世田谷区成城*=1.7 東京渋谷区宇田川町*=1.7 東京品川区広町*=1.6 東京文京区スポーツセンタ*=1.6 町田市森野*=1.6 東京江東区枝川*=1.6 東京荒川区東尾久*=1.6 東京台東区千束*=1.5 小金井市本町*=1.5 東京千代田区麹町*=1.5 東京北区西ヶ原*=1.5 東京板橋区相生町*=1.5 1 東京文京区大塚*=1.4 東京墨田区吾妻橋*=1.4 東京大田区本羽田*=1.4 東京杉並区高井戸*=1.4 東京足立区伊興*=1.4 八王子市堀之内*=1.4 西東京市中町*=1.4 東京港区白金*=1.3 東京江東区東陽*=1.3 東京江東区森下*=1.3 東京目黒区中央町*=1.3 東京世田谷区中町*=1.3 東京杉並区桃井*=1.3 東京板橋区高島平*=1.3 東京練馬区光が丘*=1.3 東京港区南青山*=1.2 東京台東区東上野*=1.2 東京墨田区横川=1.2 東京大田区多摩川*=1.2 東京北区赤羽南*=1.2 東京荒川区荒川*=1.2 東京練馬区東大泉*=1.2 国分寺市戸倉=1.2 狛江市和泉本町*=1.2 東京中央区築地*=1.1 東京港区芝公園*=1.1 武蔵野市吉祥寺東町*=1.1 東大和市中央*=1.1 東京世田谷区世田谷*=1.0 東京中野区江古田*=1.0 東京豊島区南池袋*=1.0 町田市忠生*=1.0 稲城市東長沼*=1.0 東京中央区日本橋兜町*=1.0 東京新宿区西新宿=1.0 東京大田区大森東*=1.0 東京杉並区阿佐谷=0.9 三鷹市野崎*=0.9 東京府中市朝日町*=0.9 日野市神明*=0.9 東村山市本町*=0.9 清瀬市中清戸*=0.8 多摩市関戸*=0.8 東京足立区中央本町*=0.8 東京新宿区歌舞伎町*=0.8 調布市小島町*=0.8 東京大田区蒲田*=0.8 東京板橋区板橋*=0.7 武蔵野市緑町*=0.6 東京府中市寿町*=0.5 茨城県 2 坂東市馬立*=1.9 取手市寺田*=1.8 取手市井野*=1.8 城里町小勝*=1.8 笠間市石井*=1.7 つくば市小荊*=1.7 坂東市岩井=1.7 水戸市内原町*=1.6 土浦市常名=1.6 石岡市柿岡=1.6 笠間市笠間*=1.5 城里町石塚*=1.5 つくばみらい市福田 (旧2)=1.5 1 龍ヶ崎市役所*=1.4 牛久市中央 (旧) *=1.4 稲敷市江戸崎甲*=1.4 常総市水海道諏訪町*=1.4 筑西市門井*=1.3 笠間市下郷*=1.3 石岡市石岡*=1.2 かすみがうら市大和田*=1.2 笠間市中央*=1.2 取手市藤代*=1.2 水戸市千波町*=1.2 つくば市研究学園*=1.2 坂東市役所 (旧2) *=1.2 石岡市若宮*=1.2 稲敷市伊佐津*=1.2 河内町源清田*=1.1 常総市新石下*=1.1 坂東市山 (旧) *=1.1 つくばみらい市加藤*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 小美玉市小川 (旧) *=1.1 小美玉市堅倉 (旧) *=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 かすみがうら市上土田 (旧) =1.1 下妻市鬼怒 (旧) *=1.0 石岡市八郷*=1.0 下妻市本城町*=1.0 筑西市舟生=1.0 守谷市大柏 (旧) *=1.0 筑西市海老ヶ島*=1.0 利根町布川=1.0 つくば市天王台*=1.0 桜川市羽田 (旧) *=1.0 茨城古河市仁連*=0.9 行方市玉造*=0.9 稲敷市役所*=0.9 境町旭町*=0.9 土浦市田中*=0.9 茨城古河市下大野 (旧) *=0.9 美浦村受領*=0.9 阿見町中央 (旧) *=0.9 稲敷市結佐*=0.8 鉾田市汲上 (旧) *=0.8 小美玉市上玉里 (旧) *=0.8 八千代町菅谷*=0.8 五霞町小福田*=0.8 結城市中央町*=0.8 水戸市栗崎町*=0.8 大子町池田*=0.7 鉾田市造谷 (旧) *=0.7 城里町阿波山*=0.7 東海村東海*=0.6 鉾田市鉾田=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 行方市麻生*=0.6 水戸市金町=0.5 高萩市安良川*=0.5 茨城鹿嶋市宮中*=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 日立市助川小学校*=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.8 下野市笹原*=1.7 佐野市高砂町*=1.5 壬生町壬生甲*=1.5 1 栃木市旭町=1.4 栃木市岩舟町静*=1.4 鹿沼市晃望台*=1.3 下野市田中*=1.3 足利市大正町*=1.3 宇都宮市中里町*=1.2 益子町益子=1.2 市貝町市塙*=1.2 茂木町茂木*=1.1 芳賀町祖母井*=1.1 日光市鬼怒川温泉大原*=1.1 真岡市荒町*=1.1 真岡市田町*=1.0 野木町丸林*=1.0 栃木市藤岡町藤岡*=1.0 佐野市葛生東*=1.0 佐野市田沼町*=1.0 栃木市西方町本城*=0.9 日光市足尾町中才*=0.9 鹿沼市口栗野*=0.8 小山市神鳥谷*=0.8 下野市大松山*=0.7 佐野市中町*=0.7 栃木市大平町富田*=0.7 日光市芹沼*=0.7 宇都宮市旭*=0.7 日光市藤原庁舎*=0.6 日光市黒部*=0.6 日光市湯元*=0.6 栃木那珂川町小川*=0.6 塩谷町玉生*=0.5 群馬県 2 渋川市赤城町*=1.5 1 邑楽町中野*=1.4 板倉町板倉=1.3 大泉町日の出*=1.2 桐生市元宿町*=1.2 伊勢崎市西久保町*=1.2 太田市西本町*=1.2 渋川市吹屋*=1.2 桐生市黒保根町*=1.1 沼田市西倉内町=1.0 桐生市新里町*=1.0 千代田町赤岩*=1.0 桐生市美原町=0.9 太田市浜町*=0.8 群馬明和町新里*=0.8 前橋市粕川町*=0.8 みどり市大間々町*=0.8 沼田市下久屋町*=0.7 沼田市白沢町*=0.7 伊勢崎市東町*=0.7 前橋市富士見町*=0.6 みどり市東町*=0.6 前橋市鼻毛石町*=0.5 埼玉県 2 宮代町笠原*=1.6 さいたま浦和区高砂=1.5 久喜市下早見=1.5 川口市安行領家*=1.5 春日部市金崎*=1.5 三郷市中央*=1.5 吉川市きよみ野*=1.5 さいたま大宮区大門*=1.5 1 久喜市青葉*=1.4 川口市中青木分室*=1.4 春日部市粕壁*=1.4 草加市中央*=1.4 八潮市中央*=1.4 幸手市東*=1.4 さいたま緑区中尾*=1.4 本庄市児玉町=1.3 川口市三ツ和*=1.3 蕨市中央*=1.3 和光市広沢*=1.3 さいたま大宮区天沼町*=1.3 加須市大和根*=1.3 熊谷市江南*=1.2 加須市騎西*=1.2 久喜市鷲宮*=1.2 新座市野火止*=1.2 さいたま北区宮原*=1.2 さいたま南区別所*=1.2 さいたま西区指扇*=1.1 さいたま見沼区堀崎*=1.1 東松山市松葉町*=1.1 春日部市谷原新田*=1.1 越谷市越ヶ谷*=1.1 戸田市上戸田*=1.1 朝霞市本町*=1.1 志木市中宗岡*=1.0 桶川市泉*=1.0 加須市北川辺*=1.0 埼玉三芳町藤久保*=1.0 さいたま桜区道場*=1.0 久喜市菖蒲*=1.0 久喜市栗橋*=1.0 狭山市入間川*=1.0 上尾市本町*=1.0 鴻巣市中央*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 白岡市千駄野*=0.9 所沢市北有楽町*=0.9 富士見市鶴馬*=0.9 さいたま浦和区常盤*=0.8 入間市豊岡*=0.8 埼玉美里町木部*=0.8 伊奈町中央*=0.8 熊谷市大里*=0.8 川島町下八ツ林*=0.8 北本市本町*=0.7 蓮田市黒浜*=0.7 加須市三俣*=0.7 熊谷市妻沼*=0.6 滑川町福田*=0.6 吉見町下細谷*=0.6 東松山市市ノ川*=0.6				

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		松伏町松伏※=0.6 鴻巣市川里※=0.6 鴻巣市吹上富士見※=0.6 ふじみ野市福岡※=0.5 羽生市東※=0.5 川越市旭町=0.5 千葉県 2 千葉稲毛区園生町※=2.4 市川市大町※=2.4 千葉花見川区花島町※=2.3 八千代市大和田新田※=2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=2.2 船橋市湊町※=2.1 習志野市鷺沼※=2.1 白井市復※=2.1 柏市旭町=2.1 千葉美浜区ひび野=2.0 柏市柏※=2.0 千葉中央区中央港=2.0 千葉若葉区小倉台※=2.0 野田市鶴泰※=2.0 千葉緑区おゆみ野※=2.0 市川市本行徳※=1.9 東金市日吉台※=1.8 四街道市鹿渡※=1.8 松戸市西馬橋※=1.7 浦安市猫実※=1.7 千葉美浜区稲毛海岸※=1.7 市原市姉崎※=1.6 成田市中台※=1.6 長南町総合グラウンド=1.5 山武市埴谷※=1.5 柏市大島田※=1.5 浦安市日の出=1.5 木更津市富士見※=1.5 1 市川市八幡※=1.4 千葉佐倉市海隣寺町※=1.4 流山市平和台※=1.4 我孫子市我孫子※=1.4 印西市大森※=1.4 栄町安食台※=1.4 松戸市根本※=1.3 東金市東新宿=1.3 芝山町小池※=1.3 山武市蓮沼ニ※=1.2 野田市東宝珠花※=1.2 成田市名古屋=1.2 印西市笠神※=1.2 旭市南堀之内※=1.2 九十九里町片貝※=1.2 南房総市白浜町白浜※=1.1 東金市東岩崎※=1.1 一宮町一宮=1.1 香取市仁良※=1.1 横芝光町栗山※=1.1 山武市松尾町富士見台=1.1 山武市蓮沼ハ※=1.1 大網白里市大網※=1.1 成田国際空港=1.1 八街市八街※=1.1 印西市美瀬※=1.1 富里市七栄※=1.1 木更津市太田=1.1 君津市久留里市場※=1.1 茂原市道表※=1.0 富津市下飯野※=1.0 香取市佐原諏訪台※=1.0 香取市役所※=1.0 酒々井町中央台※=0.9 山武市殿台※=0.9 成田市役所※=0.9 成田市松子※=0.9 多古町多古=0.9 袖ヶ浦市坂戸市場※=0.8 香取市佐原平田=0.8 成田市猿山※=0.7 神崎町神崎本宿※=0.7 香取市岩部※=0.6 神奈川県 2 横浜鶴見区末広町※=2.1 横浜神奈川区神大寺※=2.0 横浜神奈川区広台太田町※=2.0 横浜中区山手町=2.0 横浜港北区日吉本町※=1.9 川崎川崎区千鳥町※=1.8 川崎中原区小杉町※=1.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.7 横浜港南区野庭町※=1.7 横浜緑区十日市場町※=1.7 横浜青葉区榎が丘※=1.7 川崎川崎区宮前町※=1.7 横浜中区山吹町※=1.6 横浜中区山下町※=1.5 横浜保土ヶ谷区神戸町※=1.5 横浜瀬谷区三ツ境※=1.5 横浜都筑区池辺町※=1.5 1 横浜鶴見区馬場※=1.4 厚木市中町※=1.3 相模原中央区上溝※=1.3 横浜西区みなとみらい※=1.2 横浜中区日本大通※=1.2 横浜金沢区白帆※=1.2 川崎中原区小杉陣屋町=1.2 三浦市城山町※=1.2 大和市下鶴間※=1.2 座間市相武台※=1.2 横浜戸塚区鳥が丘※=1.1 横浜旭区大池町※=1.1 横浜瀬谷区中屋敷※=1.1 横浜都筑区茅ヶ崎※=1.1 川崎高津区下作延※=1.1 藤沢市辻堂西海岸※=1.1 横浜港北区大倉山※=1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.0 綾瀬市深谷中※=1.0 愛川町角田※=1.0 清川村煤ヶ谷※=1.0 相模原南区磯部※=1.0 横浜金沢区釜利谷南※=0.9 川崎川崎区中島※=0.9 横浜港北区綱島西※=0.8 横浜港南区丸山台北部※=0.8 川崎幸区戸手本町※=0.8 横須賀市光の丘=0.8 横須賀市坂本町※=0.8 平塚市浅間町※=0.8 相模原中央区水郷田名※=0.8 箱根町湯本※=0.7 横浜青葉区美しが丘※=0.7 相模原緑区中野※=0.7 湯河原町中央=0.6 藤沢市朝日町※=0.5 福島県 1 白河市新白河※=0.8 長野県 1 小海町豊里※=0.5 静岡県 1 熱海市網代=0.8 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 熱海市泉※=0.6 東伊豆町奈良本※=0.6				
40	12 08 39	沖縄本島北西沖 26° 47.2' N 126° 54.8' E 91km M: 4.3 沖縄県 2 渡名喜村渡名喜※=1.6 1 久米島町比嘉※=1.1 久米島町謝名堂=1.0 座間味村座間味※=0.8 恩納村恩納※=0.6 久米島町山城=0.6 国頭村辺土名※=0.5				
41	12 10 06	根室地方中部 43° 29.7' N 145° 06.4' E 130km M: 3.8 北海道 1 根室市厚床※=1.4 別海町常盤=0.9 浜中町茶内※=0.7 標茶町塘路※=0.6				
42	12 10 38	青森県東方沖 41° 29.5' N 142° 00.9' E 57km M: 3.4 青森県 1 東通村砂子又沢内※=0.8				
43	12 20 21	神奈川県西部 35° 18.3' N 139° 09.4' E 12km M: 2.9 神奈川県 2 神奈川大井町金子※=1.6 1 大磯町月京※=1.3 中井町比奈窪※=1.2 南足柄市関本※=1.1 山北町山北※=1.0 箱根町湯本※=0.7 松田町松田惣領※=0.6 秦野市曽屋=0.5 秦野市平沢※=0.5 厚木市中町※=0.5 開成町延沢※=0.5 小田原市久野=0.5 静岡県 1 熱海市泉※=0.5				
44	12 22 42	茨城県北部 36° 46.6' N 140° 34.0' E 9km M: 3.5 福島県 1 矢祭町戸塚※=0.7 茨城県 1 大子町池田※=1.3 日立市助川小学校※=1.0 笠間市石井※=0.9 高萩市安良川※=0.8 常陸大宮市北町※=0.7 城里町小勝※=0.7 常陸太田市町田町※=0.6 笠間市中央※=0.6 城里町石塚※=0.6 笠間市笠間※=0.6 土浦市常名=0.6 常陸太田市高柿町※=0.5 城里町阿波山※=0.5				
45	12 22 43	茨城県北部 36° 46.7' N 140° 33.9' E 8km M: 3.3 茨城県 1 北茨城市中郷町※=0.7 高萩市安良川※=0.6				
46	12 23 22	青森県三八上北地方 40° 20.5' N 141° 14.1' E 8km M: 1.4 青森県 1 三戸町在府小路町※=0.5				
47	13 05 25	岩手県沖 39° 34.0' N 142° 17.4' E 86km M: 3.8 岩手県 1 釜石市中妻町※=0.8 釜石市只越町=0.6 宮古市田老※=0.6 住田町世田米※=0.5				
48	13 19 03	長野県南部 35° 54.2' N 137° 36.9' E 9km M: 2.4 岐阜県 1 高山市高根町※=0.5				

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
49	14 03 42	福井県嶺北 福井県 2 永平寺町山王※=1.7 1 あわら市市姫※=0.8 福井坂井市坂井町下新庄※=0.7 福井市原目町※=0.5	36° 06.5' N	136° 22.5' E	8km	M: 3.0
50	14 04 03	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.5 珠洲市大谷町※=0.5	37° 30.6' N	137° 12.8' E	11km	M: 3.0
51	14 04 29	茨城県北部 福島県 2 矢祭町東館※=1.9 矢祭町戸塚※=1.8 1 棚倉町棚倉中居野=1.3 白河市表郷※=1.2 白河市新白河※=1.0 白河市東※=1.0 白河市郭内=1.0 二本松市油井※=0.9 浅川町浅川※=0.8 鏡石町不時沼※=0.8 玉川村小高※=0.8 塙町塙※=0.7 石川町長久保※=0.6 須賀川市八幡山※=0.6 泉崎村泉崎※=0.6 いわき市錦町※=0.6 須賀川市岩瀬支所※=0.6 郡山市湖南町※=0.6 棚倉町棚倉館ヶ丘※=0.5 田村市船引町=0.5 天栄村下松本※=0.5 茨城県 2 大子町池田※=2.3 日立市助川小学校※=1.9 日立市十王町友部（旧）※=1.8 ひたちなか市南神敷台※=1.6 城里町小勝※=1.6 土浦市常名=1.6 東海村東海※=1.6 笠間市石井※=1.5 常陸大宮市高部※=1.5 笠間市笠間※=1.5 水戸市栗崎町※=1.5 高萩市安良川※=1.5 1 水戸市千波町※=1.4 日立市役所※=1.4 常陸太田市町屋町=1.4 常陸太田市町田町※=1.4 ひたちなか市東石川※=1.4 常陸太田市高柿町※=1.3 北茨城市中郷町※=1.3 坂東市馬立※=1.3 常総市水海道諏訪町※=1.3 常陸太田市金井町（旧2）※=1.3 高萩市本町※=1.2 常陸大宮市北町※=1.2 筑西市門井※=1.2 北茨城市磯原町※=1.1 坂東市山（旧）※=1.1 水戸市金町=1.1 鉾田市汲上（旧）※=1.1 城里町石塚※=1.1 取手市寺田※=1.1 つくば市研究学園※=1.1 つくば市小茎※=1.1 五霞町小福田※=1.1 那珂市福田※=1.0 石岡市柿岡=1.0 笠間市中央※=1.0 小美玉市堅倉（旧）※=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 土浦市田中※=0.9 水戸市内原町※=0.9 那珂市瓜連※=0.9 筑西市舟生=0.9 つくば市天王台※=0.9 桜川市羽田（旧）※=0.9 城里町阿波山※=0.8 小美玉市小川（旧）※=0.8 かすみがうら市上土田（旧）=0.8 かすみがうら市大和田※=0.8 常総市新石下※=0.8 茨城鹿嶋市宮中※=0.8 石岡市若宮※=0.8 石岡市八郷※=0.8 下妻市本城町※=0.7 大洗町磯浜町（旧）※=0.7 稲敷市江戸崎甲※=0.7 石岡市石岡※=0.7 境町旭町※=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.6 坂東市岩井=0.5 下妻市鬼怒（旧）※=0.5 鉾田市鉾田=0.5 牛久市中央（旧）※=0.5 美浦村受領※=0.5 つくばみらい市加藤※=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.8 1 芳賀町祖母井※=1.4 栃木那珂川町馬頭※=1.3 栃木那珂川町小川※=1.3 宇都宮市中里町※=1.2 壬生町壬生甲※=1.0 日光市瀬川=0.9 栃木市旭町=0.9 鹿沼市晃望台※=0.9 真岡市田町※=0.8 市貝町市塙※=0.8 下野市田中※=0.7 下野市笹原※=0.7 栃木市万町※=0.7 茂木町茂木※=0.7 大田原市黒羽田町=0.7 下野市大松山※=0.6 鹿沼市今宮町※=0.6 那須町寺子※=0.6 宇都宮市旭※=0.6 栃木さくら市喜連川※=0.6 那須烏山市神長=0.6 那須烏山市大金※=0.6 那須烏山市役所※=0.6 栃木市岩舟町静※=0.5 日光市鬼怒川温泉大原※=0.5 日光市芹沼※=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町※=1.0 前橋市富士見町※=0.8 桐生市黒保根町※=0.6 渋川市吹屋※=0.6 千代田町赤岩※=0.6 伊勢崎市西久保町※=0.5 桐生市元宿町※=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原※=1.0 春日部市金崎※=0.8 久喜市下早見=0.7 春日部市粕壁※=0.7 幸手市東※=0.5 さいたま北区宮原※=0.5 さいたま大宮区大門※=0.5 千葉県 1 野田市東宝珠花※=1.1 香取市仁良※=0.9 野田市鶴奉※=0.9 山武市埴谷※=0.7 柏市旭町=0.7	36° 46.3' N	140° 33.4' E	7km	M: 4.2
52	14 05 35	岩手県沿岸北部 岩手県 2 遠野市青笹町※=2.1 八幡平市田頭※=2.0 山田町大沢※=1.8 宮古市川井※=1.8 宮古市田老※=1.8 一関市千厩町※=1.5 一関市室根町※=1.5 野田村野田※=1.5 大船渡市大船渡町=1.5 1 宮古市五月町※=1.4 久慈市枝成沢=1.4 宮古市茂市※=1.3 一関市大東町=1.3 山田町八幡町=1.2 普代村銅屋※=1.2 二戸市浄法寺町※=1.2 一関市藤沢町※=1.2 釜石市中妻町※=1.1 住田町世田米※=1.1 盛岡市洪民※=1.1 宮古市楸ヶ崎=1.1 葛巻町葛巻元木=1.1 一戸町高善寺※=1.1 軽米町軽米※=1.1 岩泉町岩泉※=1.1 盛岡市馬場町※=1.0 八幡平市野駄※=1.0 宮古市区界※=1.0 岩手町五日市※=0.9 八幡平市叭田※=0.9 盛岡市薮川※=0.9 矢巾町南矢幅※=0.9 北上市相去町※=0.9 岩手洋野町種市=0.9 岩手洋野町大野※=0.9 岩泉町大川※=0.8 花巻市大迫町=0.8 八幡平市大更=0.8 大船渡市猪川町=0.8 陸前高田市高田町※=0.8 釜石市只越町=0.8 花巻市東和町※=0.7 久慈市川崎町=0.7 九戸村伊保内※=0.7 花巻市石鳥谷町※=0.7 花巻市大迫総合支所※=0.7 葛巻町消防分署※=0.6 大槌町小鍬※=0.6 盛岡市山王町=0.6 田野畑村田野畑=0.6 田野畑村役場※=0.6 宮古市長沢=0.6 一関市東山町※=0.6 二戸市福岡=0.6 宮城県 2 気仙沼市笹が陣※=1.7 気仙沼市唐桑町※=1.6 1 気仙沼市赤岩=1.1 栗原市栗駒=0.6 青森県 1 八戸市南郷※=1.2 青森南部町苔米地※=1.1 五戸町古館=0.9 八戸市内丸※=0.9 階上町道仏（旧2）※=0.9 三沢市桜町（旧）※=0.6 八戸市湊町=0.6 秋田県 1 鹿角市花輪※=0.5	39° 49.2' N	141° 43.3' E	70km	M: 4.0
53	14 13 05	父島近海 東京都 2 小笠原村母島=1.5	26° 36.3' N	142° 33.0' E	3km	M: 4.4
54	14 13 36	宮城県沖 宮城県 1 岩沼市桜※=1.1 宮城川崎町前川※=1.0 名取市増田※=0.9 山元町浅生原※=0.9 仙台空港=0.8 角田市角田※=0.7 利府町利府※=0.6 福島県 1 福島伊達市霊山町※=0.9 田村市船引町=0.6 新地町谷地小屋※=0.6 南相馬市原町区高見町※=0.6 南相馬市鹿島区西町※=0.6	37° 52.3' N	141° 45.5' E	58km	M: 4.0

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
55	14 20 23	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 41.1' N	140° 49.9' E	27km	M: 3.0
56	14 23 43	与那国島近海 沖縄県	24° 20.5' N	122° 58.4' E	48km	M: 3.5
57	15 03 28	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 41.2' N	140° 50.1' E	27km	M: 3.3
58	15 04 09	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 41.2' N	140° 49.9' E	27km	M: 2.9
59	15 06 05	茨城県南部 茨城県	36° 05.2' N	139° 55.6' E	46km	M: 4.1
		茨城県				3 坂東市馬立*=2.7 笠間市石井*=2.7 笠間市笠間*=2.5 石岡市柿岡*=2.5 2 城里町小勝*=2.4 下妻市本城町*=2.4 筑西市海老ヶ島*=2.4 筑西市門井*=2.3 水戸市内原町*=2.3 筑西市舟生=2.3 土浦市常名=2.2 五霞町小福田*=2.1 坂東市山 (旧) *=2.1 茨城古河市下大野 (旧) *=2.1 笠間市中央*=2.1 取手市寺田*=2.1 常総市水海道諏訪町*=2.1 つくば市天王台*=2.1 結城市中央町*=2.0 常総市新石下*=2.0 坂東市岩井=2.0 小美玉市小川 (旧) *=2.0 小美玉市堅倉 (旧) *=2.0 茨城古河市仁連*=2.0 石岡市石岡*=1.9 かすみがうら市上土田 (旧) =1.9 稲敷市江戸崎甲*=1.9 境町旭町*=1.9 下妻市鬼怒 (旧) *=1.9 つくばみらい市加藤*=1.8 つくばみらい市福田 (旧2) =1.8 八千代町菅谷*=1.8 常陸大宮市北町*=1.8 石岡市若宮*=1.8 石岡市八郷*=1.8 城里町石塚*=1.7 つくば市小茎*=1.7 桜川市羽田 (旧) *=1.7 茨城古河市長谷町 (旧) *=1.6 水戸市金町=1.6 かすみがうら市大和田*=1.6 小美玉市上玉里 (旧) *=1.6 水戸市千波町*=1.6 つくば市研究学園*=1.5 守谷市大柏 (旧) *=1.5 1 土浦市田中*=1.4 行方市玉造*=1.4 水戸市栗崎町*=1.3 稲敷市結佐*=1.3 日立市助川小学校*=1.3 大子町池田*=1.3 城里町阿波山*=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.2 牛久市中央 (旧) *=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 阿見町中央 (旧) *=1.2 稲敷市伊佐津*=1.2 龍ヶ崎市役所*=1.1 美浦村受領*=1.1 東海村東海*=1.1 利根町布川=1.1 稲敷市役所*=1.1 那珂市瓜連*=1.0 常陸大宮市高部*=1.0 稲敷市須賀津*=1.0 那珂市福田*=1.0 取手市藤代*=1.0 取手市井野*=0.9 ひたちなか市東石川*=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 鉾田市鉾田=0.9 潮来市辻*=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 日立市十王町友部 (旧) *=0.8 日立市役所*=0.7 常陸太田市高柿町*=0.7 神栖市溝口*=0.7 高萩市安良川*=0.7 常陸大宮市中富町=0.6 潮来市堀之内=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.6 常陸太田市町田町*=0.6 大洗町磯浜町 (旧) *=0.5 栃木県 3 下野市笹原*=2.8 栃木市旭町=2.7 下野市田中*=2.7 佐野市高砂町*=2.5 2 宇都宮市明保野町=2.3 真岡市荒町*=2.1 壬生町壬生甲*=2.1 栃木市岩舟町静*=2.0 真岡市田町*=2.0 茂木町茂木*=2.0 足利市大正町*=1.9 野木町丸林*=1.9 栃木市大平町富田*=1.8 栃木市藤岡町藤岡*=1.8 宇都宮市旭*=1.7 芳賀町祖母井*=1.6 栃木市西方町本城*=1.6 栃木市万町*=1.6 佐野市葛生東*=1.6 鹿沼市晃望台*=1.6 小山市神鳥谷*=1.6 栃木市都賀町家中*=1.5 佐野市田沼町*=1.5 1 益子町益子=1.4 佐野市中町*=1.3 日光市鬼怒川温泉大原*=1.2 宇都宮市塙田*=1.2 宇都宮市中里町*=1.2 高根沢町石末*=1.2 下野市大松山*=1.2 鹿沼市口栗野*=1.0 上三川町しらさぎ*=1.0 宇都宮市中岡本町*=0.9 茂木町北高岡矢場*=0.9 日光市足尾町中才*=0.9 日光市芹沼*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 日光市藤原庁舎*=0.8 矢板市本町*=0.8 塩谷町玉生*=0.8 栃木さくら市氏家*=0.8 栃木那珂川町小川*=0.8 日光市湯元*=0.8 市貝町市塙*=0.7 栃木那珂川町馬頭*=0.7 日光市瀬川=0.6 日光市足尾町通洞*=0.6 日光市黒部*=0.6 那須塩原市塩原庁舎*=0.5 日光市御幸町*=0.5 群馬県 3 板倉町板倉=2.5 2 大泉町日の出*=2.0 館林市上三林町*=2.0 邑楽町中野*=1.9 千代田町赤岩*=1.6 群馬明和町新里*=1.5 1 太田市西本町*=1.4 伊勢崎市西久保町*=1.3 館林市城町*=1.3 桐生市元宿町*=1.2 桐生市新里町*=1.2 渋川市赤城町*=1.1 みどり市大間々町*=1.1 太田市浜町*=1.0 藤岡市鬼石*=1.0 伊勢崎市東町*=0.9 神流町生利*=0.9 沼田市西倉内町=0.9 沼田市下久屋町*=0.8 片品村鎌田*=0.8 前橋市粕川町*=0.8 桐生市黒保根町*=0.8 太田市粕川町*=0.8 太田市大原町*=0.8 沼田市白沢町*=0.7 前橋市堀越町*=0.7 前橋市富士見町*=0.6 高崎市吉井町吉井川*=0.6 桐生市美原町=0.5 みどり市笠懸町*=0.5 伊勢崎市今泉町*=0.5 埼玉県 3 宮代町笠原*=2.6 2 春日部市金崎*=2.4 加須市騎西*=2.3 久喜市下早見=2.3 さいたま浦和区高砂=2.3 さいたま北区宮原*=2.2 春日部市粕壁*=2.2 杉戸町清地*=2.1 さいたま大宮区大門*=2.1 行田市南河原*=2.0 久喜市栗橋*=2.0 川口市中青木分室*=2.0 白岡市千駄野*=2.0 上尾市本町*=1.9 さいたま見沼区堀崎*=1.9 加須市大利根*=1.9 さいたま南区別所*=1.9 さいたま岩槻区本丸*=1.9 久喜市鷺宮*=1.9 さいたま西区指扇*=1.8 羽生市東*=1.8 久喜市菖蒲*=1.8 熊谷市江南*=1.8 鴻巣市川里*=1.7 さいたま桜区道場*=1.7 戸田市上戸田*=1.7 桶川市泉*=1.7 蓮田市黒浜*=1.7 幸手市東*=1.7 東松山市松葉町*=1.7 加須市北川辺*=1.6 和光市広沢*=1.6 北本市本町*=1.6 鴻巣市中央*=1.6 深谷市仲町*=1.6 久喜市青葉*=1.6 さいたま中央区下落合*=1.6 滑川町福田*=1.6 越谷市越ヶ谷*=1.6 蕨市中央*=1.6 加須市三保*=1.5 さいたま大宮区天沼町*=1.5 朝霞市本町*=1.5 川越市新宿町*=1.5 さいたま浦和区常盤*=1.5 行田市本丸*=1.5 1 三郷市中央*=1.4 伊奈町中央*=1.4 川口市安行領家*=1.3 春日部市谷原新田*=1.3 吉川市きよみ野*=1.3 川島町下八ツ林*=1.3 さいたま緑区中尾*=1.3 東松山市市ノ川*=1.3 埼玉美里町木部*=1.3 深谷市川本*=1.2 嵐山町杉山*=1.2 吉見町下細谷*=1.2 八潮市中央*=1.2

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		志木市中宗岡＊=1.1 新座市野火止＊=1.1 本庄市児玉町=1.1 坂戸市千代田＊=1.1 鴻巣市吹上富士見＊=1.1 越生町越生＊=1.1 深谷市普濟寺＊=1.1 松伏町松伏＊=1.1 長瀨町野上下郷＊=1.1 ときがわ町桃木＊=1.1 川越市旭町=1.1 川口市三ツ和＊=1.0 熊谷市宮町＊=1.0 熊谷市妻沼＊=0.9 草加市中央＊=0.9 富士見市鶴馬＊=0.9 埼玉三芳町藤久保＊=0.9 ときがわ町玉川＊=0.9 熊谷市大里＊=0.8 鳩山町大豆戸=0.8 狭山市入間川＊=0.8 ふじみ野市福岡＊=0.7 秩父市近戸町＊=0.7 長瀨町本野上＊=0.7 小川町大塚＊=0.6 埼玉神川町下阿久原＊=0.6 鶴ヶ島市三ツ木＊=0.6 毛呂山町中央＊=0.6 所沢市北有楽町＊=0.6 東秩父村御堂＊=0.5 埼玉神川町植竹＊=0.5 深谷市花園＊=0.5 ふじみ野市大井＊=0.5 秩父市上町=0.5 皆野町皆野＊=0.5 千葉県 2 野田市鶴奉＊=2.2 野田市東宝珠花＊=2.0 千葉花見川区花島町＊=1.6 市川市大町＊=1.6 成田市名古屋=1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.6 白井市復＊=1.6 柏市旭町=1.5 1 成田市中台＊=1.4 八千代市大和田新田＊=1.4 芝山町小池＊=1.3 成田国際空港=1.3 習志野市鷺沼＊=1.3 柏市柏＊=1.3 柏市大島田＊=1.3 香取市佐原諏訪台＊=1.2 香取市役所＊=1.2 山武市埴谷＊=1.2 栄町安食台＊=1.1 香取市仁良＊=1.0 千葉稲毛区園生町＊=1.0 船橋市湊町＊=1.0 松戸市西馬橋＊=1.0 四街道市鹿渡＊=1.0 印西市大森＊=1.0 市川市本行徳＊=0.9 神崎町神崎本宿＊=0.9 香取市佐原平田=0.9 成田市猿山＊=0.8 成田市松子＊=0.8 我孫子市我孫子＊=0.8 浦安市日の出=0.8 八街市八街＊=0.8 印西市美瀬＊=0.8 香取市岩部＊=0.8 酒々井町中央＊=0.7 多古町多古=0.7 山武市松尾町富士見台=0.7 市川市八幡＊=0.7 松戸市根本＊=0.6 東金市日吉台＊=0.6 千葉佐倉市海隣寺町＊=0.6 市原市姉崎＊=0.6 流山市平和台＊=0.6 香取市羽根川＊=0.6 印西市笠神＊=0.6 千葉美浜区ひび野=0.6 富里市七栄＊=0.6 千葉美浜区稲毛海岸＊=0.5 東京都 2 東京練馬区豊玉北＊=2.1 東京中野区江古田＊=1.8 東京練馬区光が丘＊=1.7 東京新宿区上落合＊=1.6 東京中野区中野＊=1.5 調布市西つつじヶ丘＊=1.5 1 東京千代田区大手町=1.4 東京文京区大塚＊=1.4 東京渋谷区本町＊=1.4 東京杉並区桃井＊=1.4 東京板橋区相生町＊=1.4 東京足立区伊興＊=1.4 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.3 東京杉並区高井戸＊=1.3 東京板橋区高島平＊=1.3 小平市小川町＊=1.3 東京北区赤羽南＊=1.2 東京新宿区百人町＊=1.1 東京文京区本郷＊=1.1 東京練馬区東大泉＊=1.1 東京江戸川区中央=1.1 西東京市中町＊=1.1 東京中央区築地＊=1.0 東京文京区スポーツセンタ＊=1.0 東京渋谷区宇田川町＊=1.0 東京葛飾区立石＊=1.0 東京府中市朝日町＊=1.0 東大和市中央＊=1.0 東京世田谷区成城＊=0.9 東京豊島区南池袋＊=0.9 東京足立区神明南＊=0.9 国分寺市戸倉=0.9 東京千代田区富士見＊=0.9 東京港区芝公園＊=0.9 東京港区南青山＊=0.9 東京江東区森下＊=0.8 東京目黒区中央町＊=0.8 東京北区西ヶ原＊=0.8 東京荒川区東尾久＊=0.8 東京板橋区板橋＊=0.8 武蔵野市緑町＊=0.8 三鷹市野崎＊=0.8 東京府中市寿町＊=0.8 日野市神明＊=0.8 狛江市和泉本町＊=0.8 多摩市関戸＊=0.8 東京中央区日本橋兜町＊=0.8 東京新宿区歌舞伎町＊=0.8 東京江戸川区船堀＊=0.7 町田市忠生＊=0.7 町田市森野＊=0.7 小金井市本町＊=0.7 東京港区海岸=0.7 東京品川区広町＊=0.7 東京世田谷区世田谷＊=0.7 東京江戸川区鹿骨＊=0.7 東京中央区勝どき＊=0.6 東京葛飾区金町＊=0.6 八王子市堀之内＊=0.6 武蔵野市吉祥寺東町＊=0.6 東京品川区平塚＊=0.6 東京大田区本羽田＊=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 東京港区白金＊=0.5 福島県 1 矢祭町東館＊=1.0 矢祭町戸塚＊=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 須賀川市岩瀬支所＊=0.6 白河市新白河＊=0.6 浅川町浅川＊=0.6 田村市都路町＊=0.5 玉川村小高＊=0.5 神奈川県 1 横浜港北区日吉本町＊=1.2 横浜神奈川区神大寺＊=1.1 横浜緑区十日市場町＊=1.1 川崎中原区小杉町＊=1.0 川崎川崎区宮前町＊=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 相模原中央区上溝＊=0.9 相模原緑区中野＊=0.8 川崎高津区下作延＊=0.7 相模原中央区水郷田名＊=0.6				
60	15 06 39	千葉県北西部 東京都 2 東京練馬区豊玉北＊=1.5 1 東京杉並区桃井＊=1.2 国分寺市戸倉=1.1 西東京市中町＊=1.1 東京渋谷区本町＊=1.1 東京千代田区大手町=1.1 調布市西つつじヶ丘＊=1.1 小平市小川町＊=1.1 八王子市堀之内＊=1.0 東京中野区中野＊=0.9 東京世田谷区成城＊=0.8 東京新宿区百人町＊=0.8 多摩市関戸＊=0.7 東京練馬区光が丘＊=0.7 日野市神明＊=0.7 東京府中市朝日町＊=0.6 調布市小島町＊=0.6 東京渋谷区宇田川町＊=0.6 東京北区西ヶ原＊=0.6 東京千代田区麹町＊=0.6 東京新宿区上落合＊=0.6 町田市忠生＊=0.5 町田市森野＊=0.5 東京文京区本郷＊=0.5 東京葛飾区立石＊=0.5 東京世田谷区三軒茶屋＊=0.5 狛江市和泉本町＊=0.5 東京港区海岸=0.5 東京板橋区相生町＊=0.5 埼玉県 1 入間市豊岡＊=1.2 さいたま大宮区大門＊=0.7 川越市旭町=0.5 千葉県 1 千葉花見川区花島町＊=0.9 市原市姉崎＊=0.7 神奈川県 1 川崎中原区小杉町＊=1.3 横浜神奈川区神大寺＊=1.2 横浜神奈川区広台太田町＊=1.2 横浜港北区日吉本町＊=1.2 横浜鶴見区鶴見＊=1.1 横浜磯子区洋光台＊=1.0 横浜中区山手町=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=0.9 横浜鶴見区末広町＊=0.9 横浜旭区今宿東町＊=0.9 横浜緑区十日市場町＊=0.9 川崎宮前区野川＊=0.9 相模原中央区上溝＊=0.9 川崎川崎区宮前町＊=0.7 相模原緑区中野＊=0.7 横浜瀬谷区中屋敷＊=0.6 大和市下鶴間＊=0.6 横須賀市光の丘=0.5 静岡県 1 富士宮市野中＊=0.7 東伊豆町奈良本＊=0.6	35° 30.1' N	140° 06.0' E	69km	M: 3.8
61	15 20 22	和歌山県南部 和歌山県 1 田辺市中辺路町栗栖川＊=1.1 湯浅町青木＊=0.6	33° 54.0' N	135° 31.4' E	28km	M: 2.8
62	16 15 00	福島県会津 福島県 1 猪苗代町城南=0.8 猪苗代町千代田＊=0.8	37° 35.7' N	140° 05.5' E	4km	M: 2.5
63	18 13 40	福島県中通り 福島県 1 浅川町浅川＊=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5	37° 04.1' N	140° 26.7' E	7km	M: 2.4
64	18 18 01	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町＊=1.0	37° 30.2' N	137° 13.0' E	12km	M: 2.9

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
65	18 20 08	茨城県南部 茨城県 2 筑西市門井※=1.7 城里町小勝※=1.6 1 土浦市常名=1.4 坂東市馬立※=1.4 笠間市笠間※=1.3 石岡市柿岡=1.2 取手市寺田※=1.1 笠間市石井※=1.1 桜川市羽田※=1.1 下妻市本城町※=1.1 茨城古河市下大野※=1.0 笠間市下郷※=0.9 かすみがうら市上土田※=0.9 石岡市若宮※=0.9 つくば市研究学園※=0.9 つくば市小茎※=0.9 つくば市天王台※=0.8 茨城古河市仁連※=0.8 常陸大宮市野口※=0.8 常陸大宮市北町※=0.8 筑西市舟生=0.8 かすみがうら市大和田※=0.7 水戸市内原町※=0.7 城里町石塚※=0.7 つくばみらい市福田※=0.6 小美玉市小川※=0.6 筑西市海老ヶ島※=0.6 日立市助川小学校※=0.6 城里町阿波山※=0.6 坂東市山※=0.6 常総市新石下※=0.6 ひたちなか市南神敷台※=0.5 坂東市岩井=0.5 石岡市石岡※=0.5 小美玉市堅倉※=0.5 稲敷市江戸崎甲※=0.5 栃木県 2 壬生町壬生甲※=2.0 宇都宮市中里町※=1.7 小山市神鳥谷※=1.6 下野市笹原※=1.6 栃木市岩舟町静※=1.5 1 日光市鬼怒川温泉大原※=1.4 宇都宮市明保野町=1.4 栃木市旭町=1.4 栃木市藤岡町藤岡※=1.2 佐野市中町※=1.2 鹿沼市晃望台※=1.2 佐野市葛生東※=1.1 野木町丸林※=1.1 下野市田中※=1.0 茂木町茂木※=1.0 芳賀町祖母井※=1.0 栃木市西方町本城※=1.0 高根沢町石末※=1.0 佐野市高砂町※=0.9 佐野市田沼町※=0.8 栃木市大平町富田※=0.8 鹿沼市口栗野※=0.8 鹿沼市今宮町※=0.8 小山市中央町※=0.8 下野市大松山※=0.8 日光市芹沼※=0.7 日光市藤原庁舎※=0.7 栃木市万町※=0.7 宇都宮市中岡本町※=0.7 足利市大正町※=0.7 栃木那珂川町小川※=0.6 日光市瀬川=0.6 栃木市都賀町家中※=0.6 日光市黒部※=0.5 宇都宮市塙田※=0.5 宇都宮市旭※=0.5 上三川町しらさぎ※=0.5 群馬県 1 邑楽町中野※=1.2 板倉町板倉=1.1 大泉町日の出※=0.9 桐生市元宿町※=0.9 桐生市新里町※=0.6 伊勢崎市東町※=0.6 太田市粕川町※=0.6 渋川市赤城町※=0.6 沼田市下久屋町※=0.5 桐生市黒保根町※=0.5 埼玉県 1 滑川町福田※=1.4 東松山市松葉町※=1.2 加須市大利根※=1.0 久喜市下早見=1.0 熊谷市大里※=0.9 熊谷市江南※=0.8 東松山市市ノ川※=0.8 春日部市粕壁※=0.8 北本市本町※=0.8 加須市騎西※=0.7 加須市北川辺※=0.7 上尾市本町※=0.7 行田市本丸※=0.7 加須市三俣※=0.7 久喜市菖蒲※=0.6 久喜市鷲宮※=0.6 桶川市泉※=0.6 羽生市東※=0.5 深谷市川本※=0.5 熊谷市妻沼※=0.5 春日部市金崎※=0.5 宮代町笠原※=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉※=1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=0.9 柏市旭町=0.8	36° 19.0' N 140° 01.3' E 73km M: 3.8			
66	19 15 06	愛知県西部 長野県 2 売木村役場※=1.6 1 根羽村役場※=1.0 岐阜県 1 恵那市上矢作町※=0.5 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町※=0.6 浜松天竜区春野町※=0.5	35° 12.4' N 137° 24.8' E 46km M: 3.1			
67	19 17 18	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町※=0.5	37° 32.2' N 137° 17.0' E 11km M: 2.3			
68	19 20 00	福島県沖 福島県 1 南相馬市鹿島区西町※=0.8 相馬市中村※=0.7 田村市船引町=0.7 南相馬市鹿島区板窪=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5	37° 49.7' N 141° 45.5' E 62km M: 4.0			
69	20 06 36	奄美大島近海 鹿児島県 1 瀬戸内町請島※=1.2 瀬戸内町加計呂麻島※=1.1 瀬戸内町西古見=1.0 宇検村湯湾※=0.9 瀬戸内町与路島※=0.9 瀬戸内町古仁屋※=0.8 大和村思勝※=0.5 奄美市名瀬港町=0.5	28° 13.7' N 129° 23.8' E 18km M: 3.3			
70	20 10 37	石川県能登地方 石川県 2 珠洲市正院町※=2.0 珠洲市大谷町※=1.5 1 珠洲市三崎町=1.2 輪島市鳳至町=0.7	37° 28.1' N 137° 11.9' E 12km M: 3.4			
71	20 10 59	千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市波崎※=2.0 1 小美玉市上玉里※=1.4 神栖市溝口※=1.4 潮来市辻※=1.0 潮来市堀之内=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 茨城鹿嶋市宮中※=0.8 ひたちなか市南神敷台※=0.8 銚田市銚田=0.8 筑西市舟生=0.7 笠間市石井※=0.6 稲敷市江戸崎甲※=0.5 土浦市常名=0.5 石岡市柿岡=0.5 日立市助川小学校※=0.5 千葉県 2 銚子市若宮町※=2.1 銚子市小畑新町=2.0 旭市萩園※=2.0 旭市高生※=1.7 銚子市川口町=1.6 匝瑳市今泉※=1.5 1 旭市南堀之内※=1.4 旭市ニ※=1.4 香取市仁良※=1.3 香取市役所※=1.2 長南町総合グラウンド=1.0 多古町多古=1.0 山武市蓮沼ニ※=1.0 香取市佐原平田=0.9 東金市日吉台※=0.9 市原市姉崎※=0.9 睦沢町下之郷※=0.8 山武市松尾町富士見台=0.7 一宮町一宮=0.7 香取市佐原諏訪台※=0.6 東金市東新宿=0.5 勝浦市墨名=0.5	35° 30.5' N 140° 56.4' E 35km M: 4.6			
72	20 12 46	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6	37° 29.7' N 137° 13.7' E 12km M: 2.3			
73	21 01 22	和歌山県北部 和歌山県 1 紀美野町下佐々※=1.0 紀美野町神野市場※=0.8	34° 08.7' N 135° 17.6' E 5km M: 2.2			
74	21 03 52	長野県中部 長野県 2 筑北村西条※=1.8 筑北村坂井=1.7 上田市下武石※=1.5 1 青木村田沢青木※=1.3 麻績村麻※=1.2 上田市大手※=1.0 松本市会田※=1.0 上田市築地=1.0	36° 20.7' N 137° 58.7' E 10km M: 3.3			

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		生坂村役場＊=1.0 安曇野市豊科＊=0.9 松本市丸の内＊=0.8 松本市美須々＊=0.8 松川村役場＊=0.8 佐久市下小田切=0.8 筑北村坂北＊=0.8 安曇野市明科＊=0.7 長和町古町＊=0.6 安曇野市穂高支所=0.5 安曇野市穂高福祉センター＊=0.5 松本市寿＊=0.5 山形村役場＊=0.5 坂城町坂城＊=0.5 群馬県 1 安中市松井田町＊=0.6				
75	21 06 28	日高地方東部 北海道 1 浦河町潮見=1.4 新ひだか町静内山手町=1.3 浦河町築地＊=1.2 新ひだか町静内御幸町＊=1.1 新冠町北星町＊=1.1 函館市新浜町＊=1.1 幕別町忠類錦町＊=1.1 新ひだか町三石旭町＊=0.9 広尾町並木通=0.9 浦河町野深=0.8 浦幌町桜町＊=0.8 鹿追町東町＊=0.8 広尾町白樺通=0.8 えりも町えりも岬＊=0.7 様似町栄町＊=0.7 えりも町目黒＊=0.5 青森県 1 東通村砂子又沢内＊=0.6	42° 21.7' N	143° 01.0' E	74km	M: 4.1
76	22 03 19	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 下呂市小坂町＊=0.9	35° 59.5' N	137° 19.0' E	8km	M: 2.2
77	22 04 54	日向灘 高知県 1 宿毛市桜町＊=0.5 大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.8 宮崎県 1 川南町川南＊=1.2 門川町平城東＊=1.0 宮崎都農町役場＊=0.9 宮崎美郷町田代＊=0.9 延岡市天神小路=0.6 延岡市北浦町古江＊=0.6	32° 14.6' N	132° 07.3' E	19km	M: 3.9
78	22 10 46	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島＊=1.4 鹿児島十島村諏訪之瀬島＊=1.0 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9	29° 18.4' N	130° 31.8' E	27km	M: 4.3
79	22 16 37	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏＊=1.7 八戸市南郷＊=1.7 七戸町森ノ上＊=1.7 五戸町古館=1.7 青森南部町苦米地＊=1.7 青森南部町平＊=1.6 六戸町犬落瀬＊=1.6 おいらせ町中下田＊=1.6 野辺地町野辺地＊=1.5 東北町上北南＊=1.5 三戸町在府小路町＊=1.5 1 八戸市内丸＊=1.4 十和田市西十二番町＊=1.4 青森南部町沖田面＊=1.4 東通村砂子又沢内＊=1.4 三沢市桜町＊=1.3 五戸町倉石中市＊=1.3 青森市花園=1.3 おいらせ町上明堂＊=1.3 むつ市金谷＊=1.3 むつ市大畑町中島＊=1.3 十和田市西二番町＊=1.3 七戸町七戸＊=1.2 むつ市金曲=1.2 青森市中央＊=1.2 八戸市湊町=1.2 東通村砂子又蒲谷地=1.0 東北町塔ノ沢山＊=0.9 むつ市川内町＊=0.9 五所川原市敷島町＊=0.9 十和田市奥瀬＊=0.9 田子町田子＊=0.8 横浜町林ノ脇＊=0.8 つがる市稲垣町＊=0.8 六ヶ所村尾駁=0.7 横浜町寺下＊=0.7 平内町東田沢＊=0.6 新郷村戸来＊=0.6 むつ市脇野沢＊=0.5 岩手県 2 盛岡市薮川＊=2.0 普代村銅屋＊=1.8 盛岡市渋民＊=1.8 八幡平市田頭＊=1.8 二戸市浄法寺町＊=1.7 矢巾町南矢幅＊=1.7 盛岡市山王町=1.5 宮古市五月町＊=1.5 宮古市田老＊=1.5 紫波町紫波中央駅前＊=1.5 滝沢市鶉飼＊=1.5 1 花巻市東和町＊=1.4 野田村野田＊=1.3 釜石市中妻町＊=1.3 軽米町軽米＊=1.3 北上市相去町＊=1.3 奥州市胆沢＊=1.2 八幡平市野駄＊=1.2 岩手町五日市＊=1.1 盛岡市馬場町＊=1.1 雫石町千刈田=1.1 花巻市石鳥谷町＊=1.1 平泉町平泉＊=1.0 八幡平市吹田＊=1.0 花巻市材木町＊=1.0 北上市柳原町=1.0 八幡平市大更=1.0 一関市千厩町＊=1.0 一関市室根町＊=1.0 久慈市川崎町=0.9 住田町世田米＊=0.9 遠野市青笹町＊=0.9 花巻市大迫町=0.9 西和賀町沢内川舟＊=0.9 奥州市水沢大鐘町=0.9 宮古市鉾ヶ崎=0.8 一関市藤沢町＊=0.8 宮古市川井＊=0.8 雫石町西根上駒木野=0.8 宮古市区界＊=0.8 二戸市福岡=0.7 久慈市枝成沢=0.7 山田町大沢＊=0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 奥州市水沢佐倉河＊=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 釜石市只越町=0.6 九戸村伊保内＊=0.6 山田町八幡町=0.6 花巻市大迫総合支所＊=0.6 岩手洋野町種市=0.5 二戸市石切所＊=0.5 田野畑村田野畑=0.5 北海道 1 函館市新浜町＊=1.3 函館市泊町＊=1.3 様似町栄町＊=0.8 標津町北2条＊=0.7 新ひだか町静内山手町=0.7 安平町早来北進＊=0.6 厚真町鹿沼=0.6 浦河町潮見=0.5 別海町常盤=0.5 宮城県 1 登米市登米町＊=1.3 登米市迫町＊=1.3 石巻市桃生町＊=1.3 栗原市若柳＊=1.2 登米市米山町＊=1.2 登米市中田町=1.0 登米市南方町＊=1.0 宮城美里町木間塚＊=1.0 気仙沼市赤岩=0.9 大崎市田尻＊=0.9 丸森町鳥屋＊=0.9 石巻市大街道南＊=0.9 大崎市古川三日町=0.8 大崎市松山＊=0.8 気仙沼市笹が陣＊=0.8 石巻市相野谷＊=0.8 気仙沼市唐桑町＊=0.8 栗原市志波姫＊=0.8 栗原市栗駒=0.7 大河原町新南＊=0.7 栗原市築館＊=0.7 石巻市前谷地＊=0.7 松島町高城=0.7 栗原市高清水＊=0.5 秋田県 1 三種町森岳＊=0.8 北秋田市新田目＊=0.8 横手市大雄＊=0.8 大仙市高梨＊=0.8 小坂町小坂砂森＊=0.6 北秋田市花園町=0.5 山形県 1 中山町長崎＊=1.1	40° 15.0' N	143° 04.3' E	20km	M: 5.7
80	22 17 23	岩手県沖 岩手県 1 盛岡市薮川＊=0.6	40° 14.4' N	143° 04.2' E	20km	M: 4.4
81	23 04 32	福島県沖 福島県 1 いわき市三和町=1.3 檜葉町北田＊=1.0 いわき市小名浜=0.9 いわき市錦町＊=0.5 大熊町大川原＊=0.5 茨城県 1 日立市十王町友部＊=0.9 高萩市安良川＊=0.6 日立市助川小学校＊=0.5	37° 03.1' N	141° 17.7' E	21km	M: 4.0
82	23 18 47	熊本県熊本地方 熊本県 2 八代市泉支所＊=2.2 氷川町島地＊=2.2 八代市東陽町＊=2.0 宇城市小川町＊=1.8 八代市鏡町＊=1.5 宇城市豊野町＊=1.5 氷川町宮原＊=1.5 1 八代市坂本町＊=1.4 八代市泉町=1.2 球磨村渡＊=1.2 八代市千丁町＊=1.1 熊本美里町永富＊=1.0 熊本美里町馬場＊=1.0 五木村甲＊=1.0 八代市平山新町=1.0 八代市新地町＊=0.9 甲佐町豊内＊=0.9 上天草市大矢野町=0.6 上天草市姫戸町＊=0.6 大古市蟹作町＊=0.6 大古市西間下町=0.5 宇城市不知火町＊=0.5 上天草市松島町＊=0.5 熊本南区城南町＊=0.5 山江村山田＊=0.5	32° 33.4' N	130° 44.5' E	9km	M: 3.4

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		鹿児島県	1	伊佐市大口鳥巢	*=0.7	
83	23 20 29	熊本県熊本地方 熊本県	32° 33.3' N	130° 44.4' E	9km	M: 2.7
		1	八代市泉支所	*=0.9	氷川町島地	*=0.8
				八代市東陽町	*=0.6	
84	24 04 37	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 14.1' N	137° 34.3' E	3km	M: 2.1
		1	高山市奥飛騨温泉郷栃尾	*=0.6		
85	24 08 16	島根県東部 島根県	35° 16.7' N	133° 07.8' E	10km	M: 2.9
		1	松江市八雲町西岩坂	*=0.5		
86	24 13 05	能登半島沖 石川県	37° 31.2' N	137° 13.4' E	13km	M: 3.1
		1	珠洲市正院町	*=1.4	珠洲市大谷町	*=0.5
87	24 16 25	茨城県北部 福島県	36° 25.1' N	140° 18.3' E	83km	M: 4.7
		4	矢祭町東館	*=3.7		
		3	浅川町浅川	*=3.2	棚倉町棚倉中居野	=3.2
			白河市表郷	*=3.0	白河市東	*=2.9
			矢祭町戸塚	*=2.9		
			白河市新白河	*=2.8	石川町長久保	*=2.8
			田村市都路町	*=2.7	玉川村小高	*=2.6
			田村市大越町	*=2.5	古殿町松川新桑原	*=2.5
			小野町中通	*=2.5		
		2	白河市大信	*=2.4	中島村滑津	*=2.4
			古殿町松川横川	=2.4	田村市常葉町	*=2.4
			田村市滝根町	*=2.4		
			大熊町大川原	*=2.4	浪江町幾世橋	=2.4
			白河市郭内	=2.3	鮫川村赤坂中野	*=2.3
			いわき市錦町	*=2.3		
			泉崎村泉崎	*=2.3	双葉町長塚	*=2.3
			須賀川市岩瀬支所	*=2.2	南会津町田島	=2.2
			いわき市三和町	=2.2		
			西郷村熊倉	*=2.2	檜倉町北田	*=2.2
			川内村上川内早渡	*=2.2	小野町小野新町	*=2.2
			塙町塙	*=2.2	白河市八幡小路	*=2.1
			田村市船引町	=2.1	須賀川市八幡山	*=2.1
			葛尾村落合落合	*=2.1		
			郡山市湖南町	*=2.1	二本松市針道	*=2.0
			福島広野町下北迫大谷地原	*=2.0	平田村永田	*=2.0
			猪苗代町千代田	*=1.9	川内村下川内	=1.9
			鏡石町不時沼	*=1.9	矢吹町一本木	*=1.8
			棚倉町棚倉館ヶ丘	*=1.8	いわき市平梅本	*=1.8
			須賀川市八幡町	*=1.8	飯館村伊丹沢	*=1.8
			南相馬市鹿島区西町	*=1.8	二本松市油井	*=1.8
			天栄村下松本	*=1.8	川内村上川内小山平	*=1.8
			福島伊達市霊山町	*=1.8	川俣町五百田	*=1.7
			本宮市本宮	*=1.7	いわき市小名浜	=1.7
			大熊町野上	*=1.7	福島広野町下北迫苗代替	*=1.7
			福島昭和村下中津川	*=1.7	本宮市白岩	*=1.6
			天栄村湯本支所	*=1.6	郡山市開成	*=1.6
			いわき市平四ツ波	*=1.6	大玉村南小屋	=1.5
			郡山市朝日	=1.5		
			南相馬市小高区	*=1.5	福島市五老内町	*=1.5
		1	福島伊達市前川原	*=1.4	福島伊達市月館町	*=1.4
			檜枝岐村上河原	*=1.4	猪苗代町城南	=1.4
			新地町谷地小屋	*=1.3	南相馬市原町区高見町	*=1.3
			下郷町塩生	*=1.3	二本松市金色	*=1.3
			大玉村玉井	*=1.3	三春町大町	*=1.3
			福島市飯野町	*=1.3	相馬市中村	*=1.3
			富岡町本岡	*=1.3	国見町藤田	*=1.2
			磐梯町磐梯	*=1.2	福島市桜木町	*=1.2
			南相馬市原町区三島町	=1.1		
			桑折町谷地	*=1.1	会津美里町新鶴庁舎	*=1.1
			南会津町界	*=1.1	須賀川市長沼支所	*=1.1
			福島伊達市梁川町	*=1.0	南会津町滝原	*=0.9
			南相馬市鹿島区柗窪	=0.9	会津若松市追手町	*=0.8
			二本松市小浜	*=0.8	福島伊達市保原町	*=0.8
			南相馬市原町区本町	*=0.8	只見町黒谷	*=0.7
			下郷町高崎	*=0.6	会津美里町本郷庁舎	*=0.5
		4	日立市助川小学校	*=4.0	日立市役所	*=3.7
			ひたちなか市南神敷台	*=3.5	常陸大宮市山方	*=3.5
		3	常陸太田市町屋町	=3.3	高萩市安良川	*=3.2
			常陸太田市大中町	*=3.1	日立市十王町友部	*=3.1
			笠間市石井	*=3.0	常陸大宮市野口	*=3.0
			常陸太田市町田町	*=2.9	城里町小勝	*=2.9
			水戸市内原町	*=2.8	ひたちなか市東石川	*=2.8
			東海村東海	*=2.8	常陸大宮市北町	*=2.8
			常陸太田市高柿町	*=2.8	小美玉市上玉里	*=2.7
			土浦市常名	=2.7	つくば市研究学園	*=2.7
			桜川市真壁	*=2.7	笠間市中央	*=2.7
			桜川市羽田	*=2.6	常総市新石下	*=2.6
			石岡市柿岡	=2.5		
			つくば市天王台	*=2.5	高萩市本町	*=2.5
			美浦村受領	*=2.5	常陸大宮市高部	*=2.5
			城里町石塚	*=2.5	笠間市下郷	*=2.5
			小美玉市小川	*=2.5	笠間市笠間	*=2.5
		2	水戸市金町	=2.4	北茨城市中郷町	*=2.4
			茨城古河市仁連	*=2.4	石岡市若宮	*=2.4
			石岡市八郷	*=2.4	石岡市石岡	*=2.4
			筑西市舟生	=2.4	筑西市門井	*=2.4
			つくば市小荃	*=2.3	水戸市千波町	*=2.3
			水戸市栗崎町	*=2.3	かすみがうら市大和田	*=2.3
			かすみがうら市上土田	*=2.3	桜川市岩瀬	*=2.3
			常総市水海道諏訪町	*=2.3	つくばみらい市福田	*=2.3
			那珂市福田	*=2.3	城里町阿波山	*=2.3
			鉾田市造谷	*=2.2	坂東市馬立	*=2.2
			稲敷市伊佐津	*=2.2	常陸大宮市中富町	=2.2
			土浦市藤沢	*=2.2	下妻市本城町	*=2.1
			鉾田市汲上	*=2.1	取手市寺田	*=2.1
			守谷市大柏	*=2.1	稲敷市江戸崎甲	*=2.1
			北茨城市磯原町	*=2.1	ひたちなか市山ノ上町	=2.1
			つくばみらい市加藤	=2.0	土浦市田中	*=2.0
			坂東市山	*=2.0	行方市玉造	*=2.0
			那珂市瓜連	*=2.0	龍ヶ崎市役所	*=1.9
			茨城古河市下大野	*=1.9	茨城鹿嶋市鉢形	=1.9
			常陸大宮市上小瀬	*=1.9	坂東市岩井	=1.9
			茨城鹿嶋市宮中	*=1.8	稲敷市須賀津	*=1.8
			取手市井野	*=1.7	稲敷市結佐	*=1.7
			牛久市中央	*=1.7	茨城古河市長谷町	*=1.7
			筑西市海老ヶ島	*=1.7	境町旭町	*=1.7
			行方市麻生	*=1.7	行方市山田	*=1.7
			稲敷市役所	*=1.7	八千代町菅谷	*=1.6
			五霞町小福田	*=1.6	取手市藤代	*=1.6
			潮来市辻	*=1.5	結城市中央町	*=1.5
			鉾田市鉾田	=1.5		
		1	潮来市堀之内	=1.3	河内町源清田	*=1.3
			利根町布川	=1.3	神栖市溝口	*=1.1
		4	大田原市湯津上	*=3.5		
		3	栃木那珂川町馬頭	*=2.8	栃木那珂川町小川	*=2.8
			那須町寺子	*=2.7	壬生町壬生甲	*=2.7
			日光市鬼怒川温泉大原	*=2.6	大田原市本町	*=2.5
			栃木市岩舟町静	*=2.5	益子町益子	=2.5
		2	大田原市黒羽田町	=2.4	小山市神鳥谷	*=2.4
			野木町丸林	*=2.4	栃木さくら市喜連川	*=2.4
			那須塩原市あたご町	*=2.3	栃木市藤岡町藤岡	*=2.3
			佐野市中町	*=2.3	真岡市田町	*=2.3
			那須塩原市共懇社	*=2.2	那須塩原市塩原庁舎	*=2.2
			宇都宮市明保野町	=2.2	高根沢町石末	*=2.2
			佐野市葛生東	*=2.1	茂木町茂木	*=2.1
			下野市笹原	*=2.1	那須塩原市鍋掛	*=2.1
			那須塩原市大金	*=2.0	佐野市高砂町	*=2.0
			鹿沼市晃望台	*=2.0	小山市中央町	*=2.0
			真岡市荒町	*=2.0	真岡市石島	*=2.0
			宇都宮市中里町	*=2.0	宇都宮市岡本町	*=1.9
			栃木市大平町富田	*=1.9	塩谷町玉生	*=1.9
			足利市大正町	*=1.8	那須烏山市神長	=1.8
			那須烏山市役所	*=1.8	下野市田中	*=1.8
			日光市芹沼	*=1.8	日光市藤原庁舎	*=1.8

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県				鹿沼市口栗野＊=1.8 佐野市田沼町＊=1.7 那須塩原市中塩原＊=1.7 芳賀町祖母井＊=1.7 栃木市旭町=1.7 下野市大松山＊=1.7 日光市御幸町＊=1.6 宇都宮市旭＊=1.6 矢板市本町＊=1.6 那須塩原市臺沼=1.6 市貝町市塙＊=1.6 宇都宮市塙田＊=1.5 日光市瀬川=1.5 日光市黒部＊=1.5 1 日光市足尾町中才＊=1.4 栃木市西方町本城＊=1.4 茂木町北高岡天矢場＊=1.4 栃木市都賀町家中＊=1.3 栃木市万町＊=1.3 栃木さくら市氏家＊=1.3 日光市今市本町＊=1.2 日光市中宮祠=1.2 鹿沼市今宮町＊=1.2 上三川町しらさぎ＊=1.1 日光市湯元＊=1.0 日光市足尾町通洞＊=0.7 3 野田市鶴泰＊=2.5 2 市川市大町＊=2.2 八千代市大和田新田＊=2.2 柏市柏＊=2.1 成田市名古屋=2.0 印西市美瀬＊=2.0 白井市復＊=2.0 千葉花見川区花島町＊=1.9 習志野市鷲沼＊=1.9 柏市旭町=1.9 浦安市日の出=1.9 神崎町神崎本宿＊=1.8 松戸市西馬橋＊=1.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.8 香取市役所＊=1.7 船橋市湊町＊=1.7 野田市東宝珠花＊=1.7 成田市松子＊=1.7 印西市大森＊=1.7 印西市笠神＊=1.7 香取市佐原諏訪台＊=1.6 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.6 柏市大島田＊=1.6 成田国際空港=1.5 市川市本行徳＊=1.5 1 香取市佐原平田=1.4 香取市羽根川＊=1.4 千葉稲毛区園生町＊=1.4 千葉美浜区ひび野=1.4 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.4 成田市役所＊=1.4 我孫子市我孫子＊=1.4 八街市八街＊=1.4 香取市仁良＊=1.3 栄町安食台＊=1.3 松戸市根本＊=1.2 流山市平和台＊=1.2 富里市七栄＊=1.2 東金市日吉台＊=1.2 山武市埴谷＊=1.2 千葉若葉区小倉台＊=1.2 旭市南堀之内＊=1.1 香取市岩部＊=1.1 山武市松尾町富士見台=1.0 千葉中央区中央港=1.0 市川市八幡＊=1.0 成田市猿山＊=1.0 浦安市猫実＊=1.0 四街道市鹿渡＊=1.0 酒々井町中央台＊=1.0 多古町多古=1.0 芝山町小池＊=1.0 長南町総合グラウンド=0.9 市原市姉崎＊=0.9 山武市蓮沼ニ＊=0.8 東金市東新宿=0.8 匝瑳市八日市場ハ＊=0.8 南房総市白浜町白浜＊=0.7 銚子市小畑新町=0.6 旭市ニ＊=0.6 横芝光町宮川＊=0.5 君津市久留里市場＊=0.5
		宮城県				2 岩沼市桜＊=1.7 1 角田市角田＊=1.3 蔵王町円田＊=1.1 丸森町鳥屋＊=1.0 山元町浅生原＊=1.0 名取市増田＊=1.0 大河原町新南＊=0.9 宮城川崎町前川＊=0.8 丸森町上滝=0.7 柴田町船岡=0.7 亘理町悠里＊=0.7 仙台空港=0.7 仙台宮城野区苦竹＊=0.5 松島町高城=0.5
		群馬県				2 邑楽町中野＊=2.3 館林市上三林町＊=2.2 渋川市赤城町＊=2.2 館林市城町＊=1.9 太田市西本町＊=1.8 板倉町板倉=1.8 渋川市吹屋＊=1.7 大泉町日の出＊=1.6 桐生市黒保根町＊=1.6 太田市粕川町＊=1.6 群馬明和町新里＊=1.5 千代田町赤岩＊=1.5 沼田市西倉内町=1.5 1 沼田市白沢町＊=1.4 前橋市富士見町＊=1.3 桐生市元宿町＊=1.3 桐生市新里町＊=1.3 伊勢崎市今泉町＊=1.3 伊勢崎市西久保町＊=1.3 伊勢崎市境＊=1.2 伊勢崎市東町＊=1.2 渋川市伊香保町＊=1.2 前橋市粕川町＊=1.2 前橋市堀越町＊=1.0 太田市浜町＊=1.0 太田市大原町＊=1.0 吉岡町下野田＊=1.0 みどり市笠懸町＊=0.9 沼田市下久屋町＊=0.9 前橋市鼻毛石町＊=0.9 高崎市高松町＊=0.9 桐生市錦町=0.9 太田市新田金井町＊=0.9 前橋市駒形町＊=0.8 安中市安中＊=0.8 片品村鎌田＊=0.7 神流町生利＊=0.6 みどり市東町＊=0.6 みどり市大間々町＊=0.6 東吾妻町本宿＊=0.6 渋川市石原＊=0.5 前橋市大手町＊=0.5
		埼玉県				2 加須市大利根＊=2.4 春日部市金崎＊=2.2 さいたま大宮区大門＊=2.2 行田市本丸＊=2.1 久喜市下早見＊=2.1 上尾市本町＊=2.1 宮代町笠原＊=2.1 加須市騎西＊=2.0 東松山市松葉町＊=2.0 羽生市東＊=2.0 春日部市粕壁＊=2.0 桶川市泉＊=2.0 さいたま岩槻区本丸＊=2.0 蓮田市黒浜＊=1.9 加須市三保＊=1.9 鴻巣市中央＊=1.8 深谷市川本＊=1.8 北本市本町＊=1.8 さいたま見沼区堀崎＊=1.8 さいたま浦和区高砂=1.8 熊谷市大里＊=1.8 熊谷市江南＊=1.8 川島町下八ツ林＊=1.7 さいたま北区宮原＊=1.7 行田市南河原＊=1.7 鴻巣市川里＊=1.6 滑川町福田＊=1.6 春日部市谷原新田＊=1.6 三郷市中央＊=1.6 吉川市きよみ野＊=1.6 東松山市市ノ川＊=1.6 幸手市東＊=1.5 杉戸町清地＊=1.5 ときがわ町桃木＊=1.5 川越市新宿町＊=1.5 さいたま南区別所＊=1.5 川口市中青木分室＊=1.5 和光市広沢＊=1.5 1 加須市北川辺＊=1.4 久喜市鷲宮＊=1.4 吉見町下細谷＊=1.4 八潮市中央＊=1.4 鴻巣市吹上富士見＊=1.3 久喜市青葉＊=1.3 久喜市菖蒲＊=1.3 埼玉美里町木部＊=1.3 伊奈町中央＊=1.3 さいたま大宮区天沼町＊=1.3 白岡市千駄野＊=1.3 熊谷市妻沼＊=1.3 ときがわ町玉川＊=1.2 川口市安行領家＊=1.2 狭山市入間川＊=1.2 草加市中央＊=1.2 朝霞市本町＊=1.2 さいたま西区指扇＊=1.2 熊谷市宮町＊=1.2 ふじみ野市福岡＊=1.2 深谷市花園＊=1.2 久喜市栗橋＊=1.2 さいたま中央区下落合＊=1.1 さいたま桜区道場＊=1.1 皆野町皆野＊=1.1 新座市野火止＊=1.1 熊谷市桜町=1.1 松伏町松伏＊=1.1 嵐山町杉山＊=1.1 深谷市仲野＊=1.0 さいたま緑区中尾＊=1.0 蕨市中央＊=1.0 秩父市近戸町＊=1.0 坂戸市千代田＊=1.0 毛呂山町中央＊=1.0 所沢市北有楽町＊=0.9 越谷市越ヶ谷＊=0.9 志木市中宗岡＊=0.9 長瀬町野上下郷＊=0.9 越生町越生＊=0.9 横瀬町横瀬＊=0.8 さいたま浦和区常盤＊=0.8 埼玉三芳町藤久保＊=0.8 秩父市上町=0.8 鳩山町大豆戸=0.8 秩父市熊木町＊=0.8 東秩父村御堂＊=0.7 富士見市鶴馬＊=0.7 鶴ヶ島市三ツ木＊=0.7 川越市旭町=0.7 川口市三ツ和＊=0.7 小川町大塚＊=0.7 入間市豊岡＊=0.7 長瀬町本野上＊=0.6 ふじみ野市大井＊=0.5 埼玉神川町植竹＊=0.5
		東京都				2 東京杉並区高井戸＊=1.9 東京江戸川区中央=1.9 東京千代田区大手町=1.8 東京渋谷区本町＊=1.6 東京杉並区桃井＊=1.6 東京北区西ヶ原＊=1.6 町田市本町田＊=1.6 東京新宿区上落合＊=1.5 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.5 東京中野区中野＊=1.5 東京練馬区豊玉北＊=1.5 東京練馬区光が丘＊=1.5 東京足立区神明南＊=1.5 調布市西つつじヶ丘＊=1.5 小平市小川町＊=1.5 1 東京港区南青山＊=1.4 東京江東区森下＊=1.4 東京中野区江古田＊=1.4 東京荒川区荒川＊=1.4 東京荒川区東尾久＊=1.4 東京板橋区高島平＊=1.4 東京板橋区相生町＊=1.4 東京足立区千住中居町＊=1.4 東京足立区伊興＊=1.4 東京葛飾区立石＊=1.4 国分寺市泉町＊=1.4 東京中央区勝どき＊=1.3 東京新宿区百人町＊=1.3 東京墨田区東向島＊=1.3 東京江東区越中島＊=1.3 東京品川区平塚＊=1.3 東京港区海岸=1.2 東京文京区スポーツセンター＊=1.2 東京文京区大塚＊=1.2 東京江東区東陽＊=1.2 東京江戸川区鹿骨＊=1.2 東京江戸川区船堀＊=1.2 日野市神明＊=1.2 東村山市本町＊=1.2 西東京市中町＊=1.2 青梅市日向和田＊=1.2 東京渋谷区宇田川町＊=1.1 東京練馬区東大泉＊=1.1 東京千代田区富士見＊=1.1 東京中央区築地＊=1.1 東京葛飾区金町＊=1.1 八王子市堀之内＊=1.1 武蔵野市緑町＊=1.1 小金井市本町＊=1.1 東京文京区本郷＊=1.1 東大和市中央＊=1.1 東京台東区東上野＊=1.1 東京台東区千束＊=1.1 東京府中市朝日町＊=1.0 国分寺市戸倉=1.0 東京墨田区吾妻橋＊=1.0 東京世田谷区世田谷＊=1.0 東京中央区日本橋兜町＊=1.0

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		多摩市関戸※=0.9 東京北区赤羽南※=0.9 東京墨田区横川=0.9 武蔵野市吉祥寺東町※=0.9 三鷹市野崎※=0.9 東京江東区枝川※=0.9 東京品川区北品川※=0.9 東京大田区本羽田※=0.9 東京世田谷区成城※=0.9 狛江市和泉本町※=0.9 東京足立区中央本町※=0.8 東京江東区青海=0.8 東京千代田区麹町※=0.8 東京目黒区中央町※=0.8 東京国際空港=0.8 町田市森野※=0.8 東京世田谷区中町※=0.8 東京港区白金※=0.8 東京新宿区歌舞伎町※=0.8 東京杉並区阿佐谷=0.8 東京豊島区南池袋※=0.8 東京板橋区板橋※=0.7 東京江東区亀戸※=0.7 東京品川区広町※=0.6 東京新宿区西新宿=0.5 東京大田区多摩川※=0.5 東京港区芝公園※=0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺※=1.5 横浜緑区十日市場町※=1.5 三浦市城山町※=1.5 1 横浜港北区日吉本町※=1.3 厚木市中町※=1.3 清川村煤ヶ谷※=1.3 横浜旭区川井宿町※=1.2 愛川町角田※=1.2 横浜神奈川区広台太田町※=1.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.1 横浜磯子区洋光台※=1.1 横浜瀬谷区三ツ境※=1.1 横浜泉区和泉町※=1.1 川崎川崎区宮前町※=1.1 川崎中原区小杉町※=1.1 秦野市曽屋=1.1 湯河原町中央=1.1 横浜鶴見区末広町※=1.0 横浜旭区今宿東町※=1.0 横浜旭区上白根町※=1.0 大和市下鶴間※=1.0 相模原中央区水郷田名※=1.0 相模原緑区橋本※=1.0 横浜中区山手町=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 川崎宮前区野川※=0.8 小田原市荻窪※=0.8 相模原中央区上溝※=0.8 箱根町湯本※=0.7 川崎多摩区登戸※=0.7 平塚市浅間町※=0.7 川崎麻生区万福寺※=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6 横須賀市光の丘=0.5 山形県 1 上山市河崎※=0.7 山辺町緑ヶ丘※=0.7 南陽市三間通※=0.6 新潟県 1 南魚沼市六日町=1.1 山梨県 1 笛吹市境川町藤盛※=1.2 富士川町鯉沢※=1.1 富士河口湖町長浜※=1.1 甲斐市下今井※=0.9 山梨北杜市長坂町※=0.9 大月市御太刀※=0.9 上野原市役所※=0.8 山梨市牧丘町窪平※=0.7 甲州市塩山上於曽※=0.7 甲州市勝沼町勝沼※=0.6 富士河口湖町船津=0.6 身延町大磯小磯=0.6 笛吹市役所※=0.5 大月市大月=0.5 甲府市相生※=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 伊豆の国市長岡※=0.8 沼津市戸田※=0.7 富士宮市弓沢町=0.7 熱海市網代=0.5 熱海市泉※=0.5 富士宮市野中※=0.5				
88	24 16 41	和歌山県北部 和歌山県 2 かつらぎ町丁ノ町※=2.0 紀の川市粉河=1.8 1 紀の川市那賀総合センター※=1.4 紀の川市西大井※=1.3 紀の川市桃山町元※=1.2 橋本市東家※=0.6	34° 15.8' N	135° 25.5' E	7km	M: 2.9
89	24 17 20	福島県沖 宮城県 2 丸森町上滝=1.8 山元町浅生原※=1.6 宮城川崎町前川※=1.6 1 角田市角田※=1.4 岩沼市桜※=1.4 蔵王町円田※=1.4 亘理町悠里※=1.3 名取市増田※=1.2 仙台青葉区大倉=1.1 仙台青葉区作並※=1.1 石巻市桃生町※=1.1 柴田町船岡=1.0 仙台空港=1.0 村田町村田※=1.0 松島町高城=0.9 大衡村大衡※=0.9 登米市南方町※=0.9 東松島市小野※=0.9 利府町利府※=0.8 塩竈市今宮町※=0.8 大崎市田尻※=0.8 登米市米山町※=0.8 大河原町新南※=0.7 白石市亘理町※=0.7 多賀城市中央※=0.7 仙台太白区山田※=0.7 東松島市矢本※=0.6 仙台若林区遠見塚※=0.6 仙台区将監※=0.6 気仙沼市笹が陣※=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 仙台宮城野区苦竹※=0.6 石巻市北上町※=0.5 七ヶ浜町東宮浜※=0.5 福島県 2 福島伊達市霊山町※=1.7 新地町谷地小屋※=1.6 相馬市中村※=1.5 飯館村伊丹沢※=1.5 1 南相馬市鹿島区西町※=1.4 田村市大越町※=1.3 福島伊達市梁川町※=1.3 国見町藤田※=1.1 南相馬市鹿島区栢塚=1.1 田村市船引町=1.0 浪江町幾世橋=1.0 二本松市針道※=1.0 南相馬市原町区高見町※=1.0 二本松市油井※=0.9 福島伊達市月館町※=0.9 檜葉町北田※=0.9 大熊町大川原※=0.9 南相馬市原町区三島町=0.9 川俣町五百田※=0.9 玉川村小高※=0.9 福島市五老内町※=0.8 本宮市本宮※=0.8 白河市新白河※=0.7 田村市常葉町※=0.7 田村市都路町※=0.7 福島伊達市保原町※=0.7 川内村下川内=0.6 福島市桜木町※=0.6 小野町中通※=0.5 小野町小野新町※=0.5 いわき市三和町=0.5 福島広野町下北迫大谷地原※=0.5 岩手県 1 一関市室根町※=0.8 一関市千厩町※=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 一関市藤沢町※=0.5 住田町世田米※=0.5	37° 48.7' N	141° 45.9' E	66km	M: 4.3
90	25 00 55	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=1.2	37° 30.9' N	137° 12.6' E	13km	M: 3.1
91	25 07 14	豊後水道 愛媛県 2 宇和島市丸穂※=1.8 1 西予市三瓶町※=1.4 西予市明浜町※=1.3 大洲市肱川町※=1.2 宇和島市吉田町※=0.8 宇和島市住吉町=0.8 宇和島市三間町※=0.6 西予市野村町=0.5 高知県 1 宿毛市桜町※=0.8 大分県 1 国東市田深※=0.7	33° 10.0' N	132° 18.3' E	46km	M: 3.5
92	26 04 26	上川地方北部 北海道 1 上川中川町中川※=1.0	44° 50.7' N	142° 06.7' E	4km	M: 2.4
93	26 08 20	福島県沖 福島県 1 大熊町大川原※=0.7 大熊町野上※=0.6	37° 09.5' N	141° 26.5' E	43km	M: 3.5
94	26 23 33	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町※=2.2 一関市千厩町※=2.1 一関市花泉町※=1.9 一関市東山町※=1.8 住田町世田米※=1.7 一関市藤沢町※=1.7 大船渡市大船渡町=1.7 1 大船渡市猪川町=1.4 一関市大東町=1.4 奥州市前沢※=1.3 陸前高田市高田町※=1.2 一関市川崎町※=1.1 奥州市衣川※=1.1 奥州市胆沢※=1.0 北上市相去町※=1.0 釜石市中妻町※=1.0 遠野市青笹町※=0.9 大船渡市盛町※=0.8 矢巾町南矢幅※=0.8 一関市竹山町※=0.8 金ヶ崎町西根※=0.7 平泉町平泉※=0.7 花巻市東和町※=0.7 花巻市石鳥谷町※=0.6 釜石市只越町=0.5 宮古市区界※=0.5 盛岡市藪川※=0.5 北上市柳原町=0.5 八幡平市田頭※=0.5	38° 18.3' N	141° 36.2' E	59km	M: 4.5

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
95	27 00 04	宮城県	38° 18.4' N	141° 36.9' E	60km	M: 5.3
		2 登米市南方町*=2.4 松島町高城=2.3 石巻市桃生町*=2.1 涌谷町新町裏=2.1 石巻市北上町*=2.0 登米市東和町*=2.0 東松島市矢本*=2.0 石巻市泉町=2.0 登米市石越町*=1.8 大崎市田尻*=1.8 気仙沼市赤岩=1.8 大衡村大衡*=1.8 気仙沼市笹が陣*=1.7 栗原市高清水*=1.7 石巻市大街道南*=1.7 登米市中田町=1.7 登米市米山町*=1.7 登米市迫町*=1.7 栗原市若柳*=1.6 岩沼市桜*=1.6 仙台宮城野区苦竹*=1.6 宮城美里町北浦*=1.6 大郷町粕川*=1.6 大崎市松山*=1.6 気仙沼市唐桑町*=1.5 石巻市前谷地*=1.5 栗原市金成*=1.5 東松島市小野*=1.5 宮城川崎町前川*=1.5 栗原市栗駒=1.5 利府町利府*=1.5 栗原市一迫*=1.5 大崎市鹿島台*=1.5 1 気仙沼市本吉町西川内=1.4 宮城加美町中新田*=1.4 南三陸町歌津*=1.4 宮城美里町木間塚*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 大崎市古川旭*=1.4 名取市増田*=1.4 亘理町悠里*=1.4 仙台青葉区大倉=1.4 女川町女川*=1.4 石巻市大瓜=1.3 石巻市相野谷*=1.3 塩竈市今宮町*=1.3 栗原市瀬峰*=1.3 登米市豊里町*=1.3 栗原市築館*=1.2 栗原市花山*=1.2 七ヶ浜町東宮浜*=1.2 色麻町四竈*=1.2 大河原町新南*=1.1 登米市津山町*=1.1 山元町浅生原*=1.1 仙台空港=1.1 石巻市雄勝町*=1.0 多賀城市中央*=1.0 柴田町船岡=1.0 大崎市鳴子*=1.0 登米市登米町*=1.0 仙台宮城野区五輪=1.0 気仙沼市本吉町津谷*=1.0 蔵王町円田*=0.9 村田町村田*=0.9 仙台泉区将監*=0.9 栗原市志波姫*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 角田市角田*=0.9 宮城加美町小野田*=0.8 仙台若林区遠見塚*=0.8 栗原市鶯沢*=0.8 丸森町上滝=0.8 仙台青葉区落合*=0.7 丸森町鳥屋*=0.7 南三陸町志津川=0.6 大和町吉岡*=0.6 白石市亘理町*=0.5				
		青森県 秋田県 山形県 福島県				
95	27 00 04	宮城県沖 岩手県	38° 18.4' N	141° 36.9' E	60km	M: 5.3
		4 一関市花泉町*=3.6 3 奥州市前沢*=3.2 一関市千厩町*=3.2 奥州市衣川*=3.1 一関市室根町*=3.1 奥州市胆沢*=3.0 一関市藤沢町*=2.9 一関市東山町*=2.9 花巻市東和町*=2.8 住田町世田米*=2.7 矢巾町南矢幅*=2.6 北上市相去町*=2.6 一関市竹山町*=2.6 2 北上市柳原町=2.4 遠野市青笹町*=2.4 金ヶ崎町西根*=2.4 平泉町平泉*=2.4 奥州市江刺*=2.4 大船渡市大船渡町=2.3 花巻市石鳥谷町*=2.3 遠野市宮守町*=2.3 一関市大東町=2.3 一関市川崎町*=2.3 奥州市水沢大鐘町=2.2 盛岡市山王町=2.2 普代村銅屋*=2.2 釜石市中妻町*=2.2 盛岡市渋民*=2.1 花巻市材木町*=2.1 八幡平市田頭*=2.1 西和賀町沢内川舟*=2.1 紫波町紫波中央駅前*=2.0 大船渡市猪川町=2.0 陸前高田市高田町*=2.0 宮古市区界*=2.0 奥州市水沢佐倉河*=2.0 盛岡市薺川*=1.9 花巻市大迫町=1.9 大船渡市盛町*=1.9 盛岡市馬場町*=1.9 宮古市田老*=1.7 滝沢市鶴飼*=1.7 久慈市枝成沢=1.6 岩手町五日市*=1.6 山田町大沢*=1.6 宮古市川井*=1.6 野田村野田*=1.6 宮古市鉾ヶ崎=1.6 釜石市只越町=1.5 八幡平市大更=1.5 山田町八幡町=1.5 八幡平市野駄*=1.5 雫石町千刈田=1.5 1 宮古市五月町*=1.4 久慈市川崎町=1.4 二戸市浄法寺町*=1.4 西和賀町川尻*=1.4 一戸町高善寺*=1.3 八幡平市叭田*=1.3 花巻市大迫総合支所*=1.2 久慈市長内町*=1.2 葛巻町葛巻元木=1.1 宮古市茂市*=1.1 軽米町軽米*=1.1 岩手洋野町種市=1.0 宮古市長沢=0.9 岩泉町岩泉*=0.9 田野畑村田野畑=0.8 九戸村伊保内*=0.8 大槌町小鍵*=0.7 二戸市福岡=0.7 雫石町西根上駒木野=0.7 葛巻町消防分署*=0.6 岩泉町大川*=0.6 岩手洋野町大野*=0.6 田野畑村役場*=0.5 二戸市石切所*=0.5				
		宮城県				
		4 登米市南方町*=3.8 涌谷町新町裏=3.7 石巻市桃生町*=3.7 松島町高城=3.6 大崎市田尻*=3.5 栗原市若柳*=3.5 東松島市矢本*=3.5 登米市迫町*=3.5 3 栗原市一迫*=3.4 栗原市栗駒=3.3 栗原市高清水*=3.3 宮城加美町中新田*=3.3 石巻市大街道南*=3.3 登米市東和町*=3.2 大衡村大衡*=3.2 栗原市花山*=3.1 登米市豊里町*=3.1 登米市米山町*=3.1 宮城美里町北浦*=3.1 大崎市古川旭*=3.1 大崎市鹿島台*=3.1 石巻市泉町=3.1 栗原市金成*=3.1 大崎市古川三日町=3.0 大崎市松山*=3.0 栗原市瀬峰*=3.0 栗原市志波姫*=3.0 登米市中田町=3.0 石巻市相野谷*=3.0 東松島市小野*=3.0 宮城美里町木間塚*=3.0 大郷町粕川*=2.9 栗原市築館*=2.9 石巻市北上町*=2.9 色麻町四竈*=2.8 利府町利府*=2.8 登米市石越町*=2.8 登米市登米町*=2.8 石巻市前谷地*=2.8 名取市増田*=2.7 岩沼市桜*=2.7 仙台青葉区作並*=2.7 大崎市鳴子*=2.6 南三陸町歌津*=2.6 仙台宮城野区苦竹*=2.5 大崎市岩出山*=2.5 仙台青葉区大倉=2.5 登米市津山町*=2.5 2 気仙沼市赤岩=2.4 気仙沼市笹が陣*=2.4 気仙沼市唐桑町*=2.4 栗原市鶯沢*=2.4 宮城川崎町前川*=2.4 石巻市大瓜=2.4 石巻市鮎川浜*=2.4 石巻市雄勝町*=2.4 塩竈市今宮町*=2.3 七ヶ浜町東宮浜*=2.3 女川町女川*=2.3 亘理町悠里*=2.3 仙台泉区将監*=2.3 多賀城市中央*=2.2 山元町浅生原*=2.1 仙台宮城野区五輪=2.1 宮城加美町小野田*=2.1 仙台空港=2.1 角田市角田*=2.1 蔵王町円田*=2.1 大河原町新南*=2.1 村田町村田*=2.1 富谷市富谷*=2.1 大崎市三本木*=2.0 仙台若林区遠見塚*=2.0 大和町吉岡*=2.0 気仙沼市本吉町西川内=1.9 柴田町船岡=1.9 丸森町上滝=1.9 気仙沼市本吉町津谷*=1.8 仙台青葉区落合*=1.8 南三陸町志津川=1.8 宮城加美町宮崎*=1.8 仙台青葉区雨宮*=1.7 丸森町鳥屋*=1.7 仙台太白区山田*=1.6 1 白石市亘理町*=1.4 七ヶ宿町関*=0.9 3 大仙市大曲花園町*=2.7 2 湯沢市川連町*=2.4 東成瀬村椿川*=2.4 大仙市高梨*=2.4 仙北市西木町上桧木内*=2.3 東成瀬村田子内*=2.2 横手市大雄*=2.2 大仙市刈和野*=2.1 由利本荘市前郷*=2.1 横手市中央町*=2.0 羽後町西馬音内*=1.9 横手市大森町*=1.8 横手市雄物川町今宿=1.8 秋田美郷町土崎*=1.8 秋田市河辺和田*=1.7 大仙市北長野*=1.7 湯沢市沖鶴=1.7				
		秋田県				

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		横手市安田柳堤地内*1.7 横手市山内土淵*1.6 湯沢市皆瀬*1.5 横手市増田町増田*1.5 秋田市雄和新波*1.5 横手市十文字町*1.5 1 由利本荘市西目町沼田*1.4 湯沢市横堀*1.4 仙北市西木町上荒井*1.4 由利本荘市東由利老方*1.3 横手市平鹿町浅舞*1.3 大仙市神宮寺*1.3 仙北市田沢湖生保内上清水*1.3 仙北市角館町小勝田*1.3 五城目町西蔵ノ目=1.3 秋田市雄和女米木=1.3 由利本荘市岩谷町*1.2 にかほ市平沢*1.2 湯沢市佐竹町*1.2 大仙市南外*1.2 大仙市太田町太田*1.2 井川町北川尻*1.2 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*1.2 由利本荘市矢島町矢島町*1.1 仙北市角館町中菅沢=1.1 仙北市田沢湖田沢*1.1 三種町森岳*1.1 由利本荘市岩城内道川*1.0 由利本荘市鳥海町伏見*1.0 由利本荘市石脇=0.9 秋田市山王=0.9 湯沢市寺沢*0.9 北秋田市新田目*0.8 能代市上町*0.7 能代市二ツ井町上台*0.7 大仙市協和境唐松岳*0.7 3 最上町向町*2.5 戸沢村古口*2.5 2 新庄市東谷地田町=2.3 舟形町舟形*2.3 中山町長崎*2.3 尾花沢市若葉町*2.3 大蔵村肘折*2.1 大蔵村清水*2.1 村山市中央*2.0 天童市老野森*1.9 東根市中央*1.9 河北町谷地=1.9 米沢市林泉寺*1.9 三川町横山*1.9 山辺町緑ヶ丘*1.8 新庄市住吉町*1.8 大石町緑町*1.8 白鷹町荒砥*1.8 河北町役場*1.6 鶴岡市藤島*1.5 酒田市山田*1.5 西川町大井沢*1.5 真室川町新町*1.5 寒河江市西根*1.5 1 鶴岡市道田町*1.4 酒田市飛鳥*1.4 新庄市堀端町*1.4 山形朝日町宮宿*1.4 山形川西町上小松*1.4 鮭川村佐渡*1.3 寒河江市中央*1.3 米沢市アルカディア=1.3 山形金山町金山*1.3 遊佐町遊佐=1.2 遊佐町舞鶴*1.2 大江町左沢*1.2 南陽市三間通*1.2 酒田市亀ヶ崎=1.1 上山市河崎*1.1 西川町海味*1.1 米沢市駅前=1.1 鶴岡市温海川=1.1 米沢市金池*1.1 鶴岡市羽黒町*1.1 白鷹町黒鴨=1.1 山形市薬師町*1.0 庄内町余目*1.0 高島町高島*1.0 飯豊町椿*1.0 山形市緑町=0.9 酒田市本町*0.9 鶴岡市馬場町=0.8 山形小国町岩井沢=0.8 長井市本町*0.7 酒田市観音寺*0.7 酒田市宮野浦*0.6 鶴岡市上山添*0.6 山形市旅籠町*0.6 山形金山町中田=0.5 3 大熊町大川原*3.0 南相馬市鹿島区西町*2.9 田村市滝根町*2.8 双葉町長塚*2.8 南相馬市小高区*2.8 飯館村伊丹沢*2.7 相馬市中村*2.6 浪江町幾世橋=2.5 南相馬市原町区高見町*2.5 2 田村市大越町*2.4 本宮市白岩*2.4 新地町谷地小屋*2.4 国見町藤田*2.3 檜葉町北田*2.3 南相馬市鹿島区栃窪=2.3 須賀川市八幡山*2.1 田村市常葉町*2.1 田村市都路町*2.1 本宮市本宮*2.1 富岡町本岡*2.1 大熊町野上*2.1 葛尾村落合落合*2.1 南相馬市原町区三島町=2.1 福島伊達市前川原*2.0 福島伊達市霊山町*2.0 いわき市三和町=2.0 福島広野町下北迫大谷地原*2.0 二本松市針道*2.0 田村市船引町=2.0 郡山市朝日=1.9 郡山市開成*1.9 須賀川市八幡町*1.9 川俣町五百田*1.9 玉川村小高*1.9 福島市五老内町*1.8 福島伊達市梁川町*1.8 福島伊達市保原町*1.8 須賀川市岩瀬支所*1.8 二本松市油井*1.8 天栄村下松本*1.8 泉崎村泉崎*1.8 南相馬市原町区本町*1.8 いわき市平梅本*1.7 白河市東*1.7 平田村永田*1.7 小野町中通*1.7 川内村上川内早渡*1.7 桑折町谷地*1.7 福島市桜木町*1.7 鏡石町不時沼*1.7 浅川町浅川*1.6 古殿町松川新桑原*1.6 川内村下川内=1.6 小野町小野新町*1.6 白河市表郷*1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 白河市大信*1.6 川内村上川内小山平*1.5 福島伊達市月館町*1.5 矢吹町一本木*1.5 白河市新白河*1.5 いわき市小名浜=1.5 石川町長久保*1.5 いわき市平四ツ波*1.5 1 郡山市湖南町*1.4 いわき市錦町*1.4 福島広野町下北迫苗代替*1.4 福島市飯野町*1.2 二本松市金色*1.2 大玉村玉井*1.2 矢祭町東館*1.2 白河市郭内=1.1 大玉村南小屋=1.1 西郷村熊倉*1.1 矢祭町戸塚*1.1 猪苗代町千代田*1.1 須賀川市長沼支所*1.0 塙町塙*0.8 鮫川村赤坂中野*0.8 猪苗代町城南=0.7 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.7 古殿町松川横川=0.6 三春町大町*0.6 二本松市小浜*0.6 下郷町高崎*0.6 天栄村湯本支所*0.5 2 階上町道仏*2.4 青森南部町苔米地*1.6 1 五戸町古館=1.4 おいらせ町中下田*1.3 六戸町大落瀬*1.3 東北町上北南*1.2 八戸市内丸*1.2 青森南部町平*1.2 三戸町在府小路町*1.1 八戸市湊町=1.1 七戸町森ノ上*1.1 おいらせ町上明堂*1.0 七戸町七戸*0.8 五戸町倉石中市*0.8 野辺地町野辺地*0.7 十和田市西十二番町*0.7 東通村砂子又沢内*0.7 三沢市桜町*0.7 田子町田子*0.6 十和田市西二番町*0.6 2 常陸太田市金井町*2.0 日立市十王町友部*1.9 日立市助川小学校*1.8 笠間市石井*1.8 笠間市中央*1.7 東海村東海*1.7 筑西市舟生=1.6 常陸太田市高柿町*1.5 那珂市瓜連*1.5 1 水戸市内原町*1.4 日立市役所*1.4 笠間市笠間*1.4 大子町池田*1.4 那珂市福田*1.4 石岡市柿岡=1.4 桜川市羽田*1.4 水戸市栗崎町*1.3 笠間市下郷*1.3 ひたちなか市南神敷台*1.3 城里町石塚*1.3 小美玉市上玉里*1.3 土浦市常名=1.3 取手市井野*1.3 水戸市金町=1.2 水戸市千波町*1.2 高萩市安良川*1.2 高萩市本町*1.2 北茨城市巾着町*1.2 土浦市藤沢*1.2 茨城古河市下大野*1.2 石岡市若宮*1.2 石岡市石岡*1.2 桜川市真壁*1.2 常総市新石下*1.2 ひたちなか市東石川*1.1 常陸大宮市北町*1.1 常陸大宮市野口*1.1 小美玉市小川*1.1 小美玉市堅倉*1.1 美浦村受領*1.1 稲敷市結佐*1.1 鉾田市汲上*1.1 常総市水海道諏訪町*1.1 つくばみらい市福田*1.1 北茨城市磯原町*1.1 常陸大宮市中富町=1.0 常陸大宮市山方*1.0 龍ヶ崎市役所*1.0 つくば市天王台*1.0 つくば市研究学園*1.0 坂東市山*1.0 稲敷市伊佐津*1.0 城里町小勝*1.0 かすみがうら市上土田*1.0 行方市麻生*1.0 行方市山田*1.0 潮来市堀之内=0.9 城里町阿波山*0.9 桜川市岩瀬*0.9 鉾田市鉾田=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 鉾田市造谷*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.8 筑西市門井*0.8 かすみがうら市大和田*0.8 取手市寺田*0.8 常陸太田市町田町*0.8 つくば市小莖*0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.8 坂東市岩井=0.7 常陸太田市町屋町=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.5 利根町布川=0.5 2 大田原市湯津上*1.6 高根沢町石末*1.6 1 市貝町市塙*1.3 那須町寺子*1.2 宇都宮市中岡本町*1.1 鹿沼市晃望台*1.1				

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		栃木那珂川町小川＊=1.1 益子町益子=1.0 宇都宮市明保野町=0.9 小山市神鳥谷＊=0.9 芳賀町祖母井＊=0.9 真岡市田町＊=0.7 壬生町壬生甲＊=0.7 大田原市黒羽田町=0.6 那須烏山市神長=0.5 群馬県 1 邑楽町中野＊=1.1 群馬明和町新里＊=1.0 前橋市鼻毛石町＊=0.8 館林市城町＊=0.8 渋川市赤城町＊=0.8 板倉町板倉=0.8 千代田町赤岩＊=0.8 前橋市粕川町＊=0.7 桐生市元宿町＊=0.7 前橋市富士見町＊=0.5 埼玉県 1 川島町下八ツ林＊=1.3 宮代町笠原＊=1.3 春日部市粕壁＊=1.2 さいたま中央区下落合＊=1.2 加須市大利根＊=1.1 久喜市菖蒲＊=1.1 春日部市金崎＊=1.1 春日部市谷原新田＊=1.1 熊谷市大里＊=1.0 加須市三俣＊=1.0 加須市騎西＊=1.0 久喜市下早見=1.0 吉見町下細谷＊=1.0 さいたま大宮区天沼町＊=1.0 さいたま緑区中尾＊=1.0 鴻巣市吹上富士見＊=0.9 毛呂山町中央＊=0.9 さいたま見沼区堀崎＊=0.9 久喜市鷲宮＊=0.8 行田市南河原＊=0.8 加須市北川辺＊=0.8 幸手市東＊=0.7 鶴ヶ島市三ツ木＊=0.7 さいたま大宮区大門＊=0.7 白岡市千駄野＊=0.7 行田市本丸＊=0.7 羽生市東＊=0.7 鴻巣市中央＊=0.7 久喜市青葉＊=0.7 富士見市鶴馬＊=0.7 鴻巣市川里＊=0.6 さいたま北区宮原＊=0.6 上尾市本町＊=0.6 桶川市泉＊=0.6 坂戸市千代田＊=0.5 東松山市松葉町＊=0.5 さいたま西区指扇＊=0.5 千葉県 1 香取市役所＊=1.3 千葉美浜区ひび野=1.3 印西市笠神＊=1.3 野田市鶴奉＊=1.2 香取市佐原平田=1.1 多古町多古=0.9 千葉花見川区花島町＊=0.8 市川市本行徳＊=0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=0.8 浦安市日の出=0.8 香取市佐原諏訪台＊=0.7 千葉美浜区稲毛海岸＊=0.6 千葉中央区中央港=0.6 東金市日吉台＊=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.8 東京江東区越中島＊=0.8 東京杉並区高井戸＊=0.8 東京荒川区東尾久＊=0.8 東京板橋区高島平＊=0.8 東京足立区千住中居町＊=0.7 東京中央区勝どき＊=0.6 東京世田谷区成城＊=0.6 東京板橋区相生町＊=0.6 東京足立区神明南＊=0.6 東京品川区平塚＊=0.5 東京渋谷区宇田川町＊=0.5 東京中野区江古田＊=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.7 湯河原町中央=0.7 新潟県 1 村上市岩船駅前＊=0.9 村上市寒川＊=0.5 山梨県 1 忍野村忍草＊=0.8 甲府市下曽根町＊=0.7 富士川町鯉沢＊=0.6 富士河口湖町長浜＊=0.6 長野県 1 長野南牧村海ノ口＊=0.9 静岡県 1 富士市吉永＊=0.7				
96	27 20 03	福島県沖 福島県 2 大熊町大川原＊=1.5 1 いわき市三和町=1.1 福島広野町下北迫大谷地原＊=1.1 檜葉町北田＊=1.0 富岡町本岡＊=1.0 双葉町長塚＊=1.0 大熊町野上＊=0.9 浪江町幾世橋=0.9 いわき市平四ツ波＊=0.7 白河市新白河＊=0.6 田村市都路町＊=0.6	37° 10.9' N	141° 26.8' E	43km	M: 3.8
97	28 01 02	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校＊=0.8	36° 41.9' N	140° 35.1' E	10km	M: 2.9
98	28 04 00	静岡県西部 静岡県 1 掛川市三俣＊=0.9 掛川市長谷＊=0.9 静岡菊川市赤土＊=0.9 愛知県 1 新城市作手清岳=0.7 新城市作手高里松風呂＊=0.7	34° 40.8' N	137° 44.1' E	31km	M: 3.1
99	28 18 18	青森県東方沖 北海道 4 函館市泊町＊=3.6 函館市新浜町＊=3.6 3 新冠町北星町＊=3.1 様似町栄町＊=3.1 むかわ町松風＊=3.1 函館市日ノ浜町＊=3.0 厚真町鹿沼=2.9 浦幌町桜町＊=2.9 函館市美原=2.8 安平町早来北進＊=2.8 函館市大森町＊=2.8 新篠津村第4 7線＊=2.8 木古内町木古内＊=2.8 渡島北斗市中央＊=2.7 浦河町潮見=2.7 新ひだか町静内山手町=2.6 厚沢部町新町＊=2.6 浦河町築地＊=2.6 千歳市支笏湖温泉＊=2.6 厚真町京町＊=2.6 千歳市若草＊=2.5 札幌東区元町＊=2.5 南幌町栄町＊=2.5 室蘭市寿町＊=2.5 むかわ町穂別＊=2.5 十勝大樹町東本通＊=2.5 苫小牧市末広町=2.5 2 江別市緑町＊=2.4 新千歳空港=2.4 七飯町桜町=2.4 知内町重内＊=2.4 長沼町中央＊=2.4 苫小牧市旭町＊=2.4 新ひだか町三石旭町＊=2.3 七飯町本町＊=2.3 渡島森町砂原＊=2.3 札幌北区篠路＊=2.3 上ノ国町大留＊=2.3 恵庭市漁平=2.3 千歳市北栄=2.3 白老町大町=2.3 日高地方日高町門別＊=2.3 新ひだか町静内御幸町＊=2.3 えりも町えりも岬＊=2.2 釧路市音別町中園＊=2.2 札幌清田区平岡＊=2.2 恵庭市京町＊=2.2 安平町追分柏が丘＊=2.2 札幌北区新琴似＊=2.2 札幌北区太平＊=2.2 胆振伊達市大滝区本町＊=2.2 浦河町野深=2.2 札幌手稲区前田＊=2.1 壮瞥町滝之町＊=2.1 渡島森町上台町＊=2.1 登別市桜木町＊=2.1 幕別町忠類錦町＊=2.1 厚沢部町木間内＊=2.1 乙部町緑町＊=2.1 札幌白石区北郷＊=2.1 平取町振内＊=2.1 新ひだか町静内御園=2.1 当別町白樺＊=2.0 帯広市東4条=2.0 十勝清水町南4条=2.0 檜山江差町姥神=2.0 広尾町並木通=2.0 檜山江差町中歌町＊=2.0 渡島森町御幸町=2.0 白老町緑丘＊=2.0 北広島市共栄＊=2.0 札幌厚別区もみじ台＊=2.0 ニセコ町中央通＊=2.0 渡島北斗市本町＊=2.0 胆振伊達市梅本=2.0 胆振伊達市末永町＊=2.0 福島町福島＊=2.0 釧路町別保＊=1.9 洞爺湖町洞爺町＊=1.9 三笠市幸町＊=1.9 函館市川汲町＊=1.9 釧路町仲町＊=1.9 新得町2条＊=1.9 江別市高砂町=1.9 音更町元町＊=1.9 石狩市花川=1.9 鹿部町宮浜＊=1.9 更別村更別＊=1.9 岩見沢市北村赤川＊=1.9 洞爺湖町栄町＊=1.9 帯広市東6条＊=1.8 石狩市花畔＊=1.8 月形町円山公園＊=1.8 芽室町東2条＊=1.8 真狩村真狩＊=1.8 中富良野町本町＊=1.8 留寿都村留寿都＊=1.8 広尾町白樺通=1.8 倶知安町南1条=1.8 倶知安町北4条＊=1.8 岩見沢市鳩が丘＊=1.8 札幌南区石山＊=1.8 岩見沢市栗沢町東本町＊=1.8 鹿追町東町＊=1.8 美瑛市西5条=1.8 長万部町平里＊=1.8 砂川市西7条＊=1.7 釧路市阿寒町阿寒湖温泉＊=1.7 せたな町北檜山区徳島＊=1.7 函館市尾枝部町=1.7 栗山町松風＊=1.7 十勝大樹町生花＊=1.7 札幌豊平区月寒東＊=1.7 十勝池田町西1条＊=1.6 妹背牛町妹背牛＊=1.6 北竜町和＊=1.6 赤井川村赤井川＊=1.6 美瑛市西3条＊=1.6 新十津川町中央＊=1.6 新ひだか町静内農屋＊=1.6 岩見沢市5条=1.6 小樽市勝納町=1.6 幕別町本町＊=1.6	41° 09.5' N	142° 50.9' E	28km	M: 6.2

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		秩父別町役場＊=1.5 札幌西区琴似＊=1.5 滝川市大町=1.5 上士幌町上士幌＊=1.5 豊頃町茂岩本町＊=1.5 中札内村東2条＊=1.5 知内町小谷石=1.5 奈井江町奈井江＊=1.5 由仁町新光＊=1.5 余市町浜中町＊=1.5 札幌中央区北2条=1.5 士幌町士幌＊=1.5 札幌中央区南4条＊=1.5 標津町北2条＊=1.5 1 石狩市聚富=1.4 八雲町上の湯=1.4 黒松内町黒松内＊=1.4 夕張市若菜=1.4 富良野市若松町=1.4 富良野市末広町＊=1.4 南富良野町役場＊=1.4 豊浦町大岸＊=1.4 登別市釧山=1.4 日高地方日高町日高＊=1.4 上士幌町清水谷＊=1.4 釧路市阿寒町中央＊=1.4 別海町常盤=1.4 厚岸町真栄＊=1.3 増毛町見晴町＊=1.3 八雲町住初町＊=1.3 余市町朝日町=1.3 札幌南区川沿＊=1.3 平取町本町＊=1.3 えりも町本町=1.3 えりも町目黒＊=1.3 浦臼町ウラウスナイ＊=1.3 占冠村中央＊=1.3 本別町北2丁目=1.2 北竜町竜西=1.2 喜茂別町喜茂別＊=1.2 鶴居村鶴居東＊=1.2 渡島松前町福山=1.2 別海町本別海＊=1.2 美瑛町忠別＊=1.2 本別町向陽町＊=1.1 北見市南仲町＊=1.1 芦別市旭町=1.1 標茶町塘路＊=1.1 室蘭市山手町=1.1 岩内町清住＊=1.1 足寄町南1条＊=1.1 岩内町高台=1.1 美幌町東3条=1.0 蘭越町蘭越＊=1.0 平取町仁世宇=1.0 湧別町栄町＊=1.0 根室市厚床＊=1.0 釧路市音別町尺別=1.0 留萌市幸町＊=1.0 深川市1条＊=1.0 上富良野町大町=0.9 石狩市厚田＊=0.9 根室市瑤瑤＊=0.9 弟子屈町美里=0.9 増毛町岩尾＊=0.8 渡島松前町清部=0.8 幕別町忠類明和=0.8 釧路市幸町=0.8 根室市落石東＊=0.8 足寄町上螺湾=0.7 上ノ国町湯ノ岱＊=0.7 島牧村泊＊=0.7 小樽市花園町＊=0.7 標茶町川上＊=0.7 旭川市宮前1条=0.7 石狩市浜益＊=0.7 上ノ国町小砂子＊=0.6 厚岸町尾幌=0.5 中標津町養老牛=0.5 北見市留辺蘂町栄町＊=0.5 4 七戸町森ノ上＊=4.0 野辺地町野辺地＊=3.7 平内町小湊=3.6 野辺地町田狭沢＊=3.6 五戸町古館=3.6 五戸町倉石中市＊=3.6 3 八戸市南郷＊=3.4 東北町上北南＊=3.4 青森南部町苫米地＊=3.4 むつ市金谷＊=3.4 おいらせ町中下田＊=3.3 むつ市金曲=3.3 階上町道仏＊=3.3 東通村砂子又沢内＊=3.3 むつ市大畑町中島＊=3.2 青森南部町平＊=3.2 横浜町寺下＊=3.1 東北町塔ノ沢山＊=3.1 七戸町七戸＊=3.1 むつ市川内町＊=3.0 八戸市湊町=3.0 八戸市内丸＊=3.0 中泊町中里＊=3.0 横浜町林ノ脇＊=3.0 青森市中央＊=2.9 五所川原市栄町=2.9 五所川原市敷島町＊=2.9 つがる市稲垣町＊=2.9 青森市花園=2.9 東通村砂子又蒲谷地=2.9 つがる市柿＊=2.8 六ヶ所村尾駈=2.8 三戸町在府小路町＊=2.8 青森南部町沖田面＊=2.8 三沢市桜町＊=2.8 おいらせ町上明堂＊=2.8 平内町東田沢＊=2.8 鶴田町鶴田＊=2.8 蓬田村蓬田＊=2.7 六戸町大落瀬＊=2.7 青森市浪岡＊=2.7 藤崎町水木＊=2.6 十和田市西十二番町＊=2.6 藤崎町西豊田＊=2.5 五所川原市金木町＊=2.5 むつ市脇野沢＊=2.5 板柳町板柳＊=2.5 2 十和田市西二番町＊=2.4 十和田市奥瀬＊=2.4 新郷村戸来＊=2.4 大間町大間＊=2.4 東通村白糠＊=2.4 五所川原市相内＊=2.3 つがる市森田町＊=2.3 鯉ヶ沢町舞戸町鳴戸=2.3 田舎館村田舎館＊=2.3 平川市猿賀＊=2.3 佐井村長後＊=2.3 今別町今別＊=2.2 弘前市弥生=2.2 六ヶ所村出戸=2.2 田子町田子＊=2.2 黒石市市ノ町＊=2.1 鯉ヶ沢町舞戸町小夜＊=2.1 深浦町深浦岡町=2.1 七戸町北天間館=2.1 むつ市大畑町奥薬研=2.1 東通村尻屋＊=2.1 外ヶ浜町三厩＊=2.1 五所川原市太田=2.0 外ヶ浜町平館＊=2.0 弘前市城東中央＊=2.0 風間浦村易国間＊=1.8 弘前市賀田＊=1.8 平川市柏木町＊=1.8 中泊町小泊＊=1.8 西目屋村田代＊=1.7 八戸市島守=1.7 弘前市和田町=1.6 弘前市五所＊=1.6 深浦町長慶平=1.5 深浦町深浦中沢＊=1.5 1 大鰐町大鰐＊=1.2 平川市碓ヶ関＊=0.8 4 盛岡市薮川＊=3.5 3 滝沢市鶴飼＊=3.2 盛岡市洪民＊=3.1 二戸市浄法寺町＊=3.1 軽米町軽米＊=3.1 岩手町五日市＊=3.0 八幡平市田頭＊=3.0 矢巾町南矢幅＊=3.0 一戸町高善寺＊=2.9 八幡平市野駄＊=2.9 盛岡市山王町=2.6 花巻市材木町＊=2.6 二戸市福岡=2.5 二戸市石切所＊=2.5 八幡平市叭田＊=2.5 紫波町紫波中央駅前＊=2.5 2 普代村銅屋＊=2.4 八幡平市大更=2.4 花巻市東和町＊=2.4 野田村野田＊=2.3 岩手洋野町種市=2.3 花巻市石鳥谷町＊=2.3 北上市柳原町=2.3 宮古市田老＊=2.2 久慈市枝成沢=2.2 九戸村伊保内＊=2.2 金ヶ崎町西根＊=2.2 北上市相去町＊=2.1 奥州市江刺＊=2.1 奥州市胆沢＊=2.1 葛巻町葛巻元木=2.0 奥州市水沢大鐘町=2.0 久慈市川崎町=2.0 一関市千厩町＊=1.9 奥州市前沢＊=1.9 盛岡市馬場町＊=1.9 雫石町千刈田=1.9 宮古市区界＊=1.8 花巻市大迫町=1.8 遠野市青笹町＊=1.7 遠野市宮守町＊=1.7 一関市花泉町＊=1.7 岩手洋野町大野＊=1.7 西和賀町沢内川舟＊=1.7 奥州市水沢佐倉河＊=1.7 宮古市川井＊=1.7 平泉町平泉＊=1.6 雫石町西根上駒木野=1.5 奥州市衣川＊=1.5 久慈市長内町＊=1.5 釜石市中妻町＊=1.5 1 宮古市五月町＊=1.4 住田町世田米＊=1.4 一関市室根町＊=1.4 宮古市茂市＊=1.3 葛巻町消防分署＊=1.3 花巻市大迫総合支所＊=1.3 西和賀町川尻＊=1.3 久慈市山形町＊=1.2 山田町八幡町=1.2 山田町大沢＊=1.2 大船渡市大船渡町=1.2 一関市藤沢町＊=1.2 一関市竹山町＊=1.1 宮古市鍛ヶ崎=1.1 一関市大東町=1.0 岩泉町岩泉＊=1.0 釜石市只越町=1.0 岩泉町大川＊=0.9 田野畑村役場＊=0.9 一関市東山町＊=0.9 陸前高田市高田町＊=0.8 田野畑村田野畑=0.8 宮古市長沢=0.7 大船渡市猪川町=0.7 大船渡市盛町＊=0.7 2 登米市迫町＊=2.4 登米市登米町＊=2.3 登米市南方町＊=2.2 石巻市桃生町＊=2.2 涌谷町新町裏=2.1 登米市中田町=2.1 登米市米山町＊=2.1 栗原市若柳＊=1.9 大崎市古川三日町=1.9 石巻市大街道南＊=1.9 宮城美里町木間塚＊=1.8 大崎市古川旭＊=1.8 石巻市前谷地＊=1.8 大崎市田尻＊=1.7 石巻市相野谷＊=1.7 栗原市志波姫＊=1.7 角田市角田＊=1.6 丸森町鳥屋＊=1.6 松島町高城=1.6 登米市豊里町＊=1.6 大崎市松山＊=1.6 東松島市矢本＊=1.5 栗原市築館＊=1.5 栗原市一迫＊=1.5 1 栗原市栗駒=1.4 気仙沼市赤岩=1.3 大河原町新南＊=1.3 亶理町悠里＊=1.3 栗原市鶯沢＊=1.2 栗原市高清水＊=1.2 栗原市金成＊=1.2 宮城美里町北浦＊=1.2 大崎市鹿島台＊=1.2 名取市増田＊=1.2 蔵王町円田＊=1.2 気仙沼市笹が陣＊=1.2 気仙沼市唐桑町＊=1.2 宮城加美町中新田＊=1.2 宮城川崎町前川＊=1.1 山元町浅生原＊=1.1 利府町利府＊=1.1 色麻町四竈＊=1.1 栗原市花山＊=1.1 仙台宮城野区苦竹＊=1.0 大崎市岩出山＊=1.0 宮城加美町小野田＊=1.0 大崎市三本木＊=0.9 登米市石越町＊=0.9 仙台若林区遠見塚＊=0.8 大郷町粕川＊=0.8 大衡村大衡＊=0.8 栗原市瀬峰＊=0.8 石巻市北上町＊=0.7 大崎市鳴子＊=0.7 宮城加美町宮崎＊=0.7 登米市東和町＊=0.7 登米市津山町＊=0.6 石巻市泉町=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.6 仙台青葉区雨宮＊=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 仙台青葉区大倉=0.5				
		青森県				
		岩手県				
		宮城県				

令和5年3月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		秋田県 2 井川町北川尻※=2.2 大仙市高梨※=2.2 鹿角市花輪※=2.1 三種町森岳※=2.0 大館市桜町※=1.9 大館市比内町扇田※=1.9 横手市大雄※=1.9 能代市上町※=1.7 小坂町小坂砂森※=1.7 上小阿仁村小沢田※=1.7 潟上市昭和久保※=1.6 由利本荘市前郷※=1.6 大館市早口※=1.6 北秋田市花園町=1.6 北秋田市米内沢※=1.6 北秋田市新田目※=1.6 大仙市大曲花園町※=1.6 八郎潟町大道※=1.5 秋田市河辺和田※=1.5 大館市比内町味噌内=1.5 秋田美郷町土崎※=1.5 大仙市刈和野※=1.5 1 能代市緑町=1.4 能代市常盤山谷=1.4 能代市二ツ井町上台※=1.4 三種町鹿渡※=1.4 能代市追分町※=1.3 藤里町藤琴※=1.3 五城目町西磯ノ目=1.3 潟上市飯田川下虻川※=1.3 潟上市天王※=1.3 秋田市山王=1.3 湯沢市沖鶴=1.3 羽後町西馬音内※=1.3 大仙市太田町太田※=1.3 大潟村中央※=1.2 由利本荘市西目町沼田※=1.2 北秋田市阿仁水無※=1.2 三種町鶴川※=1.1 にかほ市平沢※=1.1 横手市中央町※=1.1 横手市平鹿町浅舞※=1.1 秋田市雄和女米木=1.0 秋田市雄和新波※=1.0 横手市雄物川町今宿=1.0 横手市安田柳堤地内※=1.0 横手市大森町※=1.0 湯沢市川連町※=1.0 男鹿市角間崎※=1.0 東成瀬村田子内※=1.0 大仙市北長野※=1.0 仙北市西木町上桧木内※=1.0 仙北市角館町小勝田※=1.0 八峰町峰浜目名湯※=1.0 横手市十文字町※=0.9 東成瀬村椿川※=0.9 仙北市角館町中菅沢=0.9 横手市増田町増田※=0.9 仙北市田沢湖生保内宮ノ後※=0.9 仙北市西木町上荒井※=0.8 横手市山内土淵※=0.8 湯沢市佐竹町※=0.8 由利本荘市岩城内道川※=0.8 男鹿市船川※=0.8 由利本荘市東由利老方※=0.8 大仙市南外※=0.8 由利本荘市岩谷町※=0.8 大仙市神宮寺※=0.8 にかほ市象潟町浜ノ田※=0.8 大仙市協和境唐松岳※=0.7 湯沢市横堀※=0.6 仙北市田沢湖生保内上清水※=0.5 山形県 2 中山町長崎※=1.9 1 酒田市山田※=1.3 酒田市亀ヶ崎=1.2 酒田市飛鳥※=1.2 鶴岡市藤島※=1.1 村山市中央※=1.1 河北町谷地=1.1 南陽市三間通※=1.1 山形川西町上小松※=1.1 三川町横山※=1.0 遊佐町遊佐=1.0 上山市河崎※=1.0 天童市老野森※=1.0 河北町役場※=1.0 白鷹町荒砥※=1.0 遊佐町舞鶴※=0.9 大蔵村清水※=0.9 庄内町余目※=0.8 鶴岡市温海川=0.5 福島県 2 双葉町長塚※=1.5 1 郡山市朝日=0.9 浪江町幾世橋=0.9 茨城県 1 筑西市舟生=0.6 埼玉県 1 加須市大利根※=1.0 宮代町笠原※=1.0				
100 (注)	29 03 48 29 03 48	石川県能登地方 石川県能登地方 石川県 3 珠洲市正院町※=3.4 珠洲市大谷町※=2.8 2 珠洲市三崎町=1.9 能登町松波※=1.9 能登町柳田※=1.6 能登町宇出津=1.6 1 輪島市鳳至町=1.2 輪島市舩倉島=0.9 輪島市河井町※=0.8 穴水町大町※=0.8	37° 31.0' N 37° 31.4' N	137° 18.4' E 137° 18.0' E	13km 11km	M: 4.1 M: 3.8
101	29 12 42	石川県能登地方 石川県 3 珠洲市正院町※=2.5 1 珠洲市大谷町※=1.3 珠洲市三崎町=1.1 能登町松波※=0.9	37° 31.0' N	137° 17.9' E	13km	M: 3.5
102	29 17 39	石川県能登地方 石川県 3 珠洲市正院町※=2.5 1 珠洲市三崎町=1.3 珠洲市大谷町※=1.1 能登町松波※=0.9	37° 31.0' N	137° 18.0' E	13km	M: 3.4
103	29 23 10	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6	37° 27.8' N	137° 08.1' E	12km	M: 2.9
104	29 23 40	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.8 珠洲市大谷町※=0.6	37° 28.0' N	137° 08.1' E	12km	M: 3.0
105	30 00 01	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=1.2 珠洲市大谷町※=0.7	37° 27.8' N	137° 08.2' E	13km	M: 3.3
106	30 03 06	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6	37° 27.6' N	137° 08.3' E	13km	M: 2.7
107	30 03 14	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町※=0.9	37° 27.5' N	137° 08.1' E	13km	M: 2.9
108	30 06 44	父島近海 東京都 1 小笠原村父島西町=0.5 小笠原村父島三日月山=0.5	28° 26.1' N	141° 49.3' E	50km	M: 4.9
109	31 06 31	和歌山県北部 和歌山県 1 白浜町日置※=1.0 御坊市湯川※=0.7 御坊市藪=0.5	33° 56.9' N	135° 25.1' E	55km	M: 3.3
110	31 14 52	父島近海 東京都 2 小笠原村母島=2.0 1 小笠原村父島三日月山=1.4 小笠原村父島西町=1.2	26° 58.4' N	142° 15.2' E	80km	M: 5.7
111	31 18 13	能登半島沖 石川県 1 珠洲市正院町※=0.6	37° 32.4' N	137° 13.7' E	12km	M: 2.8
112	31 19 54	父島近海 東京都 3 小笠原村母島=3.3 1 小笠原村父島三日月山=1.4 小笠原村父島西町=1.2	26° 58.0' N	142° 26.6' E	73km	M: -. -

● 付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <令和 4 年（2022 年）4 月～令和 5 年（2023 年）3 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和 4 年（2022 年）											
4 月	113	45	9	7	1					175	19 日 茨城県北部（震度 5 弱） 石川県能登地方の地震活動 （4 月中：震度 4：2 回、震度 3：1 回、震度 2：8 回、震度 1：7 回、能登半島沖で発生した地震 4 回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （4 月中：震度 2：4 回、震度 1：12 回） 福島県沖の地震活動 （4 月中：震度 4：1 回、震度 2：4 回、震度 1：13 回、宮城県沖で発生した地震 3 回を含む）
5 月	97	31	17	3	1					149	22 日 茨城県沖（震度 5 弱） 石川県能登地方の地震活動 （5 月中：震度 3：3 回、震度 2：1 回、震度 1：11 回、能登半島沖で発生した地震 1 回を含む） 福島県沖の地震活動 （5 月中：震度 3：1 回、震度 2：6 回、震度 1：11 回、宮城県沖で発生した地震 2 回を含む） 京都府南部の地震活動 （5 月中：震度 4：1 回、震度 2：1 回、震度 1：5 回）
6 月	121	44	13	3	1	1	1			184	19 日 石川県能登地方（震度 6 弱） （6 月中：震度 6 弱：1 回、震度 5 強：1 回、震度 4：1 回、震度 3：3 回、震度 2：9 回、震度 1：30 回、能登半島沖で発生した地震 5 回を含む） 26 日 熊本県熊本地方（震度 5 弱） 福島県沖の地震活動 （6 月中：震度 3：2 回、震度 2：3 回、震度 1：13 回、宮城県沖で発生した地震 5 回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （6 月中：震度 2：4 回、震度 1：8 回） 京都府南部の地震活動 （6 月中：震度 2：1 回）
7 月	89	35	9	2						135	石川県能登地方の地震活動 （7 月中：震度 2：1 回、震度 1：8 回、能登半島沖で発生した地震 2 回を含む） 福島県沖の地震活動 （7 月中：震度 2：3 回、震度 1：4 回、宮城県沖で発生した地震 4 回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （7 月中：震度 2：4 回、震度 1：1 回）
8 月	106	30	14	5	1	1				157	11 日 00 時 35 分 上川地方北部（震度 5 弱） 11 日 00 時 53 分 上川地方北部（震度 5 強） （8 月中：震度 5 強：1 回、震度 5 弱：1 回、震度 4：1 回、震度 3：4 回、震度 2：4 回、震度 1：17 回） 石川県能登地方の地震活動 （8 月中：震度 3：1 回、震度 2：2 回、震度 1：7 回、能登半島沖で発生した地震 5 回を含む） 福島県沖の地震活動 （8 月中：震度 4：2 回、震度 2：1 回、震度 1：3 回、宮城県沖で発生した地震 1 回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （8 月中：震度 1：1 回）
9 月	102	35	13	2						152	石川県能登地方の地震活動 （9 月中：震度 3：1 回、震度 2：3 回、震度 1：12 回、能登半島沖で発生した地震 2 回を含む） トカラ列島近海（平島・諏訪之瀬島付近）の地震活動 （9 月中：震度 3：1 回、震度 2：2 回、震度 1：13 回）
10 月	96	29	12		2					139	2 日 大隅半島東方沖（震度 5 弱） 21 日 福島県沖（震度 5 弱） 石川県能登地方の地震活動 （10 月中：震度 1：10 回、能登半島沖で発生した地震 2 回を含む） トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）の地震活動 （10 月中：震度 3：4 回、震度 2：2 回、震度 1：5 回）
11 月	104	23	17	2		1				147	9 日 茨城県南部（震度 5 強） 石川県能登地方の地震活動 （11 月中：震度 4：1 回、震度 3：3 回、震度 2：3 回、震度 1：18 回、富山湾で発生した地震 7 回、能登半島沖で発生した地震 3 回を含む）
12 月	89	38	11	3						141	石川県能登地方の地震活動 （12 月中：震度 3：2 回、震度 2：2 回、震度 1：9 回、能登半島沖で発生した地震 1 回を含む）
令和 5 年（2023 年）											
1 月	91	29	9	2						131	石川県能登地方の地震活動 （1 月中：震度 4：1 回、震度 3：1 回、震度 2：3 回、震度 1：7 回、能登半島沖で発生した地震 1 回を含む）
2 月	63	24	11		1					99	25 日 釧路沖（震度 5 弱） 石川県能登地方の地震活動 （2 月中：震度 3：2 回、震度 2：2 回、震度 1：5 回、能登半島沖で発生した地震を 1 回含む）
3 月	70	30	8	4						112	石川県能登地方の地震活動 （3 月中：震度 3：3 回、震度 2：1 回、震度 1：12 回、能登半島沖で発生した地震を 3 回含む）
2023 年計	224	83	28	6	1	0	0	0	0	342	
過去 1 年計	1141	393	143	33	7	3	1	0	0	1721	（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）

注）「記事」の欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 〈令和4年(2022年)4月～令和5年(2023年)3月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和4年(2022年)								
4月	491	124	22	1		638	147	24日 千島列島 (M6.2)
5月	459	76	18	3		556	97	9日 与那国島近海 (M6.6) 22日 茨城県沖 (M6.0) 23日 八丈島東方沖 (M6.1)
6月	441	96	12	2		551	110	20日 台湾付近 (M6.4) 21日 父島近海 (M6.1)
7月	383	71	12			466	83	
8月	449	107	28	1		585	136	7日 北海道東方沖 (M6.0)
9月	467	104	18	3	1	593	126	17日22時41分 台湾付近 (M6.6) 17日23時45分 台湾付近 (M6.0) 18日15時44分 台湾付近 (M7.3) 18日17時09分 沖縄本島北西沖 (M6.0)
10月	382	74	12			468	86	
11月	334	85	12	1		432	98	14日 三重県南東沖 (M6.4)
12月	350	67	9	1		427	77	13日 奄美大島近海 (M6.0)
令和5年(2023年)								
1月	333	60	12			405	72	
2月	306	62	6	1		375	69	25日 釧路沖 (M6.0)
3月	326	81	7	1		415	89	28日 青森県東方沖 (M6.2)
2023年計	965	203	25	2	0	1195	230	
過去1年計	4721	1007	168	14	1	5911	1190	(令和4年4月～令和5年3月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録４．長周期地震動階級１以上を観測した地震

令和５年３月に長周期地震動階級※１以上を観測した地震は１回であった。

平成２５年３月～令和５年３月に長周期地震動階級１以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成 30 年 (2018 年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成 31 年 / 令和元年 (2019 年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和 2 年 (2020 年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和 3 年 (2021 年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和 4 年 (2022 年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和 5 年 (2023 年)	0	1	1										2

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものの大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和４年１２月号の付録１０「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

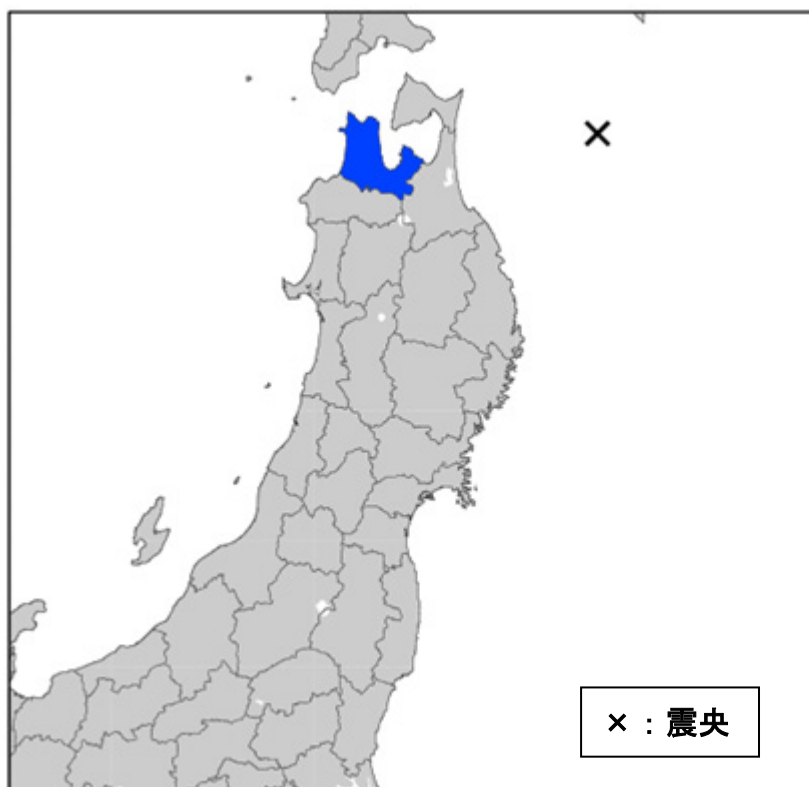
https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202212/202212furoku_10.pdf

1. 令和5年3月28日18時18分 青森県東方沖の地震

長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2023年3月28日18時18分 青森県東方沖 北緯41度09.5分 東経142度50.9分 深さ28km M6.2				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
青森県	1	青森県津軽北部	青森市花園	3

長周期地震動階級1以上を観測した地域の分布図



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和5年3月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は56回であった。

平成19年10月～令和5年3月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)										2(160)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。